

# 60歳代以上の投資信託等に関するアンケート調査 報告書

2021年3月



# 目次

1	調査計画の概要	P.3
2	調査結果の要約	P.6
3	回答者属性	P.15
(1)	性別	P.16
(2)	年代別	P.17
(3)	職業	P.18
(4)	世帯年収	P.19
(5)	金融資産	P.20
(6)	家族構成	P.21
4	投資信託商品の保有・興味状況	P.22
(1)	投資信託の保有・認知状況	P.23
(2-1)	投資信託商品種別 保有状況	P.24
(2-2)	投資信託商品種別 保有理由【毎月・隔月分配型ファンド】	P.25
(2-3)	投資信託商品種別 保有理由【バランス型ファンド】	P.26
(2-4)	投資信託商品種別 保有理由【インデックス型ファンド】	P.27
(2-5)	投資信託商品種別 保有理由【アクティブ型ファンド】	P.28
(2-6)	投資信託商品種別 保有理由【不動産投資信託】	P.29
(2-7)	投資信託商品種別 保有理由【ファンドラップ】	P.30
(3-1)	投資信託商品種別 興味状況	P.31
(3-2)	投資信託商品種別 興味理由【毎月・隔月分配型ファンド】	P.32
(3-3)	投資信託商品種別 興味理由【バランス型ファンド】	P.33
(3-4)	投資信託商品種別 興味理由【インデックス型ファンド】	P.34
(3-5)	投資信託商品種別 興味理由【アクティブ型ファンド】	P.35
(3-6)	投資信託商品種別 興味理由【不動産投資信託】	P.36
(3-7)	投資信託商品種別 興味理由【ファンドラップ】	P.37
5	全般的な投資への意識と実態	P.38
(1)	投資経験	P.39
(2)	初めて投資をした年齢（投資経験者）	P.40
(3)	初めて投資をしたきっかけ（投資経験者）	P.41
(4)	投資理由（投資経験者）	P.42
(5)	投資未経験理由（投資未経験者）	P.43
(6)	投資の経験・考え方（投資経験者）	P.44
(7)	利用を検討してもよい金融商品	P.45
(8-1)	金融商品・投資商品認知状況	P.46
(8-2)	金融商品・投資商品保有経験状況	P.47
(8-3)	金融商品・投資商品保有状況	P.48

6	老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識	P.49
(1-1)	年金受給状況	P.50
(1-2)	年金受給前の貯蓄額（年金非受給者は現在の貯蓄額）	P.51
(2-1)	退職金受取状況	P.52
(2-2)	退職金の使い道	P.53
(2-3)	退職金で購入した金融商品（購入予定も含む）	P.54
(3-1)	毎月の貯蓄の取り崩し額	P.55
(3-2)	毎月の投資運用資金の取り崩し額	P.56
(4-1)	老後のための資産形成を始めた年齢	P.57
(4-2)	老後のための資産形成の十分さ	P.58
(4-3)	老後のための資産形成を始めた年齢（資産形成の時間は十分だったと思う人）	P.59
(5-1)	今後の金融資産管理の意識	P.60
(5-2)	今後の金融商品購入時の意識	P.61
(6)	今後の生活の金銭面での不安	P.62
7	60歳代以上の現在の生活や今後への意識	P.63
(1)	普段の生活の楽しみ・大切にしていること	P.64
(2)	自身の想定寿命	P.65
(3)	就労状況・意識	P.66
(4)	財産の相続意向	P.67
(5)	財産相続の相談状況	P.68
(6)	引き継いでもらいたい資産	P.69
(7)	相続する資産の現金化意向	P.70
(8)	金融資産における相続手続きの認知	P.71
	末尾添付資料：調査票	P.72

# 1. 調査計画の概要

---

# 1. 調査計画の概要

調査の目的	日本における60歳以上（個人）の投資信託等に対する意識等を把握し、調査結果を協会会員及び各種研究機関、メディア等に広く還元すると同時に、制度改正に活用する。				
調査手法	インターネット調査（マクロミルモニタ及び提携パネルより抽出）				
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他の3ブロック）				
調査対象	60歳以上の男女				
サンプル数	総計5,158サンプル				
		60-69歳	70-79歳	80歳以上	計
	男性	1,130	826	473	2,429
	首都圏	298	229	117	644
	阪神圏	166	133	73	372
	その他	666	464	283	1,413
	女性	1,189	979	561	2,729
	首都圏	308	263	175	746
	阪神圏	182	156	105	443
	その他	699	560	281	1,540
計	2,319	1,805	1,034	5,158	
	※「首都圏」・・・埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 ※「阪神圏」・・・京都府、大阪府、兵庫県、奈良県 ※「その他」・・・上記以外の道県  「その他」地域の80歳以上女性は、地域×年齢×性別の人口構成比での回収が困難なため、最大数の回収にとどめ、欠損分は他の各セルで均等に回収した。 本報告書内では、全体値参照時は、「全体（構成比）」として構成比通りにランダムに抽出した2,852サンプルを使用。				
調査時期	2021年1月15日（金）～1月18日（月）				
調査主体	一般社団法人 投資信託協会				
調査委託先	株式会社 マクロミル				

※スコアは小数点第二位で四捨五入し、小数点第一位まで掲載。

# 1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

軸名称		備考
全体		回答者全体
全体（構成比）		性別×年代×エリアの人口構成比に合わせた全体値
性別	男性	マクロミルのモニタ紐付き情報を使用 ※紐付き情報に関しては、モニタ登録時に本人が回答し、年に1度情報の確認・更新を実施。
	女性	
年代別	60代	
	70代	
	80代以上	
世帯年収別	200万円未満	
	200～400万円未満	
	400～600万円未満	
	600～800万円未満	
	800～1000万円未満	
	1000万円以上	
金融資産別	100万円未満	
	100万円～500万円未満	
	500万円～1000万円未満	
	1000万円～2000万円未満	
	2000万円～5000万円未満	
	5000万円～1億円未満	
	1億円以上	
投資信託商品保有経験別	現保有者	Q10S1「投資信託」で「1.自分で購入し保有している」または「2.自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」選択者
	過去保有者	Q10S1「投資信託」で「3.以前保有していたことはあるが、今は保有していない」選択者
	非保有経験者	Q10S1「投資信託」で「4.（名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない」または「5.この商品は知らない」選択者
投資経験別	現投資者	Q4で「1.現在投資している」選択者、または Q10S1-S5いずれかで「1.自分で購入し保有している」または「2.自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」選択者
	過去投資者	Q4で「2.現在は投資していないが、していたことはある」選択者、または Q10S1-S5いずれかで「3.以前保有していたことはあるが、今は保有していない」選択者（※いずれかで1-2選択者を除く）
	未投資者	Q4で「3.投資したことはない」選択者、または Q10S1-S5いずれも「4.（名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない」または「5.この商品は知らない」選択者

## 2. 調査結果の要約

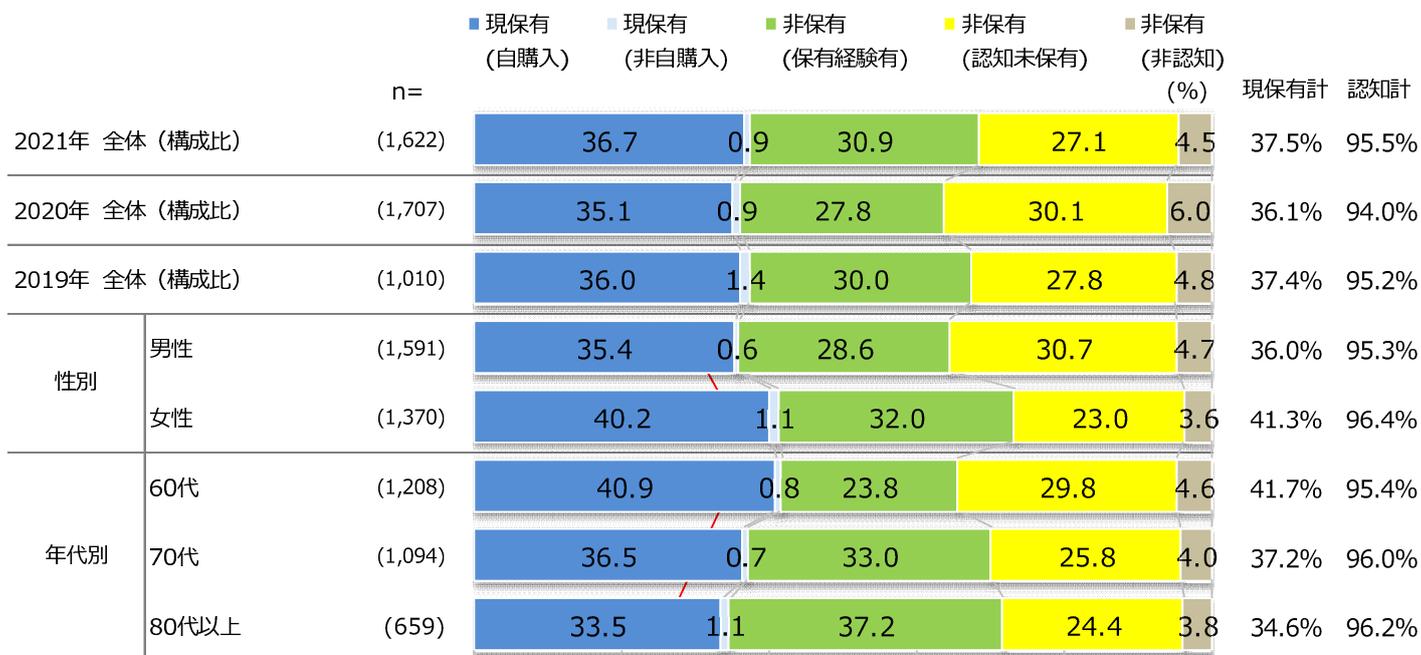
---

## 2. 調査結果の要約

### 投資信託の保有状況／投資信託現保有層の保有種類・保有理由

- 60代以上の投資信託の現保有率は37.5%。認知率は95.5%。
- 性別で見ると、女性は男性より保有率が高い。年代別で見ると、年代が下がるほど保有率が高い。

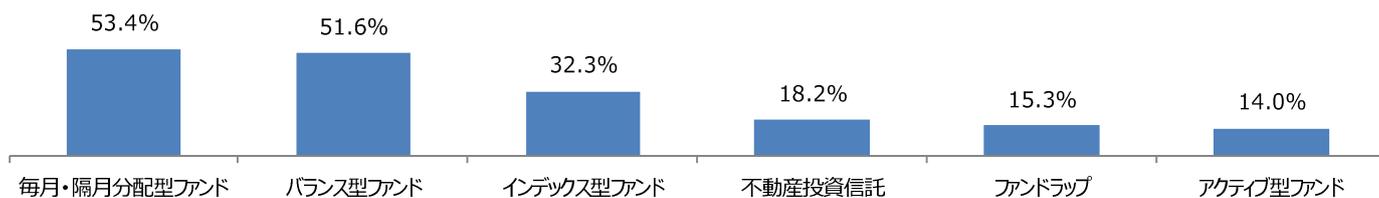
<投資信託の保有状況>【ベース：投資経験者】



※現保有計：（「現保有(自購入)」+「現保有(非自購入)」) / 認知計：（「現保有(自購入)」+「非保有(認知未保有)」) のスコア

- 保有投資信託の種類は、「毎月・隔月分配型ファンド」が最も高く、「バランス型ファンド」が続く。
- 保有理由は、種類に関わらず「預貯金の金利が低いから」、「資産を分けて保有しておくため」。

<投資信託の保有種類>【ベース：現保有者(構成比)(n=609)】



<投資信託種類別の保有理由(上位5位)>【ベース：各投資信託現保有者】

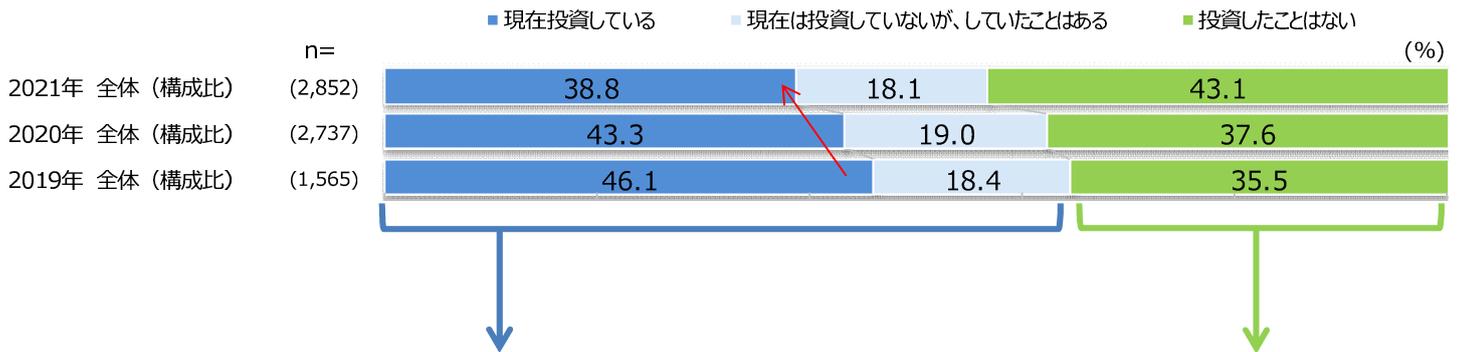
	毎月・隔月分配型ファンド 保有者ベース (n=325)	バランス型ファンド 保有者ベース (n=314)	インデックス型ファンド 保有者ベース (n=197)	不動産投資信託 保有者ベース (n=125)	ファンドラップ 保有者ベース (n=128)	アクティブ型ファンド 保有者ベース (n=85)
1位	預貯金の金利が低いから 67.7%	預貯金の金利が低いから 66.2%	預貯金の金利が低いから 64.5%	預貯金の金利が低いから 66.4%	預貯金の金利が低いから 63.3%	預貯金の金利が低いから 67.1%
2位	資産を分けて保有しておくため 45.2%	資産を分けて保有しておくため 51.9%	資産を分けて保有しておくため 53.8%	資産を分けて保有しておくため 52.0%	資産を分けて保有しておくため 51.6%	資産を分けて保有しておくため 51.8%
3位	自分の生活費のため 28.6%	投資そのものを楽しむため 28.0%	投資そのものを楽しむため 36.0%	投資そのものを楽しむため 36.0%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 31.3%	投資そのものを楽しむため 40.0%
4位	投資そのものを楽しむため 26.2%	自分の生活費のため 25.8%	自分の生活費のため 28.9%	自分の生活費のため 29.6%	自分の生活費のため 28.1%	自分の生活費のため 31.8%
5位	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 19.4%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 25.2%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 25.4%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 28.8%	投資そのものを楽しむため 25.8%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 30.6%

## 2. 調査結果の要約

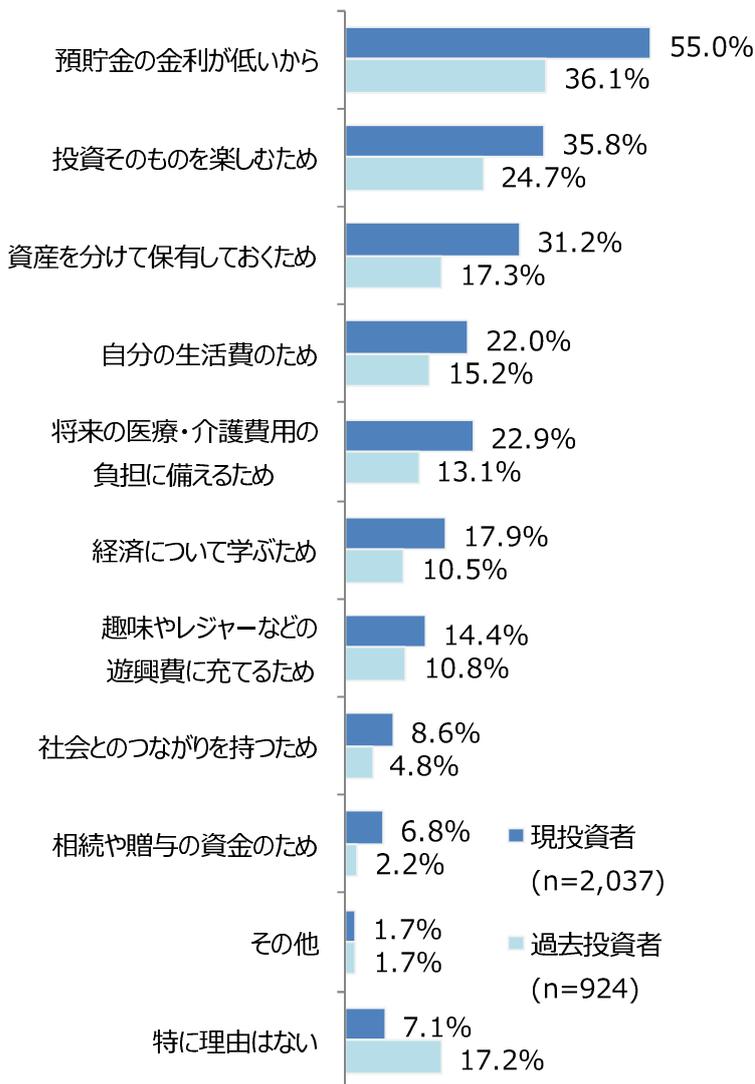
### 投資経験／投資理由／投資未経験理由

- 60代以上の投資経験について、現投資率は38.8%。2019年調査から減少が続く。
- 投資理由は、「預貯金の金利が低いから」、「投資そのものを楽しむため」、「資産を分けて保有しておくため」が上位。投資未経験理由は、「そもそも投資に興味がないから」、「投資の知識がないから」、「投資するための資金がないから」、「損をするのが怖いから」が上位。

＜投資経験＞【ベース：TOTAL】

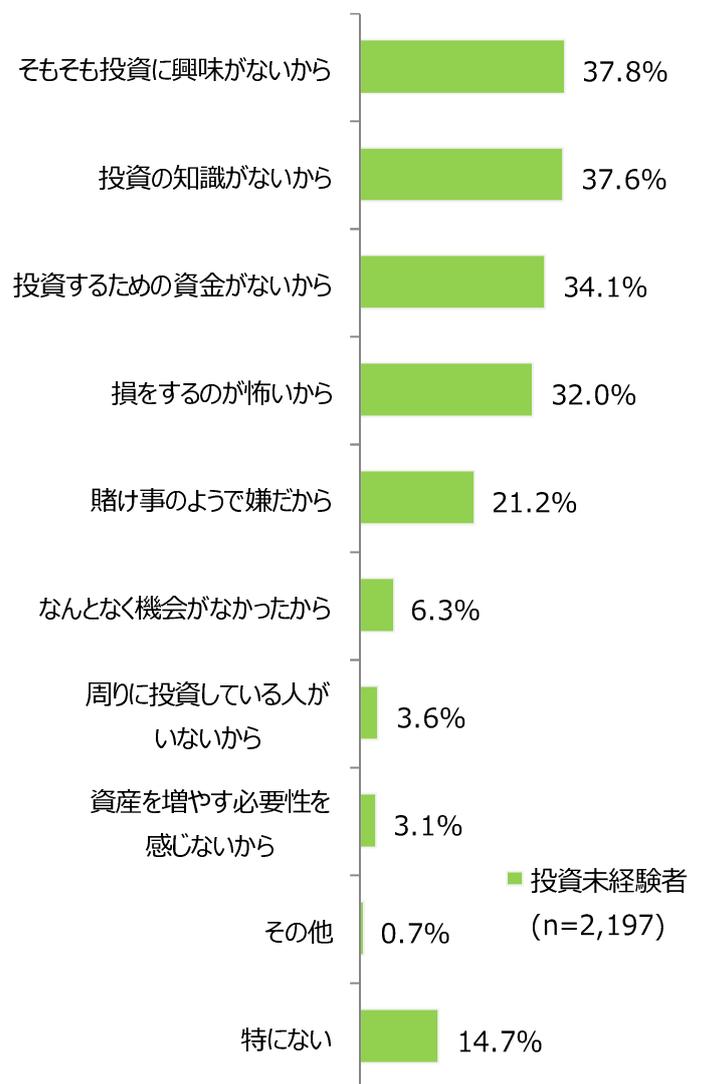


＜投資理由＞【ベース：投資経験者】



※「投資経験者」スコアで降順ソート

＜投資未経験理由＞【ベース：未投資者】

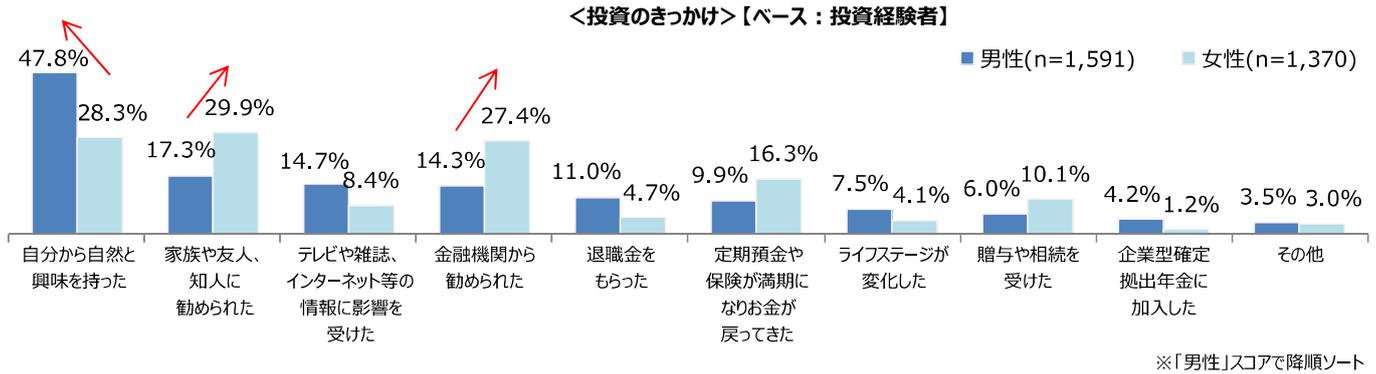


※「未投資者」スコアで降順ソート

## 2. 調査結果の要約

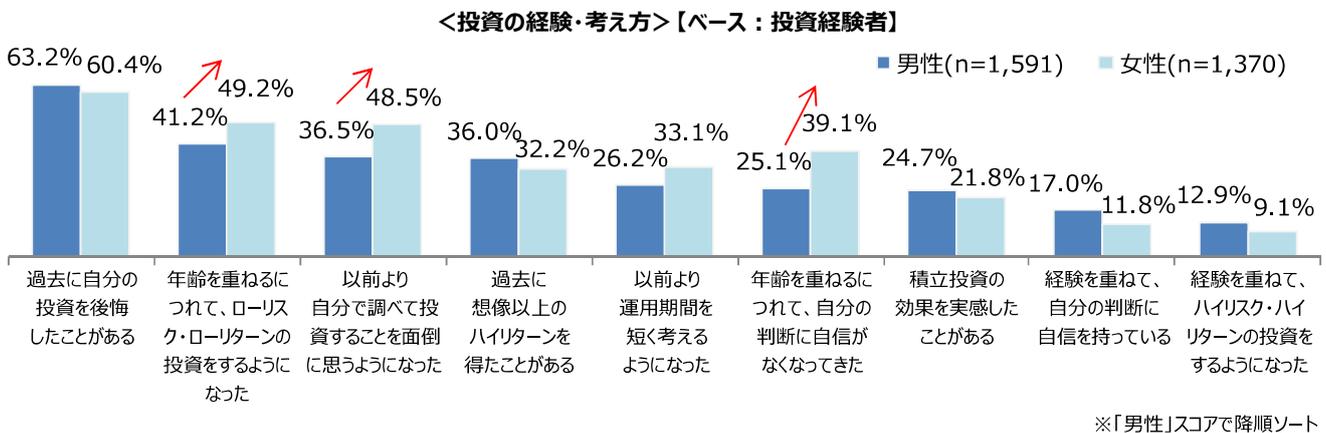
### 投資のきっかけ／投資の経験・考え方

- 初めて投資をしたきっかけについて、男性では「自分から自然と興味を持った」が最も高く、他の項目と約 30 ポイント以上の差がある。一方、女性では「家族や友人、知人に勧められた」が最も高く、「金融機関から勧められた」が続く。



- 投資経験者の投資の経験・考え方は、男女ともに「過去に自分の投資を後悔したことがある」が最も高く、「年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターン投資をするようになった」、「以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」が続く。

また、女性では「年齢を重ねるにつれて、自分の判断に自信がなくなってきた」、「以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」、「年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターン投資をするようになった」が男性に比べて高い。



## 2. 調査結果の要約

### 利用を検討してもよい金融商品

- 利用を検討してもよい金融商品は、「預貯金」が最も高く、次いで「株式」。「投資信託」は第3位だが、2位の「株式」とは12.5ポイント差
- 「株式」や「投資信託」の利用検討意向は、女性よりも男性で高い。

		＜利用を検討してもよい金融商品＞【ベース：TOTAL】											(%)
n=		預貯金	株式	投資信託	保険商品	債券	外貨 建て商品	不動産 投資信託	その他の 金融商品	金融商品は 利用を検討 しない			
2021年 全体（構成比）		(2,852)	46.6	32.3	19.8	8.4	8.2	8.2	5.4	1.2	35.6		
2020年 全体（構成比）		(2,737)	46.5	31.8	18.2	8.5	8.2	8.6	6.0	0.8	37.1		
2019年 全体（構成比）		(1,565)	46.5	30.4	17.3	11.2	8.2	7.9	4.8	0.5	35.2		
性別	男性	(2,429)	45.9	42.1	24.4	7.9	9.3	9.8	7.7	1.8	31.5		
	女性	(2,729)	49.3	24.6	16.5	8.1	7.5	6.6	3.6	0.6	37.8		

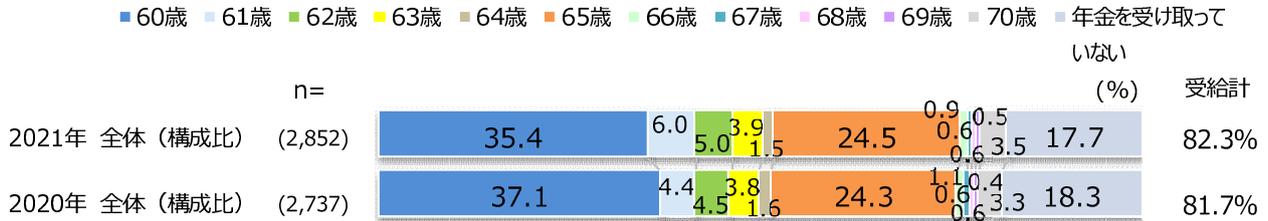
※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 2. 調査結果の要約

### 年金受給状況／老後のための資産形成の実態

- 年金を受け取っている割合は82.3%。受給開始年齢は「60歳」が最も高く、次いで「65歳」。

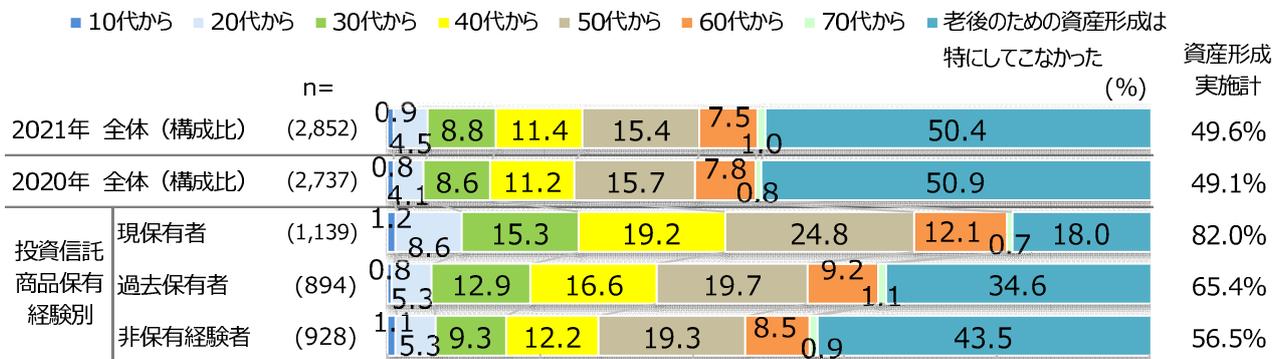
＜年金受給状況/受給開始年齢＞【ベース：TOTAL】



※受給計：（「60歳」～「70歳」）のスコア

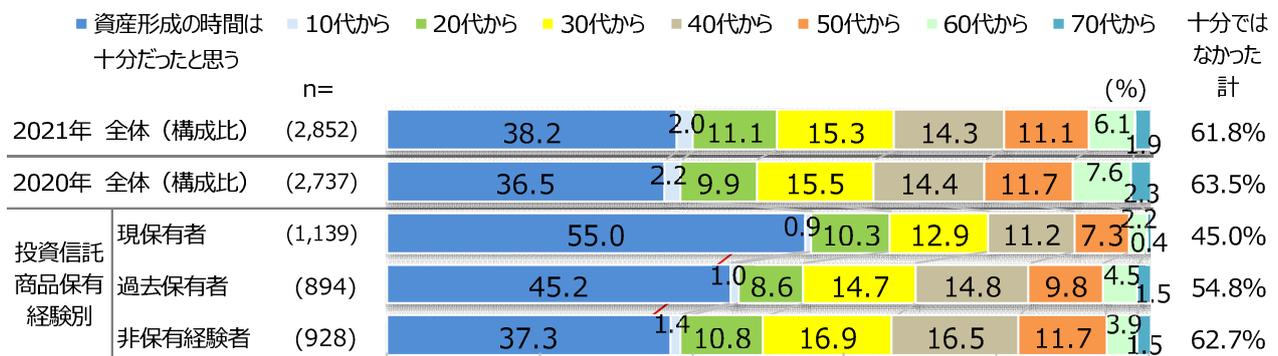
- 老後のための資産形成をしてきた割合は、49.6%とほぼ半数。
  - 老後のための「資産形成の時間は十分だったと思う」人は38.2%にとどまり、資産形成が十分ではなかったと感じている人が61.8%を占める。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者の「資産形成の時間は十分だったと思う」人は55.0%と高い割合を占める。非保有経験者と17.7ポイントの差が見られ、投資経験による差が目立つ。

＜老後のための資産形成を始めた年齢＞【ベース：TOTAL】



※資産形成実施計：（「10代から」～「70代から」）のスコア

＜老後のための資産形成の十分さ＞【ベース：TOTAL】



※十分ではなかった計：（「10代から」～「70代から」）のスコア

## 2. 調査結果の要約

### 退職金受取状況／退職金の使い道

- 退職金受け取りの割合は、58.6%。
- 退職金受取（予定）者の使い道は、「預貯金」が最も高い。以下、「日常生活費への充当」、「旅行等の趣味」、「住宅ローンの返済」が続く。  
「資産運用のための金融商品の購入」について、女性よりも男性で退職金使用率が高い。
- 退職金で購入した（する予定の）金融商品は、「株式」が最も高い。次いで「投資信託」。  
性別でみると、男性では「株」や「投資信託」が、女性では「債券」や「保険」が高い。

<退職金受取状況>【ベース：TOTAL】



※受取計：（「全額一時金で受け取った（受け取る予定）」～「全額を年金で受け取った（受け取る予定）」）のスコア

<退職金の使い道>【ベース：退職金受取（予定）者ベース】

n=		預貯金	日常生活費への充当	旅行等の趣味	住宅ローンの返済	資産運用のための金融商品の購入	住宅のリフォーム	家電など、耐久消費財の購入	子どもや孫の教育費や結婚費用等	開業・起業資金	その他	特にない
2021年 全体（構成比） (1,671)		62.5	26.3	22.3	22.1	21.0	19.4	11.0	9.3	2.4	3.9	8.6
2020年 全体（構成比） (1,562)		58.8	30.0	26.2	23.1	21.2	18.5	11.9	10.4	2.5	2.8	6.5
性別	男性 (1,844)	61.2	28.7	24.9	27.7	26.0	23.3	12.6	9.9	3.1	4.0	6.7
	女性 (1,206)	63.7	21.8	21.8	15.2	14.9	14.9	9.8	10.2	1.0	3.4	9.6

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

<退職金で購入した金融商品>【ベース：金融商品購入（予定）者ベース】

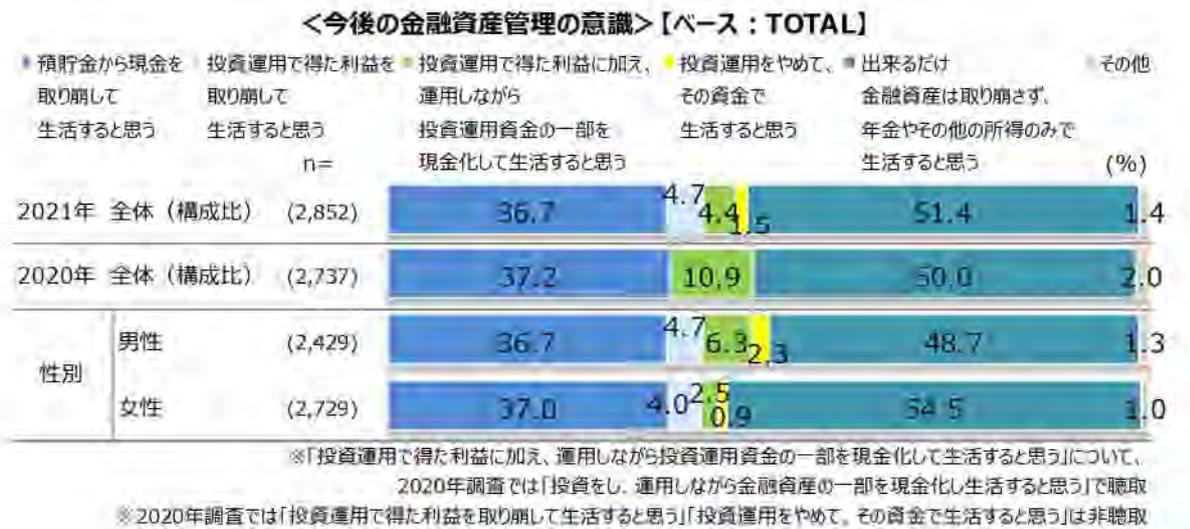
n=		株式	投資信託	国内債券	保険商品	外貨建て商品	その他	わからない
2021年 全体（構成比） (351)		59.5	52.1	21.4	19.1	12.8	3.1	2.8
2020年 全体（構成比） (331)		58.0	55.0	25.1	18.4	19.0	2.4	1.8
性別	男性 (479)	61.6	57.8	19.6	14.6	13.2	2.1	1.9
	女性 (180)	48.9	52.8	28.3	23.9	16.7	3.3	5.0

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

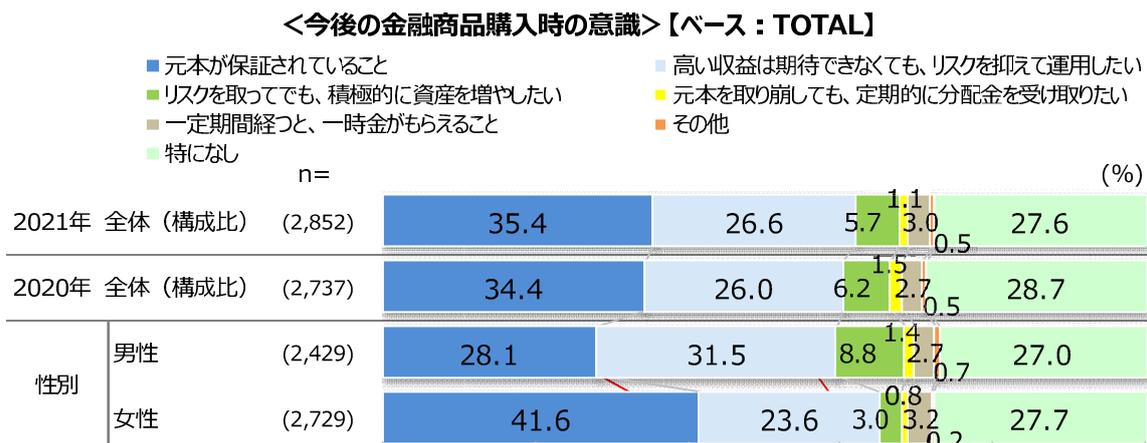
## 2. 調査結果の要約

### 今後の金融資産の管理／金融商品購入時の意識

- 今後の金融資産に対する管理意識として、「出来るだけ金融資産は取り崩さず、年金やその他の所得のみで生活すると思う」（51.4%）が最も高く、次いで「預貯金等から現金を取り崩して生活すると思う」が36.7%が続く。
- 性別でみると、男性よりも女性で「出来るだけ金融資産は取り崩さず、年金やその他の所得のみで生活すると思う」が高い。



- 今後、金融商品を購入する時の意識として、「元本が保証されていること」、「高い収益は期待できなくても、リスクを抑えて運用したい」の2つが高い。
- 性別でみると、女性では「元本が保証されていること」が、男性では「高い収益は期待できなくても、リスクを抑えて運用したい」が高い。



## 2. 調査結果の要約

### 資産の相続意向／引き継いでもらいたい資産／現金化意向

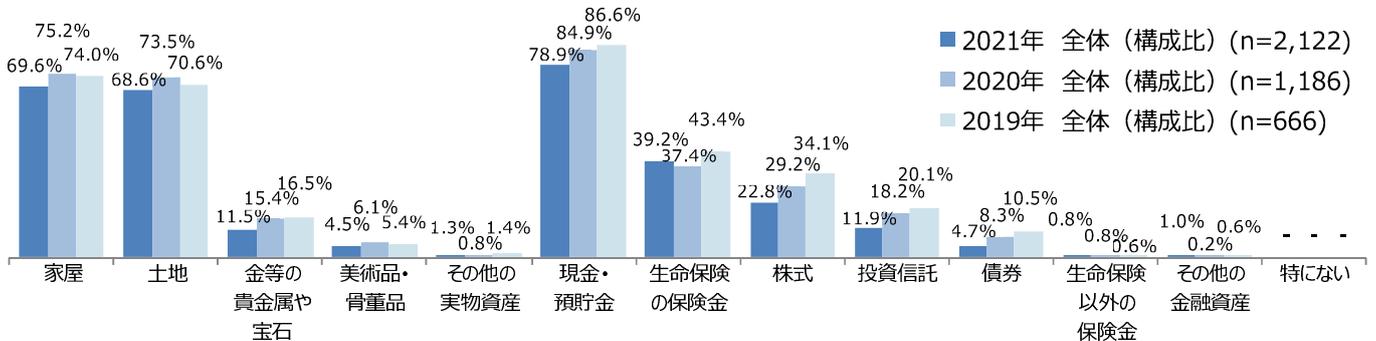
- 自分の財産の相続意向は、「相続させたい」が74.4%。
- 相続意向者における引き継いでもらいたい資産は、「現金・預貯金」、「家屋」、「土地」が上位に挙がる。時系列でみると、「現金・預貯金」、「株式」、「投資信託」は2019年調査から減少が続く。
- 金融資産相続意向者のうち、現金化意向者は23.7%。その内訳は、「金融商品は全て売却（現金化）」が14.3%、「金融商品は一部を売却（現金化）」が9.4%。

＜資産の相続意向＞【ベース：TOTAL】



※2021年調査では「どちらともいえない」非聴取 ※2020年調査以前では「相続させる資産がない」非聴取  
 ※2021年調査と2020年調査以前では設問形式が異なるため、時系列データについては参考値

＜引き継いでもらいたい資産＞【ベース：相続意向者】



※カテゴリごとに「2021年 全体 (構成比)」スコアを降順ソート

＜現金化意向＞【ベース：預貯金以外の金融資産の相続意向者】



現金化意向 計 23.7%

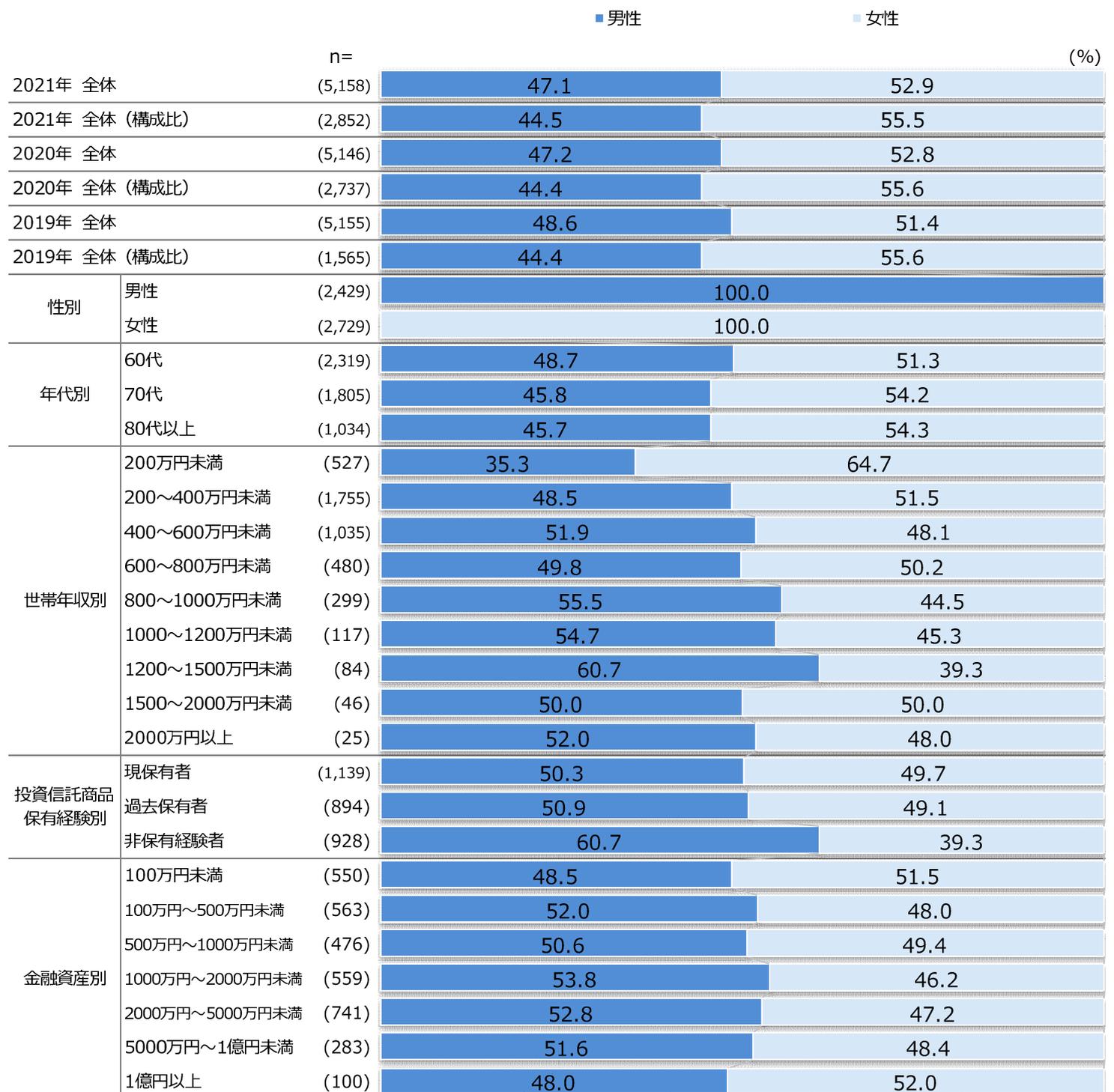
### 3. 回答者属性

---

### 3. 回答者属性

#### (1)性別

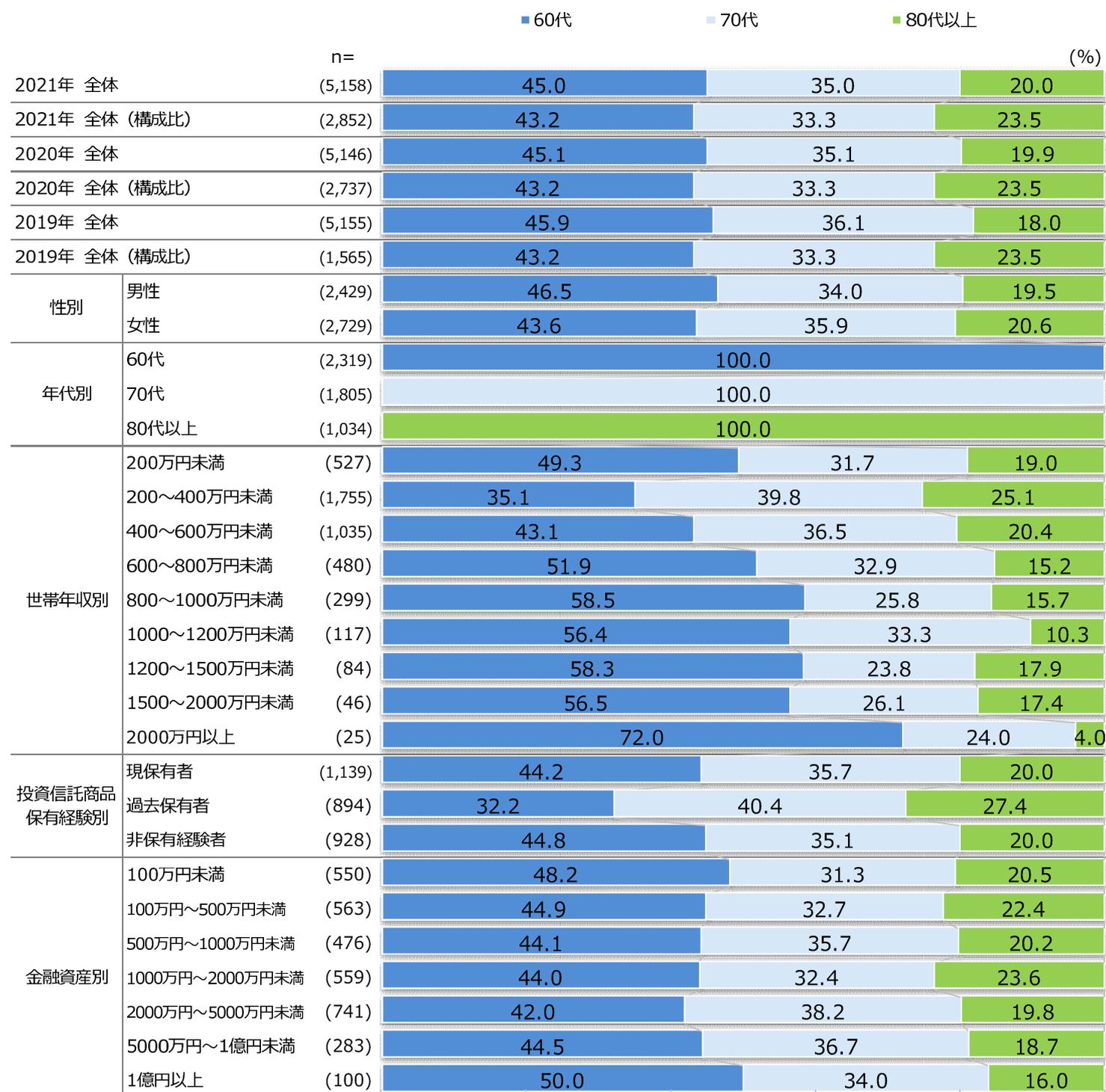
- 回答者の性別構成比は、「男性」が47.1%、「女性」が52.9%。
- 投資信託現保有者の性別構成比は、「男性」が50.3%、「女性」が49.7%。



### 3. 回答者属性

#### (2)年代別

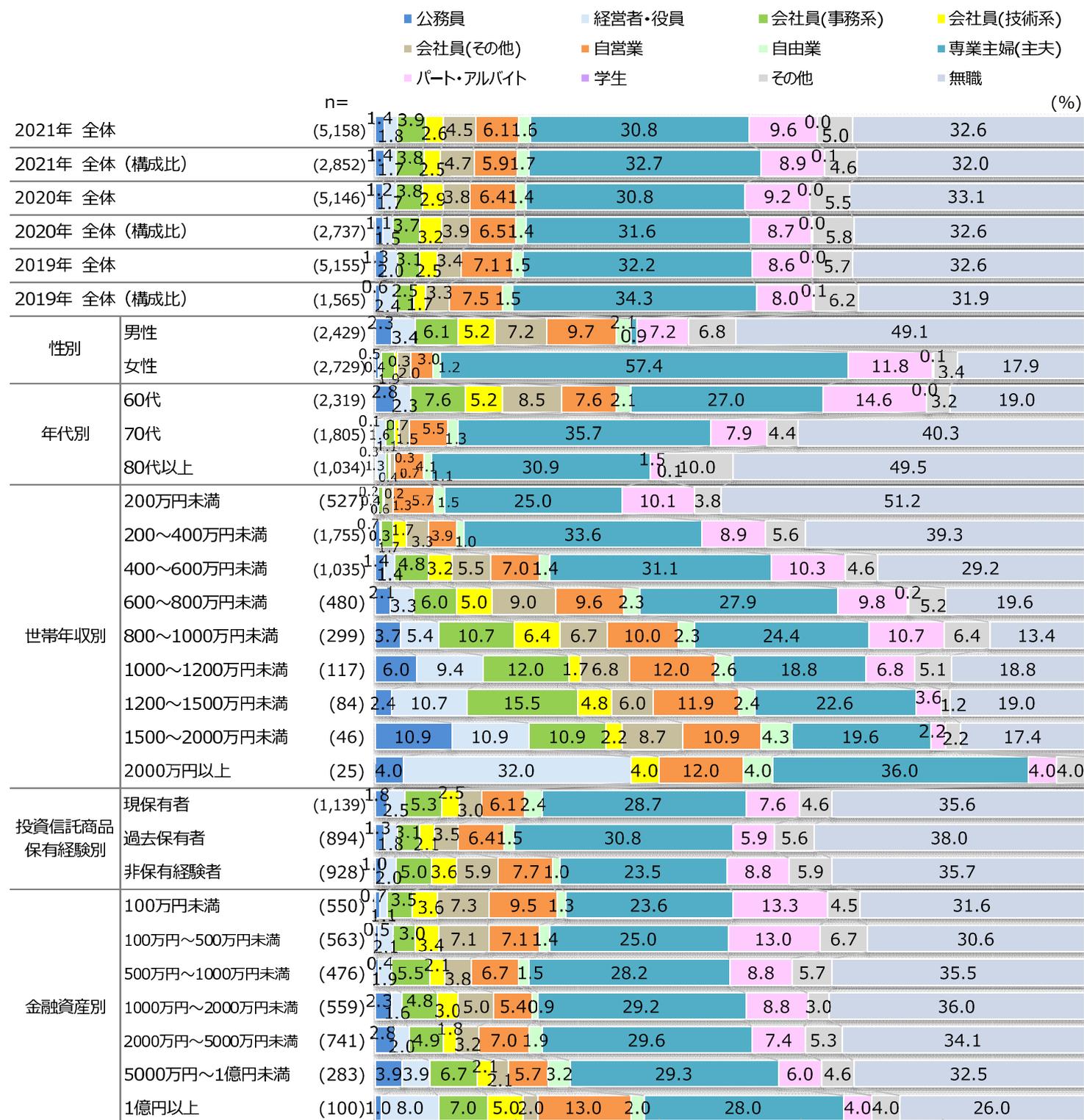
- 回答者の年代別構成比は、「60代」が45.0%、「70代」が35.0%、「80代以上」が20.0%。
- 投資信託現保有者の年代別構成比は、「60代」が44.2%、「70代」が35.7%、「80代以上」が20.0%。



### 3. 回答者属性

#### (3)職業

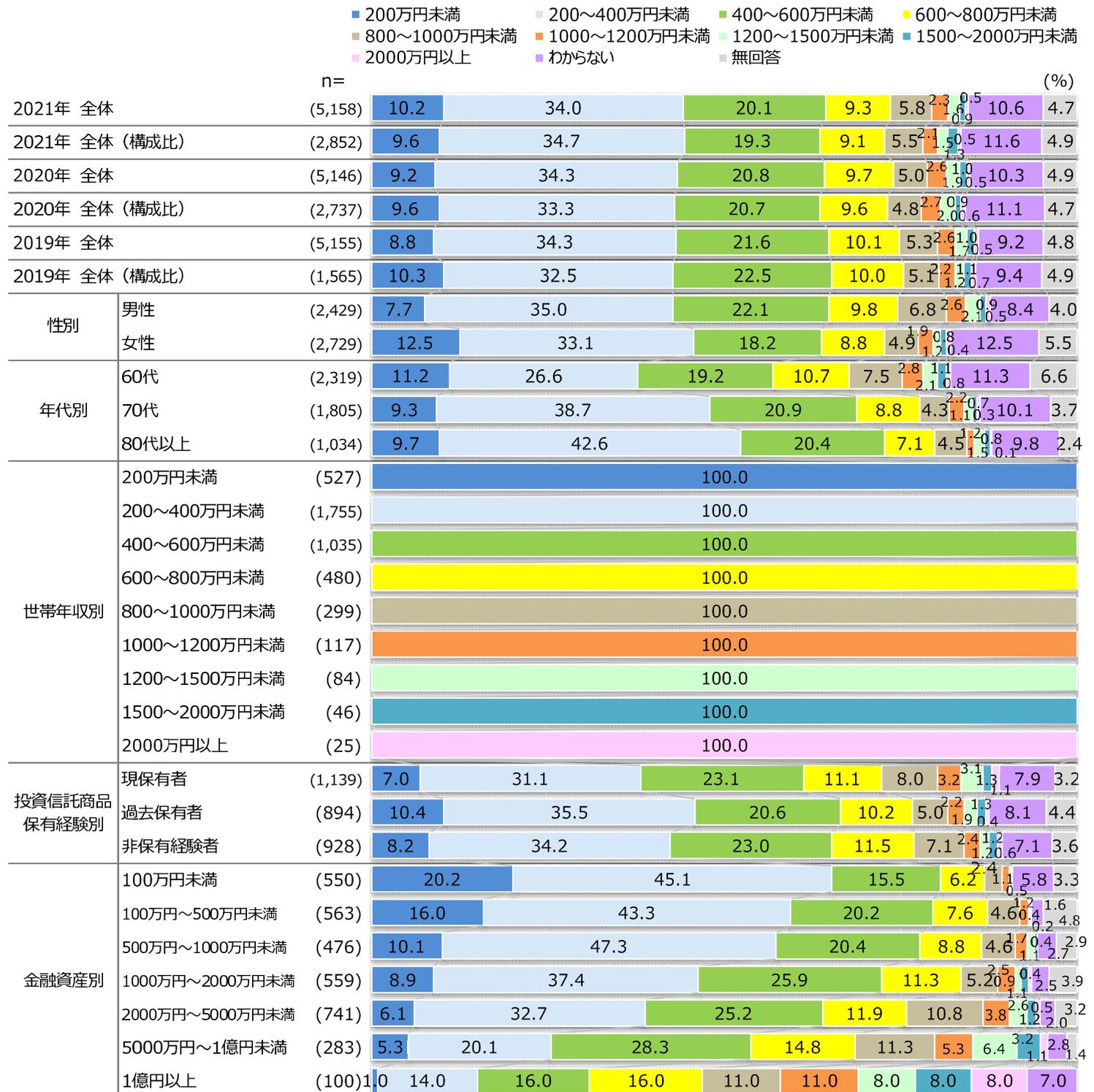
- 回答者の職業別構成比では、「専業主婦（主夫）」（30.8%）と「無職」（32.6%）が高い割合を占める。
- 性別で見ると、男性は「無職」、女性では「専業主婦」がそれぞれ高い割合を占めている。
- 投資信託現保有者の職業構成比は、2021年の全体と同様の傾向。



### 3. 回答者属性

#### (4)世帯年収

- 回答者の世帯年収別構成比では、「200～400万円未満」（34.0%）が最も多く、次いで「400～600万円未満」（20.1%）。
- 投資信託現保有者の世帯年収構成比は、2021年の全体と同様の傾向。

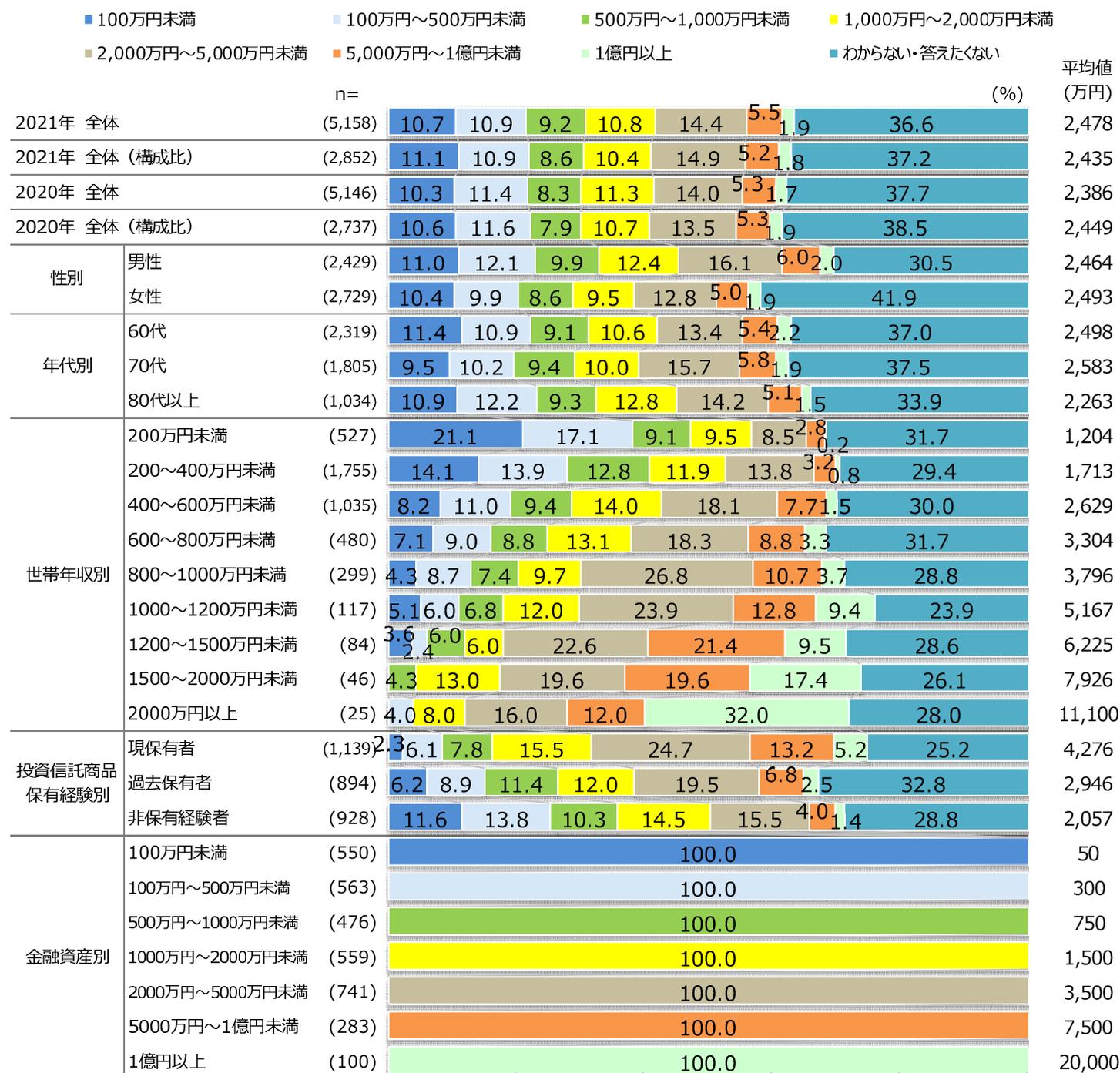


### 3. 回答者属性

#### (5)金融資産〔Q3:単一回答〕

- 回答者の金融資産別構成比では、「2,000万円～5,000万円未満」（14.4%）が最も高い割合を占める。平均値は2,478万円。
- 投資信託現保有者の金融資産構成比は、「2,000万円～5,000万円未満」（24.7%）が最も高く、平均値は4,276万円と2021年の全体を上回る。

※選択肢変更のため、2019年との比較なし



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウェイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100万円～500万円未満：300万円 / 500万円～1,000万円未満：750万円 / 1,000万円～2,000万円未満：1,500万円 / 2,000万円～5,000万円未満：3,500万円 / 5,000万円～1億円未満：7,500万円 / 1億円以上：2億円

### 3. 回答者属性

#### (6) 家族構成(同居不問)〔Q1:複数回答〕

- 回答者の家族構成比では、「配偶者」(73.4%)、「子」(60.0%)、「兄弟姉妹」(30.2%)、「孫」(29.3%)の順に高い。家族の「いない」人は6.6%。
- 投資信託現保有者の家族構成は、2021年の全体と同様の傾向。

		(%)							
n=		配偶者	親 (義理の親を含む)	子	兄弟姉妹	孫	その他	いない	
2021年 全体		(5,158)	73.4	17.6	60.0	30.2	29.3	2.0	6.6
2021年 全体 (構成比)		(2,852)	72.1	17.7	60.0	29.7	29.5	1.9	7.2
2020年 全体		(5,146)	73.8	17.5	59.0	29.4	28.4	2.1	6.2
2020年 全体 (構成比)		(2,737)	72.3	17.1	59.0	28.8	28.2	2.3	6.5
2019年 全体		(5,155)	75.3	17.6	61.4	29.1	30.7	2.0	6.5
2019年 全体 (構成比)		(1,565)	71.5	17.2	60.3	28.4	30.4	1.8	7.8
性別	男性	(2,429)	83.4	19.8	60.4	31.8	29.4	1.4	5.6
	女性	(2,729)	64.5	15.7	59.7	28.8	29.3	2.4	7.4
年代別	60代	(2,319)	75.9	28.8	57.4	29.5	20.6	1.3	6.9
	70代	(1,805)	77.6	10.1	61.9	33.4	37.0	2.2	5.6
	80代以上	(1,034)	60.4	5.6	62.8	26.3	35.4	3.1	7.5
世帯年収別	200万円未満	(527)	34.5	14.0	45.5	32.8	25.6	1.5	23.1
	200~400万円未満	(1,755)	73.3	14.5	56.1	33.3	32.3	1.6	7.2
	400~600万円未満	(1,035)	82.9	16.5	58.6	28.5	29.7	1.4	2.8
	600~800万円未満	(480)	84.0	20.4	71.7	29.4	27.9	3.1	1.5
	800~1000万円未満	(299)	83.6	27.8	79.9	29.4	31.8	2.3	1.0
	1000~1200万円未満	(117)	77.8	26.5	75.2	28.2	26.5	2.6	0.9
	1200~1500万円未満	(84)	81.0	26.2	76.2	21.4	20.2	3.6	1.2
	1500~2000万円未満	(46)	76.1	41.3	78.3	32.6	34.8	6.5	-
	2000万円以上	(25)	88.0	36.0	68.0	28.0	20.0	-	4.0
投資信託商品 保有経験別	現保有者	(1,139)	73.4	19.8	59.9	34.1	31.3	1.8	5.7
	過去保有者	(894)	74.8	13.6	58.7	32.1	33.8	2.6	6.2
	非保有経験者	(928)	76.8	19.2	61.9	32.1	29.7	1.8	5.7
金融資産別	100万円未満	(550)	58.0	14.5	56.4	24.4	24.9	1.6	11.8
	100万円~500万円未満	(563)	70.0	16.7	58.8	29.0	25.6	1.2	9.1
	500万円~1000万円未満	(476)	75.6	20.2	60.3	30.5	33.4	2.3	6.5
	1000万円~2000万円未満	(559)	77.1	18.4	62.3	33.3	31.5	1.6	5.5
	2000万円~5000万円未満	(741)	76.8	17.8	63.4	35.2	33.6	2.4	4.5
	5000万円~1億円未満	(283)	79.5	19.8	61.5	36.0	31.1	1.8	4.2
	1億円以上	(100)	70.0	26.0	51.0	30.0	23.0	1.0	7.0

## **4. 投資信託商品の保有・興味状況**

---

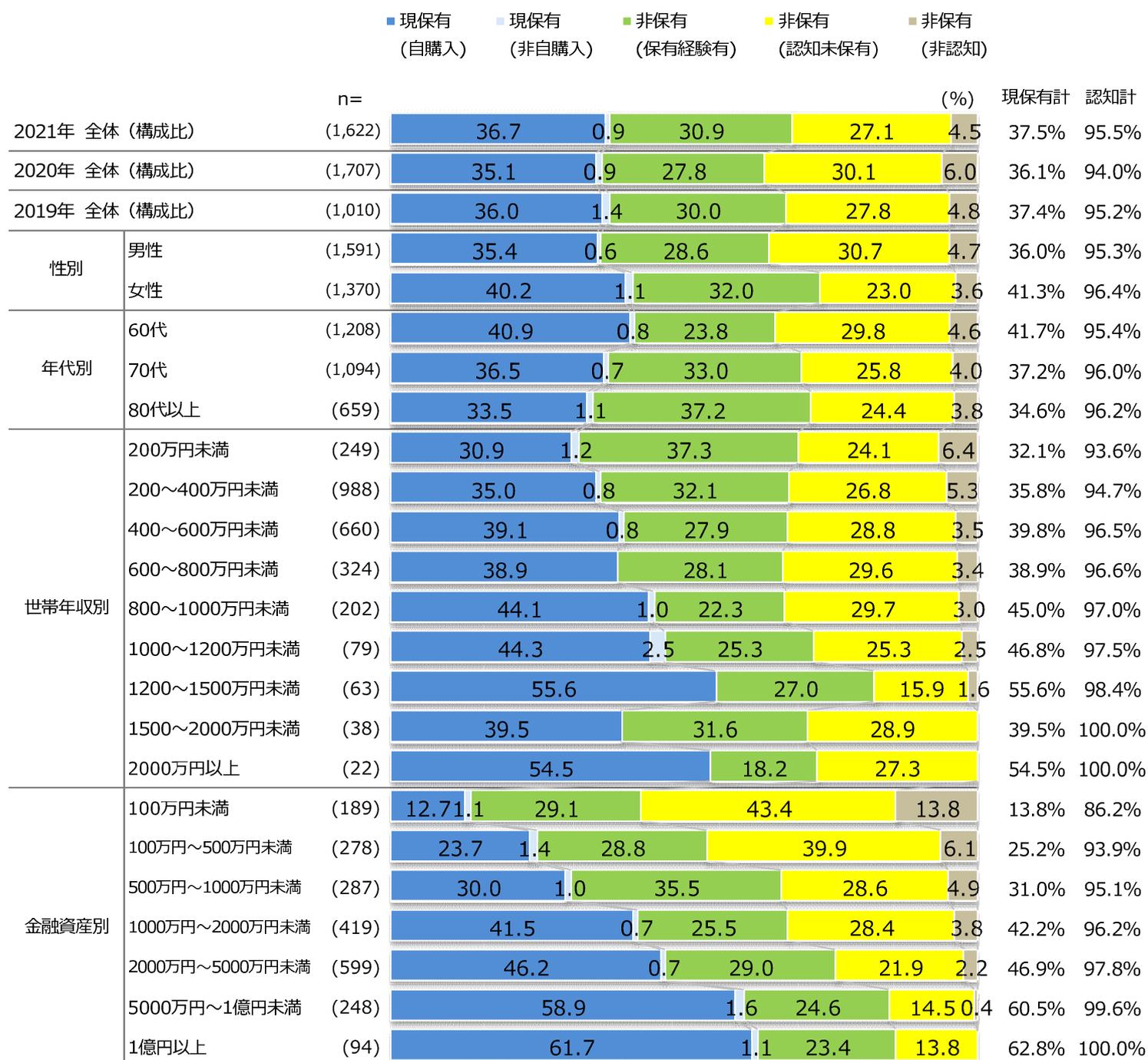
## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (1) 投資信託の保有・認知状況〔Q10S1:単一回答〕

- 投資信託の現保有率は37.5%。その内訳は、自購入が36.7%、非自購入が0.9%。投資信託の認知率は95.5%。
- 性別でみると、男性よりも女性の現保有率が高い。
- 年代別でみると、年代が下がるほど現保有率が高い。なお、認知率には大きな差は見られない。
- 世帯年収別でみると、年収が上がるほど現保有率、認知率も高まる。

※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資経験者ベース】



※現保有計: (「現保有(自購入)」+「現保有(非自購入)」) / 認知計: (「現保有(自購入)」~「非保有(認知未保有)」) のスコア

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-1)投資信託商品種類別 保有状況〔Q12:単一回答〕

- 保有している投資信託の種類は、「毎月・隔月分配型ファンド」(53.4%)が最も高く、「バランス型ファンド」(51.6%)が続く。以下、「インデックス型ファンド」(32.3%)、「不動産投資信託」(18.2%)、「ファンドラップ」(15.3%)、「アクティブ型ファンド」(14.0%)が続く。2020年調査から「インデックス型ファンド」・「バランス型ファンド」の保有率が増加。
- 世帯年収別で見ると、600万円未満では「毎月・隔月分配型ファンド」の保有が最も高いが、600万円以上になると「バランス型ファンド」も同程度に保有されている。※n=30 未満の軸は参考値

【投資信託保有者ベース】※「保有している」のスコア

		n=	毎月・隔月 分配型ファンド	バランス型 ファンド	インデックス型 ファンド	アクティブ型 ファンド	不動産 投資信託	ファンドラップ
2021年 全体 (構成比)		(609)	53.4	51.6	32.3	14.0	18.2	15.3
2020年 全体 (構成比)		(616)	56.7	45.1	23.1	11.5	18.8	13.6
性別	男性	(573)	48.9	50.8	35.3	18.2	19.0	14.1
	女性	(566)	59.4	52.3	26.1	11.1	17.1	16.3
年代別	60代	(504)	45.4	54.4	37.9	18.3	17.3	12.1
	70代	(407)	58.5	50.4	26.8	12.0	17.2	14.5
	80代以上	(228)	65.4	47.4	21.9	11.4	21.5	23.2
世帯年収別	200万円未満	(80)	60.0	52.5	36.3	10.0	20.0	12.5
	200～400万円未満	(354)	56.8	50.8	28.2	15.0	17.2	16.1
	400～600万円未満	(263)	52.9	48.3	27.0	15.6	16.3	14.8
	600～800万円未満	(126)	48.4	46.0	28.6	11.9	16.7	15.9
	800～1000万円未満	(91)	56.0	60.4	39.6	16.5	23.1	8.8
	1000～1200万円未満	(37)	45.9	56.8	32.4	16.2	18.9	24.3
	1200～1500万円未満	(35)	51.4	62.9	34.3	11.4	22.9	20.0
	1500～2000万円未満	(15)	53.3	86.7	60.0	40.0	46.7	40.0
2000万円以上	(12)	50.0	58.3	41.7	8.3	16.7	16.7	
金融資産別	100万円未満	(26)	38.5	34.6	38.5	11.5	11.5	3.8
	100万円～500万円未満	(70)	34.3	27.1	18.6	11.4	7.1	10.0
	500万円～1000万円未満	(89)	43.8	47.2	27.0	13.5	16.9	10.1
	1000万円～2000万円未満	(177)	55.4	50.3	27.7	11.9	13.0	10.7
	2000万円～5000万円未満	(281)	59.4	58.7	31.7	19.6	22.1	20.3
	5000万円～1億円未満	(150)	54.0	59.3	40.0	16.0	22.0	17.3
	1億円以上	(59)	57.6	71.2	47.5	32.2	37.3	20.3

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-2)投資信託商品種別 保有理由【毎月・隔月分配型ファンド】〔Q13S1:複数回答〕

- 『毎月・隔月分配型ファンド』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」（65.3%）が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」（45.6%）が続く。
- 世帯年収別で見ると、どの層においても「預貯金の金利が低いから」が最も高いが、200万円未満の層は「資産を分けて保有しておくため」も同程度挙げられている。 ※n=30未満の軸は参考値

【投資信託「毎月・隔月分配型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2021年 全体		(616)	65.3	45.6	8.6	29.2	20.6	18.5	5.0	10.2	27.9	1.9	6.0
2020年 全体		(653)	64.9	43.2	7.7	29.7	21.7	18.1	5.4	11.2	25.9	1.7	5.7
性別	男性	(280)	67.1	50.0	9.6	30.0	18.9	17.5	5.0	10.0	28.6	3.2	4.6
	女性	(336)	63.7	42.0	7.7	28.6	22.0	19.3	5.1	10.4	27.4	0.9	7.1
年代別	60代	(229)	65.1	47.6	8.3	30.1	19.7	16.6	3.5	7.9	27.9	1.7	4.8
	70代	(238)	63.4	44.5	6.7	27.7	21.0	20.2	5.0	10.1	25.6	1.3	7.6
	80代以上	(149)	68.5	44.3	12.1	30.2	21.5	18.8	7.4	14.1	31.5	3.4	5.4
世帯年収別	200万円未満	(48)	62.5	58.3	6.3	43.8	14.6	22.9	6.3	10.4	22.9	-	4.2
	200～400万円未満	(201)	66.2	38.8	9.0	33.3	23.4	17.4	3.5	8.0	24.4	3.0	5.0
	400～600万円未満	(139)	65.5	45.3	7.2	28.1	21.6	18.7	3.6	8.6	26.6	2.2	7.9
	600～800万円未満	(61)	72.1	52.5	13.1	32.8	23.0	21.3	4.9	11.5	39.3	-	3.3
	800～1000万円未満	(51)	62.7	54.9	9.8	15.7	17.6	23.5	9.8	13.7	27.5	2.0	7.8
	1000～1200万円未満	(17)	64.7	52.9	5.9	11.8	17.6	23.5	-	5.9	29.4	-	11.8
	1200～1500万円未満	(18)	66.7	33.3	11.1	16.7	11.1	11.1	11.1	11.1	38.9	-	5.6
	1500～2000万円未満	(8)	50.0	62.5	12.5	12.5	-	25.0	50.0	25.0	25.0	-	12.5
2000万円以上	(6)	50.0	100.0	16.7	-	33.3	16.7	-	33.3	33.3	16.7	-	
金融資産別	100万円未満	(10)	70.0	20.0	10.0	50.0	50.0	30.0	10.0	20.0	50.0	-	-
	100万円～500万円未満	(24)	58.3	33.3	8.3	58.3	16.7	8.3	-	8.3	37.5	-	-
	500万円～1000万円未満	(39)	66.7	48.7	10.3	46.2	17.9	30.8	10.3	20.5	30.8	-	5.1
	1000万円～2000万円未満	(98)	63.3	45.9	8.2	29.6	24.5	19.4	6.1	6.1	27.6	1.0	6.1
	2000万円～5000万円未満	(167)	71.3	47.9	10.2	37.1	25.1	20.4	3.6	9.0	29.9	2.4	4.8
	5000万円～1億円未満	(81)	56.8	69.1	12.3	24.7	19.8	18.5	7.4	12.3	25.9	2.5	6.2
1億円以上	(34)	73.5	64.7	17.6	11.8	20.6	11.8	5.9	32.4	38.2	2.9	2.9	

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-3)投資信託商品種別別 保有理由【バランス型ファンド】(Q13S2:複数回答)

- 『バランス型ファンド』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」(66.4%) が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」(53.5%) が続く。
- 性別で見ると、女性よりも男性で「資産を分けて保有しておくため」が高い。

#### 【投資信託「バランス型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の 金利が 低いから	資産を 分けて 保有して おくため	相続や 贈与の 資金の ため	自分の 生活費の ため	将来の 医療・ 介護費用 の負担に 備える ため	趣味や レジャー などの 遊興費に 充てる ため	社会との つながりを 持つため	経済に ついて 学ぶため	投資 そのものを 楽しむ ため	その他	特に理由 はない
2021年 全体		(587)	66.4	53.5	9.0	26.1	25.4	16.5	7.8	12.6	29.6	1.5	6.5
2020年 全体		(532)	66.7	53.0	10.0	28.4	24.4	17.1	5.3	13.0	27.6	1.3	4.5
性別	男性	(291)	67.0	58.8	8.9	28.9	23.7	15.1	8.2	12.0	32.0	2.7	4.8
	女性	(296)	65.9	48.3	9.1	23.3	27.0	17.9	7.4	13.2	27.4	0.3	8.1
年代別	60代	(274)	65.3	52.9	7.7	25.5	26.3	13.5	6.6	11.3	28.5	0.7	4.0
	70代	(205)	64.4	52.7	9.8	26.8	24.9	18.0	8.3	12.7	26.8	1.5	9.3
	80代以上	(108)	73.1	56.5	11.1	25.9	24.1	21.3	10.2	15.7	38.0	3.7	7.4
世帯 年収別	200万円未満	(42)	57.1	61.9	7.1	35.7	21.4	16.7	7.1	11.9	23.8	-	4.8
	200~400万円未満	(180)	67.8	47.2	10.0	30.6	27.8	13.9	4.4	8.9	22.8	2.2	7.2
	400~600万円未満	(127)	66.9	57.5	7.9	24.4	25.2	14.2	8.7	14.2	33.1	1.6	6.3
	600~800万円未満	(58)	70.7	55.2	15.5	24.1	29.3	22.4	3.4	12.1	36.2	-	5.2
	800~1000万円未満	(55)	63.6	56.4	3.6	18.2	27.3	20.0	12.7	10.9	27.3	1.8	7.3
	1000~1200万円未満	(21)	71.4	61.9	9.5	23.8	23.8	23.8	9.5	9.5	33.3	-	4.8
	1200~1500万円未満	(22)	72.7	45.5	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1	18.2	45.5	-	4.5
	1500~2000万円未満	(13)	53.8	46.2	7.7	23.1	15.4	23.1	30.8	15.4	30.8	-	23.1
2000万円以上	(7)	57.1	100.0	14.3	14.3	42.9	14.3	14.3	42.9	28.6	14.3	-	
金融 資産別	100万円未満	(9)	66.7	11.1	-	33.3	33.3	11.1	-	-	33.3	-	-
	100万円~500万円未満	(19)	68.4	36.8	5.3	42.1	31.6	5.3	15.8	21.1	36.8	-	5.3
	500万円~1000万円未満	(42)	73.8	57.1	11.9	45.2	26.2	23.8	11.9	19.0	33.3	-	4.8
	1000万円~2000万円未満	(89)	65.2	48.3	11.2	34.8	33.7	14.6	3.4	6.7	24.7	1.1	5.6
	2000万円~5000万円未満	(165)	70.9	55.2	9.1	31.5	30.3	18.2	8.5	14.5	29.7	2.4	6.1
	5000万円~1億円未満	(89)	64.0	77.5	13.5	16.9	29.2	19.1	13.5	11.2	33.7	2.2	3.4
	1億円以上	(42)	66.7	59.5	14.3	16.7	14.3	14.3	11.9	23.8	38.1	2.4	4.8

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-4)投資信託商品種類別 保有理由【インデックス型ファンド】〔Q13S3:複数回答〕

- 『インデックス型ファンド』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」（63.7%）が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」（54.6%）が続く。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「資産を分けて保有しておくため」が高くなり、600万円以上になると保有理由の1位と並ぶ。 ※n=30未満の軸は参考値

【投資信託「インデックス型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2021年 全体		(350)	63.7	54.6	8.6	28.9	26.0	19.1	8.6	15.7	37.1	1.4	3.4
2020年 全体		(279)	66.3	52.7	10.8	21.9	25.4	16.1	7.5	12.5	35.1	0.7	2.5
性別	男性	(202)	64.4	56.9	8.4	28.7	24.3	16.8	8.9	16.3	40.6	2.5	2.0
	女性	(148)	62.8	51.4	8.8	29.1	28.4	22.3	8.1	14.9	32.4	-	5.4
年代別	60代	(191)	59.7	52.9	6.8	27.7	25.1	13.6	6.3	11.5	33.0	0.5	3.7
	70代	(109)	64.2	57.8	8.3	26.6	24.8	23.9	8.3	18.3	40.4	1.8	2.8
	80代以上	(50)	78.0	54.0	16.0	38.0	32.0	30.0	18.0	26.0	46.0	4.0	4.0
世帯年収別	200万円未満	(29)	62.1	65.5	6.9	37.9	24.1	20.7	3.4	10.3	24.1	-	3.4
	200～400万円未満	(100)	67.0	48.0	10.0	39.0	31.0	16.0	5.0	13.0	31.0	2.0	2.0
	400～600万円未満	(71)	57.7	45.1	8.5	28.2	26.8	23.9	8.5	18.3	47.9	-	2.8
	600～800万円未満	(36)	58.3	58.3	11.1	33.3	30.6	25.0	8.3	16.7	36.1	-	8.3
	800～1000万円未満	(36)	69.4	69.4	5.6	16.7	16.7	22.2	8.3	16.7	25.0	2.8	-
	1000～1200万円未満	(12)	83.3	83.3	-	8.3	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	-	-
	1200～1500万円未満	(12)	75.0	58.3	16.7	16.7	25.0	16.7	8.3	8.3	50.0	-	8.3
	1500～2000万円未満	(9)	44.4	66.7	11.1	22.2	11.1	22.2	55.6	33.3	44.4	-	11.1
2000万円以上	(5)	40.0	100.0	20.0	-	40.0	-	-	20.0	20.0	20.0	-	-
金融資産別	100万円未満	(10)	60.0	20.0	20.0	60.0	50.0	30.0	10.0	20.0	40.0	-	-
	100万円～500万円未満	(13)	61.5	46.2	-	53.8	-	-	15.4	30.8	38.5	-	-
	500万円～1000万円未満	(24)	66.7	54.2	8.3	50.0	41.7	20.8	8.3	16.7	37.5	-	4.2
	1000万円～2000万円未満	(49)	61.2	55.1	8.2	32.7	38.8	14.3	8.2	14.3	30.6	2.0	2.0
	2000万円～5000万円未満	(89)	66.3	53.9	5.6	31.5	28.1	24.7	6.7	18.0	36.0	2.2	2.2
	5000万円～1億円未満	(60)	70.0	80.0	18.3	25.0	30.0	23.3	13.3	10.0	40.0	-	-
	1億円以上	(28)	67.9	57.1	14.3	21.4	14.3	14.3	7.1	25.0	32.1	3.6	3.6

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-5)投資信託商品種類別 保有理由【アクティブ型ファンド】〔Q13S4:複数回答〕

- 『アクティブ型ファンド』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」（62.9%）が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」（53.9%）、「投資そのものを楽しむため」（42.5%）が続く。
- 年代別で見ると、70代では「資産を分けて保有しておくため」が他年代に比べて低いが、「投資そのものを楽しむため」は高い。
- 2020年調査と比べると、「資産を分けて保有しておくため」が減少。

#### 【投資信託「アクティブ型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の 金利が 低いから	資産を 分けて 保有して おくため	相続や 贈与の 資金の ため	自分の 生活費の ため	将来の 医療・ 介護費用 の負担に 備える ため	趣味や レジャー などの 遊興費に 充てる ため	社会との つながり を持つため	経済に ついて 学ぶため	投資 そのもの を楽しむ ため	その他	特に理由 はない
2021年 全体		(167)	62.9	53.9	12.6	28.7	28.7	18.0	6.6	15.6	42.5	1.2	0.6
2020年 全体		(133)	66.9	67.7	14.3	26.3	25.6	27.1	7.5	12.0	42.1	-	1.5
性別	男性	(104)	62.5	56.7	10.6	29.8	28.8	10.6	4.8	14.4	45.2	1.0	-
	女性	(63)	63.5	49.2	15.9	27.0	28.6	30.2	9.5	17.5	38.1	1.6	1.6
年代別	60代	(92)	60.9	58.7	14.1	30.4	32.6	14.1	5.4	14.1	40.2	-	1.1
	70代	(49)	63.3	42.9	8.2	30.6	28.6	24.5	6.1	14.3	49.0	2.0	-
	80代以上	(26)	69.2	57.7	15.4	19.2	15.4	19.2	11.5	23.1	38.5	3.8	-
世帯 年収別	200万円未満	(8)	62.5	50.0	12.5	62.5	12.5	25.0	-	12.5	12.5	-	-
	200～400万円未満	(53)	62.3	49.1	7.5	30.2	22.6	15.1	1.9	17.0	37.7	-	-
	400～600万円未満	(41)	58.5	48.8	19.5	22.0	36.6	17.1	2.4	17.1	51.2	2.4	-
	600～800万円未満	(15)	60.0	66.7	20.0	40.0	33.3	26.7	13.3	6.7	40.0	-	-
	800～1000万円未満	(15)	80.0	53.3	13.3	20.0	26.7	20.0	13.3	20.0	40.0	6.7	-
	1000～1200万円未満	(6)	100.0	83.3	-	33.3	16.7	-	16.7	16.7	66.7	-	-
	1200～1500万円未満	(4)	75.0	25.0	25.0	50.0	75.0	-	-	-	25.0	-	-
	1500～2000万円未満	(6)	33.3	50.0	16.7	16.7	-	33.3	33.3	-	33.3	-	16.7
	2000万円以上	(1)	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
金融 資産別	100万円未満	(3)	33.3	33.3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-
	100万円～500万円未満	(8)	75.0	50.0	12.5	25.0	-	-	-	25.0	37.5	-	-
	500万円～1000万円未満	(12)	58.3	66.7	16.7	41.7	25.0	25.0	8.3	16.7	25.0	-	-
	1000万円～2000万円未満	(21)	38.1	47.6	9.5	14.3	33.3	14.3	-	9.5	42.9	-	-
	2000万円～5000万円未満	(55)	80.0	45.5	10.9	43.6	41.8	21.8	9.1	14.5	47.3	3.6	-
	5000万円～1億円未満	(24)	54.2	75.0	25.0	33.3	20.8	12.5	8.3	8.3	45.8	-	-
	1億円以上	(19)	68.4	57.9	15.8	10.5	10.5	21.1	10.5	21.1	47.4	-	5.3

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-6)投資信託商品種類別 保有理由【不動産投資信託】〔Q13S5:複数回答〕

- 『不動産投資信託』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」（67.7%）が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」（54.6%）が続く。
- 2020年調査と比べると、「将来の医療・介護費用の負担に備えるため」、「自分の生活費のため」はやや増加。

#### 【投資信託「不動産投資信託」保有者ベース】

		n=	預貯金の 金利が 低いから	資産を 分けて 保有して おくため	相続や 贈与の 資金の ため	自分の 生活費の ため	将来の 医療・ 介護費用 の負担に 備える ため	趣味や レジャー などの 遊興費に 充てる ため	社会との つながりを 持つため	経済に ついて 学ぶため	投資 そのものを 楽しむ ため	その他	特に理由 はない
2021年 全体		(229)	67.7	54.6	10.9	33.2	27.1	18.8	8.3	15.3	34.9	2.2	3.1
2020年 全体		(239)	67.8	55.6	8.4	28.9	21.3	20.5	4.6	13.0	33.9	1.3	3.3
性別	男性	(124)	63.7	55.6	9.7	35.5	29.8	16.9	6.5	12.1	36.3	4.0	1.6
	女性	(105)	72.4	53.3	12.4	30.5	23.8	21.0	10.5	19.0	33.3	-	4.8
年代別	60代	(95)	64.2	57.9	11.6	29.5	25.3	12.6	7.4	14.7	36.8	-	3.2
	70代	(80)	67.5	46.3	5.0	31.3	26.3	23.8	5.0	12.5	28.8	2.5	5.0
	80代以上	(54)	74.1	61.1	18.5	42.6	31.5	22.2	14.8	20.4	40.7	5.6	-
世帯 年収別	200万円未満	(17)	76.5	70.6	5.9	58.8	23.5	11.8	11.8	5.9	23.5	-	-
	200～400万円未満	(68)	60.3	41.2	8.8	38.2	25.0	19.1	7.4	17.6	29.4	2.9	2.9
	400～600万円未満	(46)	76.1	54.3	10.9	37.0	32.6	19.6	4.3	15.2	43.5	2.2	2.2
	600～800万円未満	(26)	65.4	65.4	26.9	26.9	30.8	34.6	11.5	15.4	46.2	-	3.8
	800～1000万円未満	(22)	77.3	77.3	9.1	18.2	31.8	22.7	9.1	18.2	22.7	-	-
	1000～1200万円未満	(9)	77.8	66.7	11.1	22.2	11.1	22.2	-	22.2	44.4	-	-
	1200～1500万円未満	(9)	66.7	33.3	11.1	33.3	22.2	11.1	-	-	33.3	-	11.1
	1500～2000万円未満	(9)	55.6	55.6	11.1	22.2	11.1	22.2	44.4	22.2	55.6	-	11.1
	2000万円以上	(2)	50.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	50.0	-
金融 資産別	100万円未満	(4)	50.0	75.0	25.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-
	100万円～500万円未満	(6)	66.7	33.3	33.3	50.0	16.7	16.7	33.3	66.7	50.0	-	-
	500万円～1000万円未満	(17)	64.7	70.6	-	52.9	11.8	17.6	17.6	17.6	47.1	-	-
	1000万円～2000万円未満	(25)	64.0	64.0	12.0	20.0	32.0	12.0	8.0	12.0	32.0	4.0	-
	2000万円～5000万円未満	(68)	72.1	54.4	17.6	45.6	35.3	22.1	2.9	14.7	38.2	-	4.4
	5000万円～1億円未満	(36)	66.7	61.1	11.1	38.9	30.6	27.8	11.1	8.3	36.1	2.8	-
	1億円以上	(26)	65.4	53.8	11.5	3.8	19.2	15.4	11.5	23.1	42.3	3.8	3.8

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-7)投資信託商品種類別 保有理由【ファンドラップ】(Q13S6:複数回答)

- 『ファンドラップ』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」(68.9%) が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」(48.1%) が続く。
- 性別で見ると、男性では「預貯金の金利が低いから」が、女性では「自分の生活費のため」「趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため」が高い。

#### 【投資信託「ファンドラップ」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2021年 全体		(241)	68.9	48.1	14.1	27.4	30.3	13.7	8.3	12.4	28.6	2.5	8.3
2020年 全体		(206)	66.0	47.1	17.0	28.6	31.6	19.9	9.2	14.1	29.1	1.9	4.4
性別	男性	(115)	72.2	47.0	13.0	22.6	29.6	9.6	8.7	14.8	26.1	3.5	11.3
	女性	(126)	65.9	49.2	15.1	31.7	31.0	17.5	7.9	10.3	31.0	1.6	5.6
年代別	60代	(96)	69.8	45.8	11.5	26.0	32.3	7.3	8.3	11.5	28.1	3.1	8.3
	70代	(76)	67.1	50.0	14.5	30.3	31.6	18.4	5.3	15.8	26.3	1.3	7.9
	80代以上	(69)	69.6	49.3	17.4	26.1	26.1	17.4	11.6	10.1	31.9	2.9	8.7
世帯年収別	200万円未満	(14)	64.3	42.9	14.3	14.3	21.4	28.6	7.1	14.3	28.6	-	-
	200~400万円未満	(81)	66.7	43.2	12.3	29.6	24.7	12.3	6.2	7.4	18.5	3.7	8.6
	400~600万円未満	(51)	74.5	56.9	17.6	29.4	31.4	11.8	3.9	13.7	33.3	-	7.8
	600~800万円未満	(27)	66.7	37.0	18.5	33.3	37.0	22.2	11.1	11.1	40.7	3.7	3.7
	800~1000万円未満	(18)	77.8	55.6	11.1	16.7	55.6	11.1	22.2	16.7	44.4	5.6	5.6
	1000~1200万円未満	(12)	91.7	66.7	8.3	25.0	41.7	-	8.3	16.7	33.3	-	-
	1200~1500万円未満	(8)	87.5	37.5	25.0	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	-	12.5
	1500~2000万円未満	(7)	71.4	42.9	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6	-	14.3	-	14.3
	2000万円以上	(2)	100.0	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
金融資産別	100万円未満	(4)	50.0	-	-	75.0	50.0	-	-	-	25.0	-	25.0
	100万円~500万円未満	(15)	53.3	20.0	13.3	40.0	20.0	6.7	13.3	26.7	33.3	6.7	6.7
	500万円~1000万円未満	(14)	78.6	57.1	14.3	64.3	57.1	28.6	28.6	21.4	35.7	7.1	-
	1000万円~2000万円未満	(28)	78.6	50.0	7.1	21.4	46.4	3.6	-	10.7	35.7	-	7.1
	2000万円~5000万円未満	(73)	68.5	50.7	13.7	35.6	35.6	12.3	8.2	11.0	31.5	2.7	5.5
	5000万円~1億円未満	(30)	70.0	70.0	26.7	20.0	26.7	20.0	13.3	10.0	33.3	-	6.7
	1億円以上	(13)	76.9	69.2	23.1	23.1	7.7	15.4	15.4	23.1	23.1	-	7.7

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-1)投資信託商品種別別 興味状況〔Q12:単一回答〕

- 現在保有していないが、興味はある投資信託の種類は、全体的に低い。
- その中でも興味度の高い種類は「ファンドラップ」（14.2%）。以下、「バランス型ファンド」（11.6%）、「毎月・隔月分配型ファンド」（10.2%）、「インデックス型ファンド」（9.9%）、「アクティブ型ファンド」（8.7%）、「不動産投資信託」（7.7%）が続く。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど、いずれの種類への興味度も高くなる傾向が見られる。  
※n=30 未満の軸は参考値

※「保有していないが、興味はある」のスコア

		n=	毎月・隔月 分配型ファンド	バランス型 ファンド	インデックス型 ファンド	アクティブ型 ファンド	不動産 投資信託	ファンドラップ
2021年 全体（構成比）		(2,852)	10.2	11.6	9.9	8.7	7.7	14.2
2020年 全体（構成比）		(2,737)	9.1	11.3	10.7	8.4	8.2	11.0
性別	男性	(2,429)	11.4	14.4	12.4	11.4	9.8	15.4
	女性	(2,729)	9.1	10.1	8.2	6.7	5.9	13.4
年代別	60代	(2,319)	11.5	13.1	10.9	9.7	7.8	15.3
	70代	(1,805)	9.3	12.1	9.4	8.4	7.6	13.7
	80代以上	(1,034)	8.7	10.1	9.8	8.3	7.8	13.3
世帯年収別	200万円未満	(527)	7.8	8.9	6.3	5.3	4.7	11.8
	200～400万円未満	(1,755)	9.2	10.7	8.8	7.5	7.3	14.1
	400～600万円未満	(1,035)	10.3	13.7	11.4	9.1	8.3	13.1
	600～800万円未満	(480)	12.1	16.3	14.6	14.2	9.8	18.1
	800～1000万円未満	(299)	15.7	17.4	14.4	15.1	11.4	17.1
	1000～1200万円未満	(117)	15.4	18.8	17.1	15.4	16.2	18.8
	1200～1500万円未満	(84)	19.0	16.7	20.2	21.4	15.5	15.5
	1500～2000万円未満	(46)	17.4	13.0	13.0	10.9	2.2	13.0
	2000万円以上	(25)	4.0	4.0	8.0	24.0	-	20.0
金融資産別	100万円未満	(550)	7.5	8.7	4.9	6.2	4.9	14.7
	100万円～500万円未満	(563)	12.4	13.1	9.4	7.8	7.8	14.6
	500万円～1000万円未満	(476)	14.5	13.9	12.2	10.9	10.5	14.1
	1000万円～2000万円未満	(559)	15.6	17.5	12.7	11.4	10.2	14.7
	2000万円～5000万円未満	(741)	14.0	18.1	17.8	13.0	12.4	19.7
	5000万円～1億円未満	(283)	10.2	15.5	16.3	18.0	14.1	18.0
	1億円以上	(100)	10.0	10.0	20.0	25.0	13.0	22.0

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-2)投資信託商品種別 興味理由【毎月・隔月分配型ファンド】(Q13S1:複数回答)

- 『毎月・隔月分配型ファンド』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」(61.9%)が最も高い。以下、「資産を分けて保有しておくため」(35.0%)、「自分の生活費のため」(33.1%)、「投資そのものを楽しむため」(33.0%)が続く。
- 性別でみると、男性では「投資そのものを楽しむため」が、女性では「自分の生活費のため」「将来の医療・介護費用の負担に備えるため」が高い。

#### 【投資信託「毎月・隔月分配型ファンド」非保有興味者ベース】

(%)

		n=	預貯金の 金利が 低いから	資産を 分けて 保有して おくため	相続や 贈与の 資金の ため	自分の 生活費の ため	将来の 医療・ 介護費用 の負担に 備える ため	趣味や レジャー などの 遊興費に 充てる ため	社会との つながり を持つため	経済に ついて 学ぶため	投資 そのもの を楽しむ ため	その他	特に理由 はない
2021年 全体		(525)	61.9	35.0	9.5	33.1	30.7	18.1	9.5	16.2	33.0	0.6	5.1
2020年 全体		(469)	64.2	35.0	8.1	38.6	30.9	23.0	7.0	16.8	29.9	-	5.3
性別	男性	(278)	62.2	37.8	7.6	29.9	26.6	16.5	10.1	15.8	37.8	0.7	5.8
	女性	(247)	61.5	32.0	11.7	36.8	35.2	19.8	8.9	16.6	27.5	0.4	4.5
年代別	60代	(267)	63.7	38.2	10.9	34.5	30.7	15.7	7.9	16.5	30.3	0.4	6.0
	70代	(168)	59.5	31.0	6.5	31.0	26.8	16.7	9.5	16.1	41.1	0.6	3.6
	80代以上	(90)	61.1	33.3	11.1	33.3	37.8	27.8	14.4	15.6	25.6	1.1	5.6
世帯年収別	200万円未満	(41)	58.5	29.3	9.8	46.3	29.3	29.3	12.2	7.3	19.5	2.4	2.4
	200~400万円未満	(162)	58.0	25.3	11.1	34.0	29.6	18.5	6.2	9.3	32.1	-	6.8
	400~600万円未満	(107)	63.6	49.5	9.3	32.7	37.4	15.0	10.3	25.2	29.0	-	4.7
	600~800万円未満	(58)	51.7	34.5	5.2	27.6	25.9	13.8	6.9	15.5	37.9	1.7	10.3
	800~1000万円未満	(47)	68.1	38.3	8.5	17.0	36.2	17.0	14.9	10.6	40.4	-	4.3
	1000~1200万円未満	(18)	88.9	61.1	11.1	38.9	27.8	27.8	16.7	22.2	55.6	-	-
	1200~1500万円未満	(16)	56.3	37.5	18.8	12.5	18.8	12.5	12.5	25.0	50.0	-	-
	1500~2000万円未満	(8)	75.0	50.0	-	50.0	50.0	12.5	12.5	12.5	37.5	-	-
	2000万円以上	(1)	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
金融資産別	100万円未満	(41)	48.8	22.0	7.3	43.9	22.0	31.7	4.9	19.5	26.8	-	7.3
	100万円~500万円未満	(70)	54.3	24.3	11.4	34.3	24.3	12.9	10.0	17.1	38.6	1.4	7.1
	500万円~1000万円未満	(69)	63.8	43.5	8.7	46.4	40.6	14.5	17.4	18.8	34.8	1.4	2.9
	1000万円~2000万円未満	(87)	62.1	32.2	10.3	24.1	32.2	17.2	8.0	16.1	32.2	-	2.3
	2000万円~5000万円未満	(104)	72.1	48.1	8.7	30.8	36.5	20.2	11.5	17.3	33.7	-	6.7
	5000万円~1億円未満	(29)	65.5	51.7	6.9	24.1	37.9	24.1	13.8	17.2	55.2	-	3.4
	1億円以上	(10)	50.0	50.0	10.0	20.0	40.0	20.0	-	10.0	10.0	-	-

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-3)投資信託商品種類別 興味理由【バランス型ファンド】〔Q13S2:複数回答〕

- 『バランス型ファンド』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」（65.3%）が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」（43.4%）が続く。
- 性別でみると、「自分の生活費のため」は男性よりも女性で高い。

#### 【投資信託「バランス型ファンド」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の 金利が 低いから	資産を 分けて 保有して おくため	相続や 贈与の 資金の ため	自分の 生活費の ため	将来の 医療・ 介護費用 の負担に 備える ため	趣味や レジャー などの 遊興費に 充てる ため	社会との つながり を持つため	経済に ついて 学ぶため	投資 そのもの を楽しむ ため	その他	特に理由 はない
2021年 全体		(625)	65.3	43.4	8.6	31.0	26.7	15.5	8.6	16.5	32.6	0.8	4.3
2020年 全体		(596)	65.3	41.3	8.1	32.4	30.5	21.5	7.0	17.3	28.7	-	4.4
性別	男性	(350)	64.3	43.1	8.3	27.1	24.9	16.3	7.4	15.7	33.4	0.6	5.7
	女性	(275)	66.5	43.6	9.1	36.0	29.1	14.5	10.2	17.5	31.6	1.1	2.5
年代別	60代	(303)	64.7	44.6	9.2	31.7	26.7	14.5	9.2	14.2	29.0	0.7	5.0
	70代	(218)	65.6	41.7	6.0	29.8	22.9	15.6	6.4	16.1	39.4	-	1.8
	80代以上	(104)	66.3	43.3	12.5	31.7	34.6	18.3	11.5	24.0	28.8	2.9	7.7
世帯 年収別	200万円未満	(47)	57.4	40.4	8.5	42.6	34.0	19.1	12.8	12.8	29.8	-	8.5
	200～400万円未満	(188)	65.4	36.2	9.6	34.6	30.3	17.6	7.4	13.8	31.9	-	4.8
	400～600万円未満	(142)	63.4	52.1	7.0	24.6	26.1	12.7	8.5	23.2	27.5	0.7	4.2
	600～800万円未満	(78)	61.5	44.9	9.0	28.2	23.1	20.5	7.7	15.4	37.2	1.3	6.4
	800～1000万円未満	(52)	71.2	46.2	13.5	26.9	21.2	13.5	9.6	11.5	38.5	1.9	1.9
	1000～1200万円未満	(22)	81.8	54.5	4.5	31.8	22.7	18.2	9.1	22.7	50.0	-	-
	1200～1500万円未満	(14)	57.1	35.7	21.4	21.4	35.7	7.1	-	14.3	42.9	-	-
	1500～2000万円未満	(6)	66.7	66.7	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-
2000万円以上	(1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金融 資産別	100万円未満	(48)	43.8	29.2	10.4	47.9	29.2	31.3	6.3	25.0	31.3	-	4.2
	100万円～500万円未満	(74)	58.1	28.4	9.5	43.2	23.0	9.5	10.8	17.6	36.5	-	6.8
	500万円～1000万円未満	(66)	63.6	40.9	10.6	37.9	34.8	13.6	16.7	21.2	33.3	1.5	4.5
	1000万円～2000万円未満	(98)	65.3	45.9	4.1	20.4	23.5	13.3	8.2	11.2	35.7	-	3.1
	2000万円～5000万円未満	(134)	76.1	52.2	11.9	28.4	33.6	16.4	7.5	17.2	32.8	0.7	3.7
	5000万円～1億円未満	(44)	68.2	63.6	6.8	27.3	20.5	22.7	9.1	20.5	52.3	-	2.3
	1億円以上	(10)	80.0	70.0	10.0	-	40.0	20.0	-	10.0	-	10.0	-

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-4)投資信託商品種別 興味理由【インデックス型ファンド】〔Q13S3:複数回答〕

- 『インデックス型ファンド』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」（64.5%）が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」（45.0%）が続く。
- 年代別でみると、80代以上では「自分の生活費のため」が他年代に比べて低く、「預貯金の金利が低いから」が高い。

【投資信託「インデックス型ファンド」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の 金利が 低いから	資産を 分けて 保有して おくため	相続や 贈与の 資金の ため	自分の 生活費の ため	将来の 医療・ 介護費用 の負担に 備える ため	趣味や レジャー などの 遊興費に 充てる ため	社会との つながりを 持つため	経済に ついて 学ぶため	投資 そのものを 楽しむ ため	その他	特に理由 はない
2021年 全体		(524)	64.5	45.0	9.4	26.1	21.8	15.1	9.9	17.9	37.2	1.0	6.1
2020年 全体		(505)	64.0	47.1	10.9	33.7	25.1	21.0	8.5	21.2	31.7	0.4	4.4
性別	男性	(300)	64.7	46.0	8.3	24.3	20.3	13.0	9.3	16.3	37.3	1.0	6.0
	女性	(224)	64.3	43.8	10.7	28.6	23.7	17.9	10.7	20.1	37.1	0.9	6.3
年代別	60代	(253)	64.0	46.2	9.5	27.3	22.9	15.0	11.1	16.6	34.4	0.4	6.7
	70代	(170)	61.8	42.9	6.5	29.4	18.8	14.1	8.8	14.7	40.6	-	4.7
	80代以上	(101)	70.3	45.5	13.9	17.8	23.8	16.8	8.9	26.7	38.6	4.0	6.9
世帯 年収別	200万円未満	(33)	66.7	54.5	15.2	33.3	21.2	21.2	9.1	15.2	36.4	3.0	3.0
	200～400万円未満	(155)	63.9	41.3	11.6	31.6	25.2	17.4	9.0	12.3	33.5	1.3	6.5
	400～600万円未満	(118)	71.2	51.7	7.6	19.5	28.0	13.6	9.3	24.6	38.1	0.8	4.2
	600～800万円未満	(70)	57.1	41.4	5.7	24.3	7.1	11.4	4.3	7.1	38.6	-	10.0
	800～1000万円未満	(43)	65.1	37.2	14.0	30.2	23.3	18.6	18.6	18.6	46.5	2.3	7.0
	1000～1200万円未満	(20)	85.0	55.0	15.0	25.0	20.0	15.0	10.0	25.0	55.0	-	-
	1200～1500万円未満	(17)	64.7	41.2	5.9	11.8	-	5.9	-	17.6	52.9	-	-
	1500～2000万円未満	(6)	66.7	83.3	16.7	16.7	33.3	16.7	-	16.7	33.3	-	-
2000万円以上	(2)	100.0	100.0	-	50.0	50.0	-	50.0	100.0	50.0	-	-	
金融 資産別	100万円未満	(27)	48.1	25.9	3.7	29.6	22.2	33.3	7.4	25.9	40.7	-	7.4
	100万円～500万円未満	(53)	60.4	28.3	9.4	39.6	30.2	17.0	9.4	17.0	37.7	-	13.2
	500万円～1000万円未満	(58)	72.4	51.7	17.2	34.5	20.7	12.1	20.7	22.4	31.0	-	5.2
	1000万円～2000万円未満	(71)	54.9	47.9	9.9	25.4	19.7	15.5	4.2	12.7	46.5	1.4	2.8
	2000万円～5000万円未満	(132)	76.5	50.0	12.1	28.0	25.0	13.6	12.1	18.9	40.9	1.5	4.5
	5000万円～1億円未満	(46)	65.2	67.4	6.5	19.6	17.4	17.4	6.5	21.7	45.7	2.2	-
	1億円以上	(20)	60.0	65.0	10.0	10.0	25.0	10.0	10.0	20.0	35.0	-	-

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-5)投資信託商品種別 興味理由【アクティブ型ファンド】【Q13S4:複数回答】

- 『アクティブ型ファンド』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」（66.2%）が最も高い。以下、「資産を分けて保有しておくため」（49.1%）、「投資そのものを楽しむため」（43.9%）が続く。
- 2020年調査と比べると、「投資そのものを楽しむため」が増加し、「自分の生活費のため」が減少。
- 年代別で見ると、80代以上では「経済について学ぶため」が他年代に比べて特に高く、全体的に他の年代と比較して高い。

【投資信託「アクティブ型ファンド」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の 金利が 低いから	資産を 分けて 保有して おくため	相続や 贈与の 資金の ため	自分の 生活費の ため	将来の 医療・ 介護費用 の負担に 備える ため	趣味や レジャー などの 遊興費に 充てる ため	社会との つながり を持つため	経済に ついて 学ぶため	投資 そのもの を楽しむ ため	その他	特に理由 はない
2021年 全体		(462)	66.2	49.1	11.7	29.2	25.8	17.3	12.6	20.6	43.9	1.3	5.6
2020年 全体		(417)	63.1	46.0	9.8	35.7	30.2	19.4	9.8	23.3	33.6	0.7	4.3
性別	男性	(278)	65.8	46.8	9.7	26.6	22.3	16.9	10.8	18.3	43.5	1.8	6.8
	女性	(184)	66.8	52.7	14.7	33.2	31.0	17.9	15.2	23.9	44.6	0.5	3.8
年代別	60代	(224)	65.2	50.9	10.7	28.6	23.2	15.6	10.7	18.8	38.8	-	6.7
	70代	(152)	63.8	47.4	9.9	27.6	24.3	16.4	11.8	16.4	48.0	0.7	5.3
	80代以上	(86)	73.3	47.7	17.4	33.7	34.9	23.3	18.6	32.6	50.0	5.8	3.5
世帯 年収別	200万円未満	(28)	64.3	60.7	25.0	35.7	25.0	14.3	14.3	14.3	46.4	-	10.7
	200～400万円未満	(132)	59.8	37.1	11.4	33.3	27.3	17.4	9.1	12.1	40.9	3.0	7.6
	400～600万円未満	(94)	73.4	53.2	9.6	26.6	26.6	13.8	7.4	25.5	43.6	-	4.3
	600～800万円未満	(68)	63.2	50.0	11.8	30.9	27.9	25.0	11.8	17.6	51.5	-	7.4
	800～1000万円未満	(45)	64.4	60.0	13.3	24.4	28.9	17.8	22.2	24.4	33.3	-	4.4
	1000～1200万円未満	(18)	83.3	66.7	11.1	22.2	22.2	16.7	16.7	33.3	55.6	-	-
	1200～1500万円未満	(18)	55.6	44.4	11.1	16.7	22.2	16.7	-	22.2	55.6	-	-
	1500～2000万円未満	(5)	60.0	80.0	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	60.0	60.0	-	-
	2000万円以上	(6)	50.0	100.0	16.7	-	33.3	-	-	33.3	33.3	16.7	-
金融 資産別	100万円未満	(34)	47.1	23.5	11.8	44.1	23.5	20.6	8.8	26.5	41.2	-	11.8
	100万円～500万円未満	(44)	54.5	25.0	6.8	40.9	31.8	11.4	18.2	29.5	47.7	-	6.8
	500万円～1000万円未満	(52)	71.2	57.7	19.2	38.5	25.0	13.5	19.2	25.0	50.0	-	5.8
	1000万円～2000万円未満	(64)	67.2	53.1	17.2	39.1	25.0	21.9	9.4	15.6	50.0	1.6	1.6
	2000万円～5000万円未満	(96)	71.9	56.3	12.5	25.0	31.3	11.5	7.3	19.8	41.7	2.1	6.3
	5000万円～1億円未満	(51)	74.5	74.5	11.8	19.6	33.3	27.5	15.7	23.5	52.9	2.0	-
	1億円以上	(25)	60.0	72.0	12.0	12.0	32.0	12.0	12.0	32.0	24.0	8.0	-

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-6)投資信託商品種別別 興味理由【不動産投資信託】〔Q13S5:複数回答〕

- 『不動産投資信託』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」（62.3%）が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」（47.3%）、「投資そのものを楽しむため」（41.8%）が続く。
- 性別で見ると、男性では「資産を分けて保有しておくため」が、女性では「自分の生活費のため」が高い。

【投資信託「不動産投資信託」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2021年 全体		(400)	62.3	47.3	11.3	30.5	25.0	15.5	11.8	18.8	41.8	1.0	4.5
2020年 全体		(393)	61.1	46.3	10.9	35.4	29.0	20.1	9.9	20.4	37.2	0.8	2.8
性別	男性	(239)	62.8	51.0	11.7	26.8	23.8	13.4	9.6	17.2	43.5	1.3	5.9
	女性	(161)	61.5	41.6	10.6	36.0	26.7	18.6	14.9	21.1	39.1	0.6	2.5
年代別	60代	(181)	62.4	45.9	11.6	27.6	27.6	11.6	8.8	19.3	35.4	1.1	6.1
	70代	(138)	60.9	47.8	11.6	30.4	20.3	16.7	10.1	15.2	47.1	-	2.9
	80代以上	(81)	64.2	49.4	9.9	37.0	27.2	22.2	21.0	23.5	46.9	2.5	3.7
世帯年収別	200万円未満	(25)	56.0	52.0	20.0	28.0	16.0	24.0	12.0	24.0	48.0	-	4.0
	200～400万円未満	(128)	59.4	38.3	11.7	37.5	23.4	13.3	5.5	11.7	40.6	2.3	4.7
	400～600万円未満	(86)	62.8	54.7	7.0	19.8	25.6	12.8	14.0	16.3	36.0	-	7.0
	600～800万円未満	(47)	57.4	51.1	8.5	36.2	21.3	12.8	12.8	17.0	53.2	2.1	6.4
	800～1000万円未満	(34)	67.6	52.9	14.7	20.6	29.4	11.8	17.6	32.4	32.4	-	2.9
	1000～1200万円未満	(19)	84.2	68.4	15.8	26.3	21.1	15.8	15.8	26.3	57.9	-	-
	1200～1500万円未満	(13)	69.2	30.8	23.1	7.7	15.4	15.4	7.7	23.1	46.2	-	-
	1500～2000万円未満	(1)	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
	2000万円以上	(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金融資産別	100万円未満	(27)	48.1	18.5	7.4	51.9	25.9	11.1	14.8	18.5	29.6	-	14.8
	100万円～500万円未満	(44)	56.8	27.3	15.9	40.9	25.0	20.5	15.9	22.7	40.9	-	4.5
	500万円～1000万円未満	(50)	66.0	58.0	18.0	36.0	32.0	16.0	16.0	24.0	46.0	4.0	2.0
	1000万円～2000万円未満	(57)	52.6	47.4	7.0	28.1	24.6	21.1	7.0	10.5	52.6	-	3.5
	2000万円～5000万円未満	(92)	72.8	55.4	8.7	30.4	30.4	14.1	8.7	15.2	38.0	2.2	3.3
	5000万円～1億円未満	(40)	65.0	62.5	12.5	20.0	20.0	20.0	20.0	27.5	42.5	-	5.0
	1億円以上	(13)	84.6	76.9	30.8	15.4	23.1	7.7	-	30.8	38.5	-	-

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-7)投資信託商品種類別 興味理由【ファンドラップ】(Q13S6:複数回答)

- 『ファンドラップ』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」(42.2%) が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」(30.3%) が続く。
- 2020年調査と比べると、「預貯金の金利が低いから」が7.5ポイント減少。
- 性別で見ると、女性よりも男性で「資産を分けて保有しておくため」「投資そのものを楽しむため」が高い。

【投資信託「ファンドラップ」非保有興味者ベース】

(%)

n=		預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない	
2021年 全体		(740)	42.2	30.3	8.1	21.5	19.9	13.0	7.0	12.7	22.2	1.1	33.1
2020年 全体		(589)	49.7	33.3	8.5	27.0	21.2	16.5	5.6	13.2	22.1	0.5	25.6
性別	男性	(374)	43.3	34.0	8.8	23.8	20.9	13.6	9.1	12.6	24.6	1.1	28.9
	女性	(366)	41.0	26.5	7.4	19.1	18.9	12.3	4.9	12.8	19.7	1.1	37.4
年代別	60代	(355)	42.5	30.4	8.7	21.7	19.4	12.1	6.2	12.4	18.6	0.8	33.8
	70代	(247)	43.3	32.0	7.3	20.6	17.8	14.2	6.9	10.5	26.3	0.4	30.0
	80代以上	(138)	39.1	26.8	8.0	22.5	24.6	13.0	9.4	17.4	23.9	2.9	37.0
世帯年収別	200万円未満	(62)	33.9	22.6	6.5	32.3	19.4	8.1	4.8	9.7	14.5	3.2	48.4
	200～400万円未満	(248)	39.1	23.4	7.3	21.4	18.1	13.3	2.8	9.3	16.9	1.6	37.5
	400～600万円未満	(136)	44.1	37.5	5.1	16.2	22.8	12.5	9.6	16.2	22.1	-	29.4
	600～800万円未満	(87)	55.2	41.4	16.1	25.3	26.4	17.2	9.2	13.8	34.5	-	14.9
	800～1000万円未満	(51)	51.0	43.1	13.7	21.6	21.6	21.6	15.7	15.7	25.5	2.0	21.6
	1000～1200万円未満	(22)	63.6	50.0	4.5	22.7	9.1	18.2	9.1	27.3	36.4	-	18.2
	1200～1500万円未満	(13)	46.2	46.2	7.7	23.1	23.1	7.7	-	7.7	53.8	-	7.7
	1500～2000万円未満	(6)	50.0	83.3	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3	50.0	50.0	-	-
	2000万円以上	(5)	20.0	60.0	20.0	-	-	20.0	-	20.0	20.0	-	40.0
金融資産別	100万円未満	(81)	19.8	13.6	2.5	21.0	13.6	12.3	4.9	13.6	17.3	1.2	53.1
	100万円～500万円未満	(82)	43.9	23.2	7.3	37.8	25.6	17.1	7.3	12.2	22.0	-	22.0
	500万円～1000万円未満	(67)	44.8	40.3	13.4	29.9	22.4	11.9	10.4	17.9	31.3	3.0	23.9
	1000万円～2000万円未満	(82)	51.2	34.1	8.5	19.5	22.0	14.6	4.9	13.4	28.0	-	24.4
	2000万円～5000万円未満	(146)	60.3	44.5	11.6	26.0	32.9	19.2	10.3	19.9	30.1	2.1	17.8
	5000万円～1億円未満	(51)	56.9	60.8	15.7	17.6	23.5	21.6	9.8	13.7	33.3	2.0	13.7
	1億円以上	(22)	45.5	50.0	9.1	13.6	18.2	13.6	9.1	13.6	18.2	-	18.2

## 5. 全般的な投資への意識と実態

---

## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (1) 投資経験〔Q4:単一回答〕

- 60代以上の投資経験について、現投資率は38.8%。投資経験率は56.9%となっている。どちらも2019年調査から減少傾向が続く。
- 性別で見ると、現投資率は女性よりも男性で高く、45.9%。年代別で見ると、現投資率に大きな差は見られないが、投資経験率は60代よりも70代以上の年代で高く、6割超を占める。
- 世帯年収別では、年収が上がるほど現投資率が高くなり、世帯年収800万円以上で現投資率が50%を超える。※n=30未満の軸は参考値

■ 現在投資している ■ 現在は投資していないが、していたことはある ■ 投資したことはない

		n=	投資経験計 (%)			投資経験計 (%)
2021年 全体 (構成比)		(2,852)	38.8	18.1	43.1	56.9%
2020年 全体 (構成比)		(2,737)	43.3	19.0	37.6	62.4%
2019年 全体 (構成比)		(1,565)	46.1	18.4	35.5	64.5%
性別	男性	(2,429)	45.9	19.6	34.5	65.5%
	女性	(2,729)	33.8	16.4	49.8	50.2%
年代別	60代	(2,319)	37.9	14.2	47.9	52.1%
	70代	(1,805)	41.2	19.4	39.4	60.6%
	80代以上	(1,034)	40.0	23.7	36.3	63.7%
世帯年収別	200万円未満	(527)	27.9	19.4	52.8	47.2%
	200~400万円未満	(1,755)	36.9	19.4	43.7	56.3%
	400~600万円未満	(1,035)	44.5	19.2	36.2	63.8%
	600~800万円未満	(480)	47.9	19.6	32.5	67.5%
	800~1000万円未満	(299)	53.2	14.4	32.4	67.6%
	1000~1200万円未満	(117)	54.7	12.8	32.5	67.5%
	1200~1500万円未満	(84)	65.5	9.5	25.0	75.0%
	1500~2000万円未満	(46)	63.0	19.6	17.4	82.6%
	2000万円以上	(25)	76.0	12.0	12.0	88.0%
金融資産別	100万円未満	(550)	12.2	22.2	65.6	34.4%
	100万円~500万円未満	(563)	29.3	20.1	50.6	49.4%
	500万円~1000万円未満	(476)	39.5	20.8	39.7	60.3%
	1000万円~2000万円未満	(559)	56.0	19.0	25.0	75.0%
	2000万円~5000万円未満	(741)	63.3	17.5	19.2	80.8%
	5000万円~1億円未満	(283)	76.0	11.7	12.4	87.6%
	1億円以上	(100)	87.0	7.0	6.0	94.0%

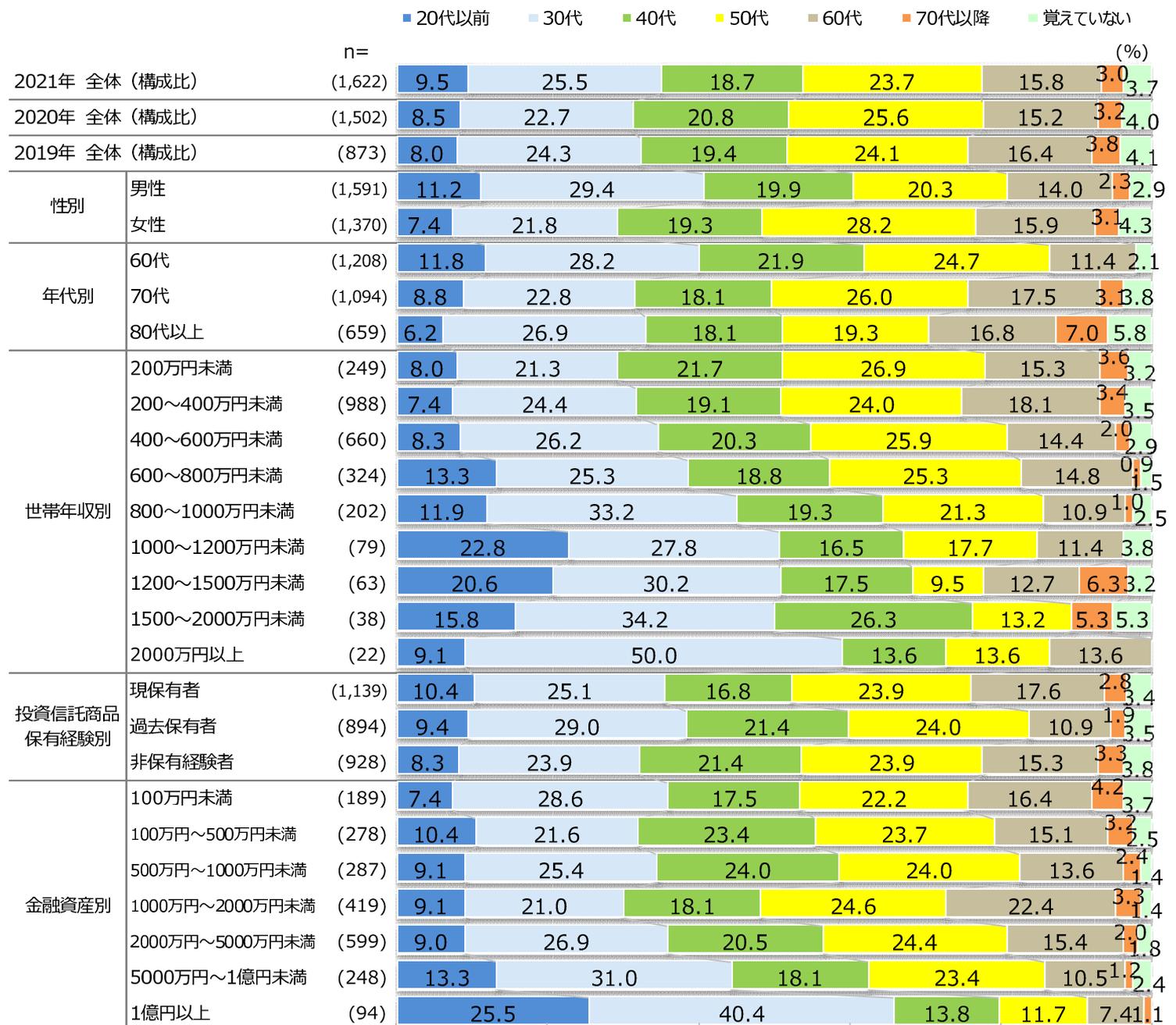
※投資経験計：（「現在投資している」+「現在は投資していないが、していたことはある」）のスコア

# 5. 全般的な投資への意識と実態

## (2)初めて投資をした年齢（投資経験者）〔Q5:単一回答〕

- 投資経験者の初めて投資した年齢は、「30代」（25.5%）、「50代」（23.7%）、「40代」（18.7%）、「60代」（15.8%）の順に高い。
- 性別で見ると、男性では「30代」（29.4%）が、女性では「50代」（28.2%）が最も高く、投資開始時期は男性で早い。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「20代以前」、「30代」からの投資割合が増加傾向。  
※n=30未満の軸は参考値

### 【投資経験者ベース】



## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (3)初めて投資をしたきっかけ（投資経験者）〔Q6:複数回答〕

- 初めて投資をしたきっかけは、「自分から自然と興味を持った」（38.7%）が最も高い。以下、「家族や友人、知人に勧められた」（23.7%）、「金融機関から勧められた」（19.7%）が続く。
- 性別で見ると、男性では「自分から自然と興味を持った」（47.8%）が最も高く、圧倒。2位の「家族や友人、知人に勧められた」を30.5ポイント上回る。一方、女性では「家族や友人、知人に勧められた」（29.9%）が最も高く、僅差で「自分から自然と興味を持った」「金融機関から勧められた」が続く。※n=30未満の軸は参考値

【投資経験者ベース】

		n=	自分から自然と興味を持った	家族や友人、知人に勧められた	金融機関から勧められた	定期預金や保険が満期になりお金が戻ってきた	テレビや雑誌、インターネット等の情報に影響を受けた	贈与や相続を受けた	退職金をもらった	ライフステージが変化した	企業型確定拠出年金に加入した	その他
2021年 全体（構成比）		(1,622)	38.7	23.7	19.7	13.1	11.1	8.3	7.6	6.0	3.1	3.1
2020年 全体（構成比）		(1,502)	37.0	25.1	22.4	12.6	11.7	8.3	9.5	6.4	2.7	3.0
2019年 全体（構成比）		(873)	36.9	21.4	21.6	14.7	10.7	8.8	9.9	4.7	-	3.1
性別	男性	(1,591)	47.8	17.3	14.3	9.9	14.7	6.0	11.0	7.5	4.2	3.5
	女性	(1,370)	28.3	29.9	27.4	16.3	8.4	10.1	4.7	4.1	1.2	3.0
年代別	60代	(1,208)	37.7	21.1	18.7	13.0	13.7	9.2	6.0	7.0	3.6	3.6
	70代	(1,094)	38.0	24.8	21.4	11.3	10.6	7.4	8.1	5.2	2.7	3.2
	80代以上	(659)	42.0	24.1	21.7	15.0	10.3	6.4	11.7	5.0	1.8	2.6
世帯年収別	200万円未満	(249)	41.0	24.1	21.7	13.3	10.4	9.6	4.0	3.6	1.2	2.8
	200～400万円未満	(988)	38.8	20.3	20.1	15.0	11.2	7.5	9.0	4.9	2.4	3.2
	400～600万円未満	(660)	40.2	23.0	20.6	10.6	12.7	7.0	10.5	8.6	3.5	2.9
	600～800万円未満	(324)	35.8	25.3	18.5	12.3	14.8	8.0	8.0	6.5	2.8	3.4
	800～1000万円未満	(202)	37.1	25.2	16.8	14.9	7.9	11.4	5.9	4.5	4.5	4.0
	1000～1200万円未満	(79)	36.7	24.1	22.8	13.9	19.0	10.1	5.1	8.9	2.5	1.3
	1200～1500万円未満	(63)	42.9	28.6	22.2	6.3	12.7	6.3	12.7	6.3	4.8	4.8
	1500～2000万円未満	(38)	39.5	36.8	23.7	10.5	5.3	5.3	-	13.2	-	5.3
2000万円以上	(22)	27.3	31.8	22.7	-	18.2	-	4.5	4.5	9.1	9.1	
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,139)	38.5	22.8	26.2	14.7	12.9	8.8	10.2	6.8	2.5	2.7
	過去保有者	(894)	38.5	23.0	23.7	14.0	10.0	5.7	7.6	4.6	2.6	2.5
	非保有経験者	(928)	39.5	23.6	10.0	9.4	12.2	8.9	5.9	6.1	3.6	4.6
金融資産別	100万円未満	(189)	42.3	15.3	12.7	8.5	15.3	7.9	3.7	4.8	4.2	3.7
	100万円～500万円未満	(278)	41.7	23.0	16.2	11.2	13.3	6.5	7.2	4.3	3.2	3.2
	500万円～1000万円未満	(287)	36.9	23.3	15.3	14.3	11.5	8.4	10.5	4.5	4.2	3.8
	1000万円～2000万円未満	(419)	35.3	21.0	26.5	12.9	13.4	8.4	11.7	8.4	2.6	1.7
	2000万円～5000万円未満	(599)	35.6	22.5	23.4	16.4	13.7	9.0	12.2	7.2	3.0	3.5
	5000万円～1億円未満	(248)	41.5	25.4	23.4	14.1	10.5	11.7	4.4	7.7	2.4	2.4
	1億円以上	(94)	45.7	35.1	17.0	9.6	16.0	12.8	4.3	7.4	3.2	5.3

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

# 5. 全般的な投資への意識と実態

## (4)投資理由（投資経験者）〔Q7:複数回答〕

- 投資理由は、「預貯金の金利が低いから」（50.1%）が最も高く、「投資そのものを楽しむため」（31.4%）、「資産を分けて保有しておくため」（27.6%）が続く。
- 性別で見ると、女性よりも男性で「投資そのものを楽しむため」が高い。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「資産を分けて保有しておくため」が高い。

※n=30未満の軸は参考値

### 【投資経験者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	投資そのものを楽しむため	資産を分けて保有しておくため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	自分の生活費のため	経済について学ぶため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	相続や贈与の資金のため	その他	特に理由はない
2021年 全体（構成比）		(1,622)	50.1	31.4	27.6	19.9	19.9	15.6	12.7	7.5	6.0	1.4	10.1
2020年 全体（構成比）		(1,502)	49.1	31.3	26.9	20.9	21.0	14.6	15.4	6.9	5.2	1.5	8.5
2019年 全体（構成比）		(873)	45.4	30.8	25.7	17.2	16.4	15.2	11.9	6.0	4.8	2.1	12.3
性別	男性	(1,591)	48.1	36.3	27.8	20.2	22.1	17.3	14.6	7.5	4.7	1.8	9.5
	女性	(1,370)	50.4	27.7	25.8	19.3	17.2	13.6	11.7	7.4	6.1	1.6	11.1
年代別	60代	(1,208)	51.5	28.7	28.1	17.6	20.1	14.5	11.6	6.0	5.6	2.0	10.1
	70代	(1,094)	48.8	33.5	26.6	19.1	19.2	14.8	13.6	7.6	4.3	1.3	10.2
	80代以上	(659)	45.4	37.2	25.0	25.0	20.5	19.0	15.8	9.7	6.5	1.8	10.5
世帯年収別	200万円未満	(249)	47.0	29.7	20.9	15.7	28.5	15.7	10.0	6.4	3.2	0.8	11.2
	200～400万円未満	(988)	48.6	32.3	25.0	19.8	20.9	14.3	13.5	6.3	5.1	2.5	9.3
	400～600万円未満	(660)	51.7	33.9	27.7	22.1	18.6	17.1	13.8	7.6	3.6	0.9	9.4
	600～800万円未満	(324)	47.8	35.2	26.9	19.8	18.5	14.8	17.3	7.1	6.5	0.9	11.1
	800～1000万円未満	(202)	55.9	26.7	33.7	23.3	17.8	13.9	13.9	10.9	8.4	2.5	5.9
	1000～1200万円未満	(79)	43.0	45.6	34.2	22.8	13.9	19.0	16.5	8.9	10.1	-	8.9
	1200～1500万円未満	(63)	49.2	41.3	38.1	19.0	11.1	19.0	9.5	6.3	11.1	3.2	7.9
	1500～2000万円未満	(38)	55.3	34.2	50.0	15.8	21.1	39.5	10.5	10.5	13.2	2.6	10.5
	2000万円以上	(22)	31.8	27.3	31.8	36.4	27.3	9.1	4.5	9.1	9.1	9.1	9.1
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,139)	58.8	32.9	36.7	27.7	24.5	18.8	15.1	8.5	8.6	1.1	6.0
	過去保有者	(894)	46.5	32.9	23.2	17.1	15.8	15.7	13.3	7.8	3.0	1.6	11.5
	非保有経験者	(928)	39.8	31.1	18.4	12.7	18.1	11.6	11.0	5.7	3.6	2.5	14.2
金融資産別	100万円未満	(189)	32.8	34.9	11.1	12.7	30.7	12.2	14.8	3.2	2.1	0.5	10.1
	100万円～500万円未満	(278)	41.7	31.7	16.2	14.0	26.6	12.6	15.5	6.8	2.2	2.9	10.8
	500万円～1000万円未満	(287)	50.5	32.4	24.0	21.3	22.3	16.4	13.9	8.0	5.2	1.7	8.4
	1000万円～2000万円未満	(419)	52.7	31.0	25.1	24.3	23.4	13.1	13.1	6.7	5.5	0.7	7.9
	2000万円～5000万円未満	(599)	56.1	36.1	35.4	24.5	18.7	18.4	14.9	9.2	6.5	1.8	5.8
	5000万円～1億円未満	(248)	57.3	36.3	41.1	27.0	19.0	20.2	16.9	9.3	9.7	2.0	5.2
	1億円以上	(94)	53.2	41.5	51.1	26.6	21.3	31.9	11.7	14.9	14.9	2.1	4.3

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (5)投資未経験理由（投資未経験者）〔Q8:複数回答〕

- 投資未経験理由として、「そもそも投資に興味がないから」（37.3%）、「投資の知識がないから」（36.2%）、「投資するための資金がないから」（33.2%）、「損をするのが怖いから」（32.2%）が挙げられる。
- 年代別でみると、年代が低い層ほど「損をするのが怖いから」が高い。  
※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資未経験者ベース】

		n=	そもそも投資に興味がないから	投資の知識がないから	投資するための資金がないから	損をするのが怖いから	賭け事のように嫌だから	なんとなく機会がなかったから	周りに投資している人がいないから	資産を増やす必要性を感じないから	その他	特にな
2021年 全体（構成比）		(1,230)	37.3	36.2	33.2	32.2	20.7	6.4	3.9	2.9	1.0	15.9
2020年 全体（構成比）		(1,235)	37.4	34.3	34.9	33.4	21.2	5.5	4.6	3.4	0.4	14.2
2019年 全体（構成比）		(692)	37.0	38.6	33.2	28.5	20.4	3.9	2.3	3.2	1.6	14.0
性別	男性	(838)	38.1	32.3	37.9	31.0	23.0	7.0	2.5	4.4	1.2	15.8
	女性	(1,359)	37.6	40.8	31.8	32.5	20.1	5.9	4.3	2.4	0.4	14.1
年代別	60代	(1,111)	36.5	38.1	32.4	36.4	22.7	6.1	4.3	2.5	1.0	14.8
	70代	(711)	41.1	39.9	39.1	28.0	19.4	6.5	3.0	3.7	0.6	10.8
	80代以上	(375)	35.2	31.5	29.9	26.4	20.3	6.7	2.7	4.0	0.3	21.9
世帯年収別	200万円未満	(278)	37.8	34.2	42.4	30.9	20.1	4.3	2.9	3.2	1.1	13.7
	200～400万円未満	(767)	40.3	40.3	35.5	31.4	20.6	5.9	3.7	2.5	0.5	12.8
	400～600万円未満	(375)	35.2	37.9	36.8	30.7	21.9	8.5	2.7	4.3	0.8	13.3
	600～800万円未満	(156)	35.3	42.3	30.8	39.7	24.4	7.7	5.8	5.1	0.6	16.0
	800～1000万円未満	(97)	45.4	35.1	22.7	28.9	26.8	9.3	4.1	2.1	3.1	8.2
	1000～1200万円未満	(38)	44.7	39.5	18.4	36.8	21.1	7.9	2.6	5.3	2.6	7.9
	1200～1500万円未満	(21)	38.1	28.6	14.3	28.6	33.3	14.3	-	9.5	-	19.0
	1500～2000万円未満	(8)	-	25.0	25.0	37.5	-	-	-	-	-	37.5
2000万円以上	(3)	66.7	66.7	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
金融資産別	100万円未満	(361)	35.7	26.3	50.1	23.8	15.5	3.9	2.2	3.0	1.1	14.1
	100万円～500万円未満	(285)	35.1	40.0	50.5	33.0	24.6	9.8	3.2	2.1	0.7	7.4
	500万円～1000万円未満	(189)	31.7	51.3	29.6	47.6	31.2	4.2	2.1	3.7	-	6.3
	1000万円～2000万円未満	(140)	38.6	49.3	29.3	44.3	21.4	10.7	4.3	2.9	0.7	4.3
	2000万円～5000万円未満	(142)	38.7	49.3	16.2	50.7	29.6	7.0	4.2	3.5	1.4	7.0
	5000万円～1億円未満	(35)	51.4	57.1	5.7	28.6	31.4	5.7	2.9	20.0	-	5.7
	1億円以上	(6)	83.3	66.7	-	50.0	33.3	16.7	-	16.7	-	16.7

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

# 5. 全般的な投資への意識と実態

## (6)投資の経験・考え方（投資経験者）〔Q9:単一回答\_あてはまる計〕

- 投資経験者の投資の経験・考え方については、「過去に自分の投資を後悔したことがある」（61.6%）が最も高い。以下、「年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターン投資をするようになった」（46.2%）、「以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」（41.5%）が続く。※n=30未満の軸は参考値

### 【投資経験者ベース】

※あてはまる計：  
（「とてもあてはまる」+「あてはまる」）  
のスコア

		n=	過去に自分の投資を後悔したことがある	年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターン投資をするようになった	以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった	過去に想像以上のハイリターンを得たことがある	年齢を重ねるにつれて、自分の判断に自信がなくなってきた	以前より運用期間を短く考えるようになった	積立投資の効果を実感したことがある	経験を重ねて、自分の判断に自信を持っている	経験を重ねて、ハイリスク・ハイリターン投資をするようになった
2021年 全体（構成比）		(1,622)	61.6	46.2	41.5	35.1	31.9	29.2	24.7	15.5	11.6
2020年 全体（構成比）		(1,502)	61.9	43.2	42.3	31.2	33.8	30.7	23.0	13.9	12.1
2019年 全体（構成比）		(873)	63.0	45.7	46.2	32.4	30.7	32.3	21.5	15.5	12.3
性別	男性	(1,591)	63.2	41.2	36.5	36.0	25.1	26.2	24.7	17.0	12.9
	女性	(1,370)	60.4	49.2	48.5	32.2	39.1	33.1	21.8	11.8	9.1
年代別	60代	(1,208)	61.7	43.1	37.7	35.3	26.7	25.0	26.2	14.7	11.3
	70代	(1,094)	61.5	47.8	44.1	34.1	34.1	31.7	21.2	12.6	9.2
	80代以上	(659)	62.8	43.4	46.9	32.6	36.1	33.5	21.7	17.8	14.1
世帯年収別	200万円未満	(249)	67.1	39.0	47.0	30.1	39.4	32.9	19.3	10.8	12.9
	200~400万円未満	(988)	63.0	45.2	44.8	31.2	33.4	29.4	19.8	13.0	10.3
	400~600万円未満	(660)	63.8	48.9	42.9	36.5	31.7	29.7	25.3	15.5	10.2
	600~800万円未満	(324)	63.9	44.4	40.1	38.6	30.2	29.6	27.2	17.0	11.4
	800~1000万円未満	(202)	55.9	48.0	33.2	38.6	28.2	26.2	31.7	16.3	12.9
	1000~1200万円未満	(79)	51.9	38.0	29.1	50.6	20.3	39.2	32.9	34.2	20.3
	1200~1500万円未満	(63)	60.3	42.9	28.6	46.0	19.0	23.8	23.8	15.9	7.9
	1500~2000万円未満	(38)	60.5	39.5	36.8	50.0	31.6	34.2	36.8	34.2	31.6
	2000万円以上	(22)	45.5	36.4	40.9	59.1	13.6	27.3	22.7	22.7	9.1
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,139)	65.8	49.5	41.3	43.1	27.4	29.1	35.1	15.0	13.6
	過去保有者	(894)	64.7	47.4	47.7	30.5	36.0	34.9	19.9	15.5	9.7
	非保有経験者	(928)	54.4	36.9	37.7	26.9	32.3	24.5	12.3	13.3	9.5
金融資産別	100万円未満	(189)	56.1	34.9	41.3	25.9	43.4	33.9	18.0	14.8	16.9
	100万円~500万円未満	(278)	57.2	36.7	41.0	23.4	34.5	28.4	22.3	12.6	9.7
	500万円~1000万円未満	(287)	59.9	46.3	41.5	32.4	33.8	28.9	20.9	16.0	10.1
	1000万円~2000万円未満	(419)	61.8	51.1	44.2	29.6	30.8	31.3	26.3	14.6	9.3
	2000万円~5000万円未満	(599)	65.6	48.7	43.1	42.7	30.1	28.7	27.2	15.4	12.0
	5000万円~1億円未満	(248)	66.5	54.8	39.1	48.8	27.8	29.8	30.2	16.1	15.7
	1億円以上	(94)	75.5	45.7	35.1	58.5	22.3	36.2	34.0	30.9	22.3

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (7)利用を検討してもよい金融商品〔Q11:複数回答〕

- 利用を検討してもよい金融商品は「預貯金」(46.6%)が最も高く、「株式」(32.3%)が続く。「投資信託」は第3位で19.8%となっているが、2位の「株式」とは12.5ポイント差。

- 「投資信託」の利用検討意向は、女性よりも男性で高く、また世帯年収が上がるほど高まる。

※n=30未満の軸は参考値

		n=	預貯金	株式	投資信託	保険商品	債券	外貨 建て商品	不動産 投資信託	その他の 金融商品	金融商品は 利用を検討 しない
2021年 全体 (構成比)		(2,852)	46.6	32.3	19.8	8.4	8.2	8.2	5.4	1.2	35.6
2020年 全体 (構成比)		(2,737)	46.5	31.8	18.2	8.5	8.2	8.6	6.0	0.8	37.1
2019年 全体 (構成比)		(1,565)	46.5	30.4	17.3	11.2	8.2	7.9	4.8	0.5	35.2
性別	男性	(2,429)	45.9	42.1	24.4	7.9	9.3	9.8	7.7	1.8	31.5
	女性	(2,729)	49.3	24.6	16.5	8.1	7.5	6.6	3.6	0.6	37.8
年代別	60代	(2,319)	48.7	32.5	22.7	10.2	8.7	9.5	5.6	1.3	33.3
	70代	(1,805)	49.5	33.3	18.6	6.5	8.1	6.7	4.7	0.9	34.0
	80代以上	(1,034)	42.4	32.7	17.5	5.9	8.0	7.4	6.8	1.2	39.7
世帯年収 別	200万円未満	(527)	41.9	19.9	12.3	5.9	5.1	5.3	3.2	1.7	46.7
	200~400万円未満	(1,755)	47.1	30.4	18.5	5.6	7.1	5.9	4.2	0.7	36.2
	400~600万円未満	(1,035)	50.7	38.0	22.8	9.6	9.5	10.0	7.1	1.6	29.0
	600~800万円未満	(480)	52.3	45.0	26.3	10.6	7.5	10.4	7.5	1.7	25.6
	800~1000万円未満	(299)	53.5	43.5	29.8	13.7	15.7	12.7	9.4	2.0	23.4
	1000~1200万円未満	(117)	55.6	43.6	28.2	17.9	12.8	13.7	10.3	1.7	21.4
	1200~1500万円未満	(84)	57.1	47.6	34.5	13.1	19.0	15.5	17.9	-	21.4
	1500~2000万円未満	(46)	47.8	50.0	37.0	17.4	21.7	28.3	17.4	-	28.3
	2000万円以上	(25)	80.0	68.0	32.0	16.0	20.0	4.0	4.0	-	4.0
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(1,139)	58.5	60.7	64.8	13.6	20.5	18.0	17.6	1.3	9.9
	過去保有者	(894)	54.0	42.4	15.3	8.7	10.7	10.4	5.8	2.0	24.7
	非保有経験者	(928)	52.7	54.0	8.3	9.3	7.8	9.4	2.6	2.3	21.6
金融資産 別	100万円未満	(550)	29.5	15.3	8.2	4.2	3.5	4.5	2.2	1.8	56.7
	100万円~500万円未満	(563)	50.4	27.7	16.0	6.2	4.6	6.6	2.7	1.4	30.4
	500万円~1000万円未満	(476)	51.5	34.9	20.8	7.8	5.5	8.8	6.7	1.5	29.2
	1000万円~2000万円未満	(559)	60.5	43.3	30.4	9.1	9.1	8.4	7.2	0.9	18.2
	2000万円~5000万円未満	(741)	58.6	48.7	33.6	14.2	15.0	13.0	8.9	1.2	15.5
	5000万円~1億円未満	(283)	67.5	63.3	36.7	17.3	27.2	20.5	15.5	3.2	12.0
	1億円以上	(100)	64.0	70.0	47.0	15.0	33.0	22.0	23.0	2.0	9.0

※「2021年 全体 (構成比)」スコアで降順ソート

## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (8-1)金融商品・投資商品認知状況〔Q10:単一回答\_認知計〕

- 投資経験者における金融商品・投資商品の認知状況をみると、「株式」（98.6%）の認知率が最も高く、「投資信託」（95.5%）、「債券」（90.6%）が続く。
- 金融資産別でみると、100万円以上の層では「投資信託」の認知が9割超となっているが、100万円未満の層では86.2%にとどまり、他層に比べて低め。

※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資経験者ベース】

※認知計：（「自分で購入し保有している」～「（名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない」）のスコア

			株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投資信託	(%)
n=								
2021年 全体（構成比）		(1,622)	98.6	95.5	90.6	84.5	72.1	
2020年 全体（構成比）		(1,707)	97.1	94.0	89.2	82.6	70.0	
2019年 全体（構成比）		(1,010)	97.6	95.2	90.7	83.6	71.6	
性別	男性	(1,591)	99.2	95.3	91.9	85.8	77.2	
	女性	(1,370)	98.0	96.4	89.6	83.2	67.2	
年代別	60代	(1,208)	98.7	95.4	91.0	85.3	73.4	
	70代	(1,094)	98.7	96.0	90.8	85.5	70.9	
	80代以上	(659)	98.5	96.2	90.7	81.9	73.7	
世帯年収別	200万円未満	(249)	97.2	93.6	85.5	84.3	67.1	
	200～400万円未満	(988)	98.7	94.7	90.2	80.8	69.3	
	400～600万円未満	(660)	99.2	96.5	93.3	87.4	77.3	
	600～800万円未満	(324)	98.5	96.6	89.8	87.0	75.3	
	800～1000万円未満	(202)	100.0	97.0	95.0	87.6	76.2	
	1000～1200万円未満	(79)	97.5	97.5	88.6	88.6	84.8	
	1200～1500万円未満	(63)	96.8	98.4	90.5	90.5	76.2	
	1500～2000万円未満	(38)	100.0	100.0	100.0	92.1	84.2	
2000万円以上	(22)	100.0	100.0	100.0	95.5	81.8		
金融資産別	100万円未満	(189)	97.9	86.2	82.5	72.5	56.6	
	100万円～500万円未満	(278)	97.1	93.9	87.4	80.6	70.1	
	500万円～1000万円未満	(287)	98.6	95.1	90.2	86.1	68.3	
	1000万円～2000万円未満	(419)	98.3	96.2	91.9	83.8	72.3	
	2000万円～5000万円未満	(599)	99.8	97.8	94.8	90.2	80.6	
	5000万円～1億円未満	(248)	99.2	99.6	96.8	91.5	85.1	
	1億円以上	(94)	100.0	100.0	96.8	93.6	87.2	
投資経験別	投資経験者	(2,961)	98.6	95.8	90.8	84.6	72.6	
	現投資者	(2,037)	99.0	97.2	92.8	89.1	79.8	
	過去投資者	(924)	97.9	92.6	86.5	74.7	56.6	

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (8-2)金融商品・投資商品保有経験状況〔Q10:単一回答\_保有経験計〕

- 金融商品・投資商品の保有経験状況をみると、「株式」（83.8%）の保有経験率が最も高く、「投資信託」（68.4%）、「債券」（41.4%）が続く
- 「投資信託」の保有経験率は、男性よりも女性で高い。
- 投資経験別でみると、現投資者でも「株式」（88.7%）の保有経験率が最も高く、「投資信託」（75.6%）が続く。

※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資経験者ベース】

※保有経験計：（「自分で購入し保有している」～「以前保有していたことはあるが、今は保有していない」）のスコア

							(%)	
		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投資信託	
2021年 全体（構成比）		(1,622)	83.8	68.4	41.4	35.6	19.4	
2020年 全体（構成比）		(1,707)	81.3	63.9	43.9	36.7	20.2	
2019年 全体（構成比）		(1,010)	83.1	67.4	43.7	34.0	17.8	
性別	男性	(1,591)	88.7	64.6	40.3	33.4	19.4	
	女性	(1,370)	78.2	73.4	45.3	40.4	20.1	
年代別	60代	(1,208)	79.7	65.6	38.1	37.6	19.0	
	70代	(1,094)	85.6	70.2	44.8	35.1	19.0	
	80代以上	(659)	88.6	71.8	47.3	37.5	22.5	
世帯年収別	200万円未満	(249)	76.7	69.5	40.2	32.5	17.7	
	200～400万円未満	(988)	83.6	67.9	41.5	34.5	18.4	
	400～600万円未満	(660)	84.5	67.7	45.6	36.7	20.9	
	600～800万円未満	(324)	85.2	67.0	37.0	39.5	20.4	
	800～1000万円未満	(202)	86.1	67.3	54.0	34.7	19.8	
	1000～1200万円未満	(79)	87.3	72.2	41.8	45.6	29.1	
	1200～1500万円未満	(63)	87.3	82.5	42.9	54.0	27.0	
	1500～2000万円未満	(38)	89.5	71.1	65.8	57.9	31.6	
	2000万円以上	(22)	90.9	72.7	40.9	40.9	22.7	
金融資産別	100万円未満	(189)	82.0	42.9	23.3	21.7	8.5	
	100万円～500万円未満	(278)	80.9	54.0	27.0	26.3	10.1	
	500万円～1000万円未満	(287)	82.9	66.6	35.5	31.7	16.0	
	1000万円～2000万円未満	(419)	81.6	67.8	42.7	31.5	18.4	
	2000万円～5000万円未満	(599)	86.3	76.0	53.3	46.2	26.5	
	5000万円～1億円未満	(248)	90.3	85.1	64.5	53.6	33.5	
	1億円以上	(94)	94.7	86.2	72.3	66.0	45.7	
投資経験別	投資経験者	(2,961)	83.9	68.7	42.6	36.6	19.8	
	現投資者	(2,037)	88.7	75.6	47.8	44.2	25.7	
	過去投資者	(924)	73.2	53.5	31.2	20.0	6.7	

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (8-3)金融商品・投資商品保有状況〔Q10:単一回答\_現保有計〕

- 金融商品・投資商品の保有状況をみると、「株式」(54.2%)の保有率が最も高く、「投資信託」(37.5%)、「外貨建て商品」(18.2%)、「債券」(16.3%)が続く。
- 「投資信託」の保有率は、世帯年収が上がるほど高い。※n=30未満の軸は参考値
- 投資経験別でみると、現投資者は「株式」(79.7%)の保有率が最も高く、「投資信託」(55.9%)が続く。※n=30未満の軸は参考値

#### - 【投資経験者ベース】

※現保有計：(「自分で購入し保有している」+「自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」)のスコア

(%)

		n=	株式	投資信託	外貨建て商品	債券	不動産投資信託
2021年 全体 (構成比)		(1,622)	54.2	37.5	18.2	16.3	9.6
2020年 全体 (構成比)		(1,707)	54.1	36.1	18.1	18.3	10.3
2019年 全体 (構成比)		(1,010)	56.5	37.4	15.7	18.7	8.0
性別	男性	(1,591)	59.2	36.0	16.4	14.0	9.6
	女性	(1,370)	49.8	41.3	20.3	18.2	9.2
年代別	60代	(1,208)	54.5	41.7	20.2	16.0	9.4
	70代	(1,094)	55.4	37.2	17.0	16.2	8.7
	80代以上	(659)	54.6	34.6	16.5	15.5	10.8
世帯年収別	200万円未満	(249)	43.8	32.1	13.7	10.8	9.6
	200~400万円未満	(988)	51.9	35.8	16.4	13.7	8.2
	400~600万円未満	(660)	56.2	39.8	19.1	17.6	8.9
	600~800万円未満	(324)	57.7	38.9	20.7	12.7	9.0
	800~1000万円未満	(202)	64.4	45.0	21.3	23.8	13.4
	1000~1200万円未満	(79)	63.3	46.8	25.3	21.5	12.7
	1200~1500万円未満	(63)	71.4	55.6	25.4	27.0	22.2
	1500~2000万円未満	(38)	65.8	39.5	34.2	36.8	23.7
	2000万円以上	(22)	72.7	54.5	18.2	22.7	9.1
金融資産別	100万円未満	(189)	25.9	13.8	4.8	4.8	2.6
	100万円~500万円未満	(278)	43.5	25.2	8.3	5.4	3.6
	500万円~1000万円未満	(287)	52.3	31.0	14.6	8.7	8.0
	1000万円~2000万円未満	(419)	53.0	42.2	12.6	11.7	7.6
	2000万円~5000万円未満	(599)	64.6	46.9	25.7	23.9	13.5
	5000万円~1億円未満	(248)	76.6	60.5	37.5	35.9	16.1
	1億円以上	(94)	83.0	62.8	47.9	46.8	31.9
投資経験別	投資経験者	(2,961)	54.8	38.5	18.2	15.9	9.4
	現投資者	(2,037)	79.7	55.9	26.5	23.2	13.7
	過去投資者	(0)	-	-	-	-	-

※「2021年 全体 (構成比)」スコアで降順ソート

## **6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識**

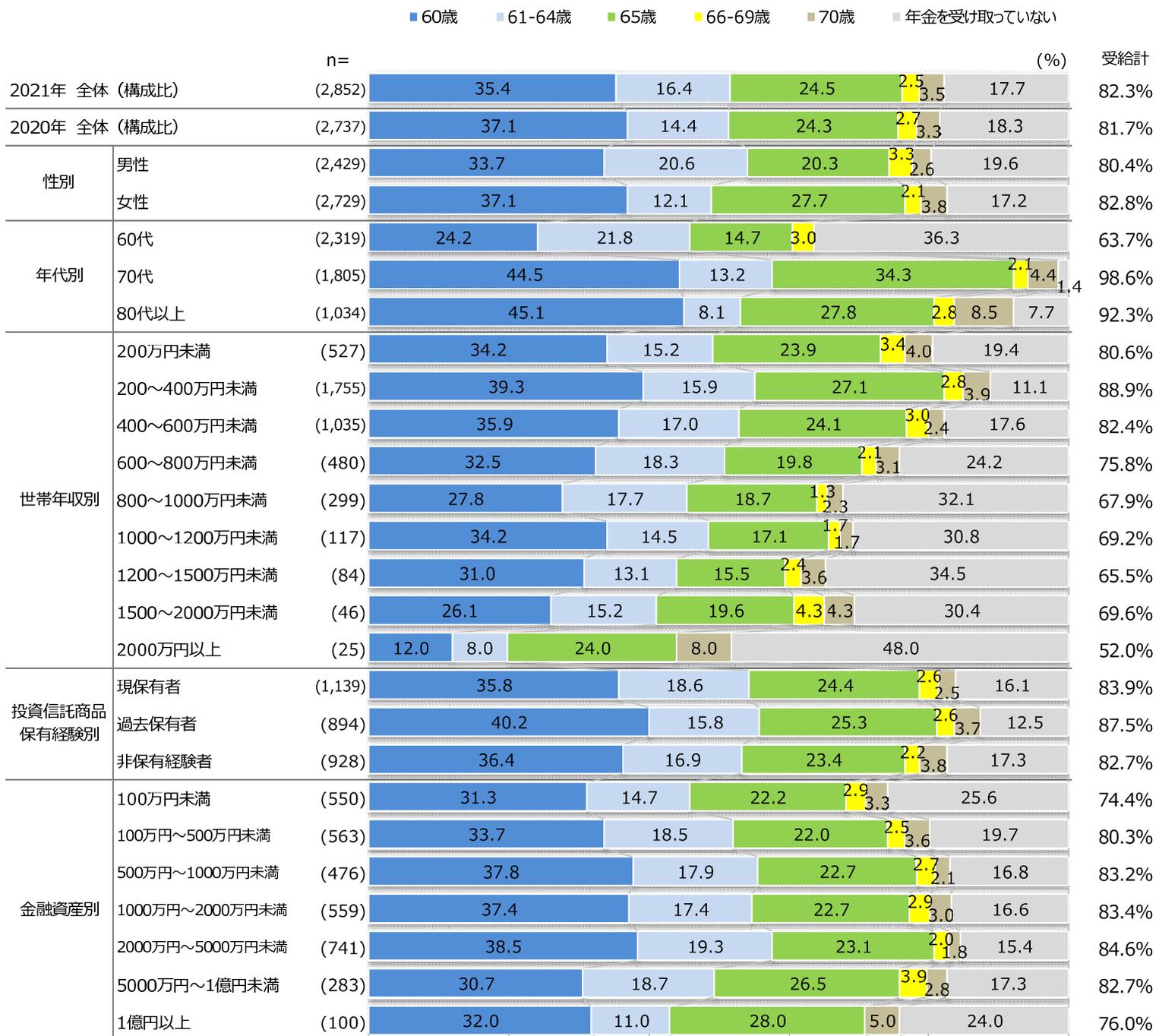
---

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (1-1)年金受給状況〔Q14:単一回答〕

- 年金を受け取っている割合は、82.3%。
- 受給開始年齢は、「60歳」（35.4%）が最も高く、「65歳」（24.5%）が続く。
- 世帯年収別が上がるほど、「年金を受け取っていない」割合も高まる。

※n=30未満の軸は参考値

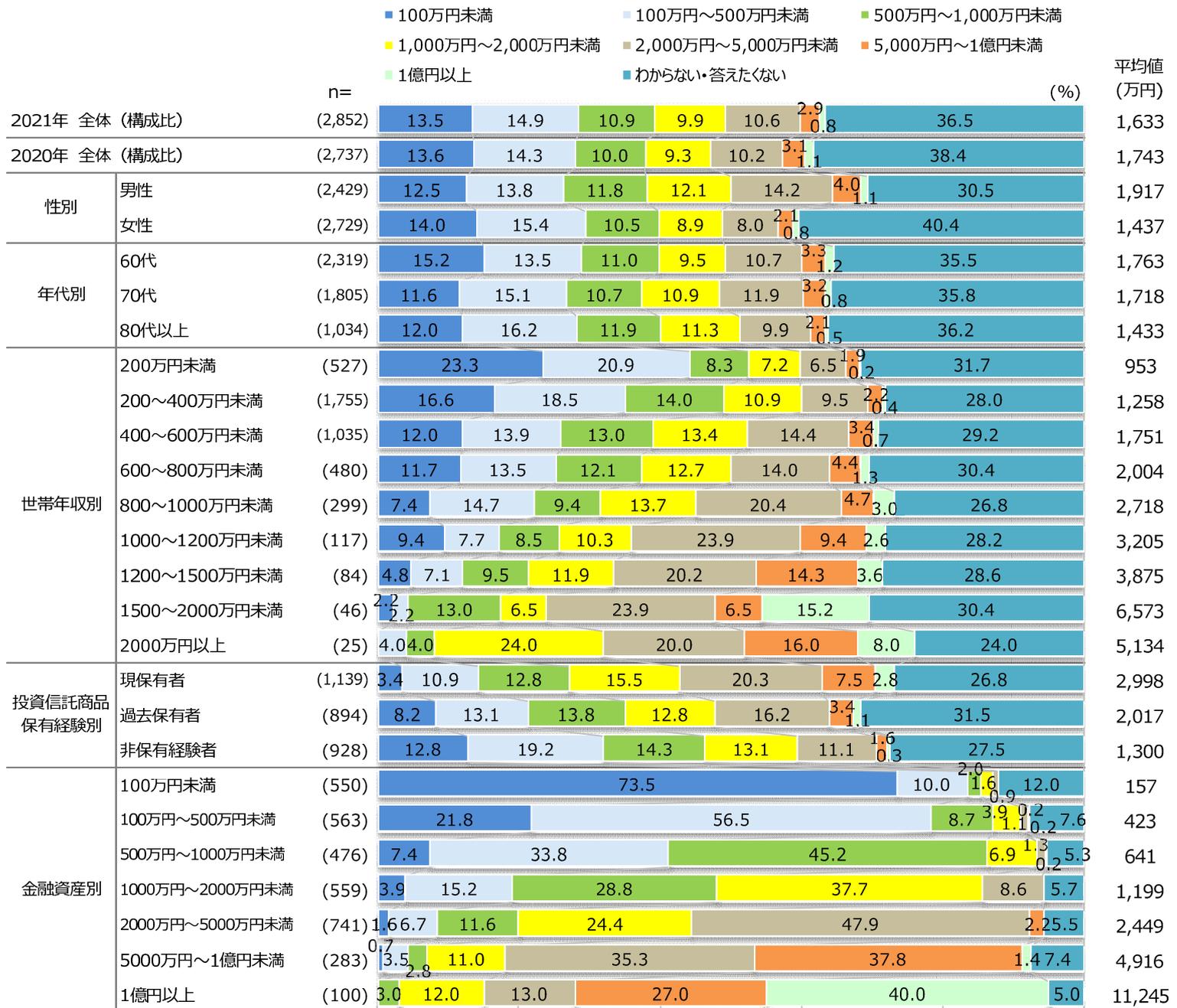


※受給計：（「60歳」～「70歳」）のスコア

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (1-2)年金受給前の貯蓄額（年金非受給者は現在の貯蓄額）〔Q15:単一回答〕

- 年金受給前の貯蓄額（年金非受給者は現在の貯蓄額）は、「100万円～500万円未満」（14.9%）が最も高いが、100万円～5,000万円未満までの割合に大きな差は見られない。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者・過去保有者では「2,000万円～5,000万円未満」の割合が最も高い。一方、非保有経験者では「100万円～500万円未満」（19.2%）が最も高く、保有経験により貯蓄額に差が見られる。



※ 平均値はわからない・答えたくないを除いて算出。算出にあたってのウェイト値は以下の通り

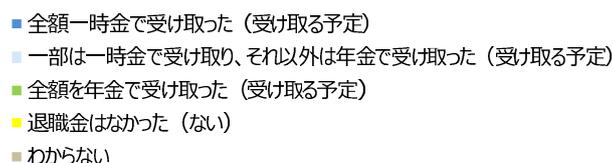
100万円未満：50万円 / 100万円～500万円未満：300万円 / 500万円～1,000万円未満：750万円 / 1,000万円～2,000万円未満：1,500万円  
2,000万円～5,000万円未満：3,500万円 / 5,000万円～1億円未満：7,500万円 / 1億円以上：2億円

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (2-1)退職金受取状況〔Q19:単一回答〕

- 退職金受け取りの割合は、58.6%。

その内訳は、「全額一時金で受け取った（受け取る予定）」（44.2%）、「一部は一時金で受け取り、それ以外は年金で受け取った（受け取る予定）」（10.6%）、「全額を年金で受け取った（受け取る予定）」（3.8%）、「退職金はなかった（ない）」（34.0%）、「わからない」（7.4%）。



		n=	(%)					受取計
2021年 全体（構成比）		(2,852)	44.2	10.6	3.8	34.0	7.4	58.6%
2020年 全体（構成比）		(2,737)	42.1	11.7	3.3	33.8	9.2	57.1%
性別	男性	(2,429)	53.8	18.2	3.9	20.2	3.9	75.9%
	女性	(2,729)	36.4	4.8	3.0	46.5	9.3	44.2%
年代別	60代	(2,319)	42.5	8.6	3.3	38.3	7.3	54.4%
	70代	(1,805)	46.7	12.7	3.3	32.6	4.7	62.7%
	80代以上	(1,034)	45.5	13.9	4.1	27.5	9.1	63.4%
世帯年収別	200万円未満	(527)	34.7	3.2	2.8	51.2	8.0	40.8%
	200～400万円未満	(1,755)	47.4	11.2	3.7	32.3	5.5	62.3%
	400～600万円未満	(1,035)	48.0	15.1	2.9	29.8	4.3	66.0%
	600～800万円未満	(480)	48.1	12.7	4.4	29.6	5.2	65.2%
	800～1000万円未満	(299)	48.5	12.7	3.0	28.8	7.0	64.2%
	1000～1200万円未満	(117)	43.6	13.7	6.8	31.6	4.3	64.1%
	1200～1500万円未満	(84)	48.8	11.9	2.4	27.4	9.5	63.1%
	1500～2000万円未満	(46)	47.8	13.0	2.2	28.3	8.7	63.0%
	2000万円以上	(25)	56.0	8.0	4.0	24.0	8.0	68.0%
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,139)	51.5	18.0	4.7	23.1	2.7	74.2%
	過去保有者	(894)	49.9	15.1	3.8	27.3	3.9	68.8%
	非保有経験者	(928)	49.2	12.7	4.6	28.8	4.6	66.6%
金融資産別	100万円未満	(550)	31.3	5.6	3.1	53.3	6.7	40.0%
	100万円～500万円未満	(563)	43.0	8.2	3.4	41.7	3.7	54.5%
	500万円～1000万円未満	(476)	48.9	13.2	4.2	30.9	2.7	66.4%
	1000万円～2000万円未満	(559)	57.4	13.1	3.6	23.8	2.1	74.1%
	2000万円～5000万円未満	(741)	54.1	16.7	4.3	23.5	1.3	75.2%
	5000万円～1億円未満	(283)	57.2	15.9	3.2	22.3	1.4	76.3%
	1億円以上	(100)	53.0	19.0	6.0	18.0	4.0	78.0%

※受取計：（「全額一時金で受け取った（受け取る予定）」～「全額を年金で受け取った（受け取る予定）」）のスコア

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (2-2)退職金の使い道〔Q20:複数回答〕

- 退職金を受取者の使い道は、「預貯金」（62.5%）が最も高く、「日常生活費への充当」（26.3%）、「旅行等の趣味」（22.3%）、「住宅ローンの返済」（22.1%）が続く。
- 「資産運用のための金融商品の購入」への使用は、女性よりも男性で、また世帯年収が上がるほど高い。※n=30未満の軸は参考値

【退職金受取（予定）者ベース】

		n=	預貯金	日常生活費への充当	旅行等の趣味	住宅ローンの返済	資産運用のための金融商品の購入	住宅のリフォーム	家電など、耐久消費財の購入	子どもや孫の教育費や結婚費用等	開業・起業資金	その他	特にない
2021年 全体（構成比）		(1,671)	62.5	26.3	22.3	22.1	21.0	19.4	11.0	9.3	2.4	3.9	8.6
2020年 全体（構成比）		(1,562)	58.8	30.0	26.2	23.1	21.2	18.5	11.9	10.4	2.5	2.8	6.5
性別	男性	(1,844)	61.2	28.7	24.9	27.7	26.0	23.3	12.6	9.9	3.1	4.0	6.7
	女性	(1,206)	63.7	21.8	21.8	15.2	14.9	14.9	9.8	10.2	1.0	3.4	9.6
年代別	60代	(1,262)	61.9	28.2	19.7	19.7	20.5	16.6	10.2	9.0	2.2	3.2	8.7
	70代	(1,132)	62.0	23.2	26.1	23.9	20.8	21.6	12.0	10.2	2.7	3.5	7.6
	80代以上	(656)	63.0	26.5	27.0	26.8	25.2	23.6	13.0	11.9	1.5	5.3	6.7
世帯年収別	200万円未満	(215)	62.3	31.6	15.8	14.4	12.1	14.9	9.8	4.2	2.8	5.1	8.8
	200～400万円未満	(1,093)	59.4	27.6	23.1	23.8	19.7	22.0	11.3	9.8	1.8	3.5	7.6
	400～600万円未満	(683)	64.0	26.5	25.2	25.9	26.1	21.4	12.4	10.4	1.8	4.8	6.6
	600～800万円未満	(313)	69.6	24.0	22.7	24.6	24.3	22.0	12.1	10.9	2.6	3.2	6.7
	800～1000万円未満	(192)	66.1	21.4	25.0	20.3	27.6	19.3	10.9	15.6	3.6	4.7	5.2
	1000～1200万円未満	(75)	61.3	17.3	42.7	17.3	41.3	18.7	8.0	13.3	5.3	2.7	4.0
	1200～1500万円未満	(53)	58.5	20.8	34.0	15.1	35.8	17.0	15.1	17.0	3.8	5.7	9.4
	1500～2000万円未満	(29)	72.4	13.8	31.0	17.2	34.5	6.9	6.9	13.8	3.4	-	6.9
	2000万円以上	(17)	58.8	17.6	17.6	11.8	29.4	11.8	-	17.6	-	11.8	17.6
投資信託商品保有経験別	現保有者	(845)	70.7	23.1	24.7	20.4	45.3	20.6	10.5	8.4	1.9	4.6	4.7
	過去保有者	(615)	67.6	22.6	28.6	23.6	25.7	21.8	10.6	11.9	2.3	3.4	5.2
	非保有経験者	(618)	60.8	28.3	25.7	27.7	17.2	22.0	11.8	12.0	3.1	3.9	7.1
金融資産別	100万円未満	(220)	32.7	42.3	17.3	28.6	6.4	14.5	15.0	9.5	5.9	4.5	10.5
	100万円～500万円未満	(307)	51.8	33.2	21.8	34.5	12.4	19.5	11.7	12.7	3.6	6.2	5.5
	500万円～1000万円未満	(316)	60.8	29.1	25.0	30.7	18.7	24.4	14.6	15.5	3.5	3.5	4.4
	1000万円～2000万円未満	(414)	72.2	24.6	25.1	27.3	23.9	27.5	14.0	9.7	1.2	3.9	3.1
	2000万円～5000万円未満	(557)	74.5	23.9	26.2	19.6	35.2	21.2	11.5	9.7	1.4	3.9	4.5
	5000万円～1億円未満	(216)	74.1	20.4	28.7	10.2	41.2	15.3	6.5	7.9	1.4	4.6	6.9
	1億円以上	(78)	65.4	10.3	24.4	2.6	48.7	10.3	5.1	14.1	6.4	6.4	2.6

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (2-3)退職金で購入した金融商品（購入予定も含む）〔Q21:複数回答〕

- 退職金で購入した（する予定の）金融商品は、「株式」（59.5%）が最も高く、「投資信託」（52.1%）が続く。
- 「株式」、「投資信託」の購入は、女性よりも男性で高い一方で、「国内債券」、「保険商品」は女性の方が高い。また、年代が低い層ほど購入率が高い。

#### 【金融商品購入（予定）者ベース】

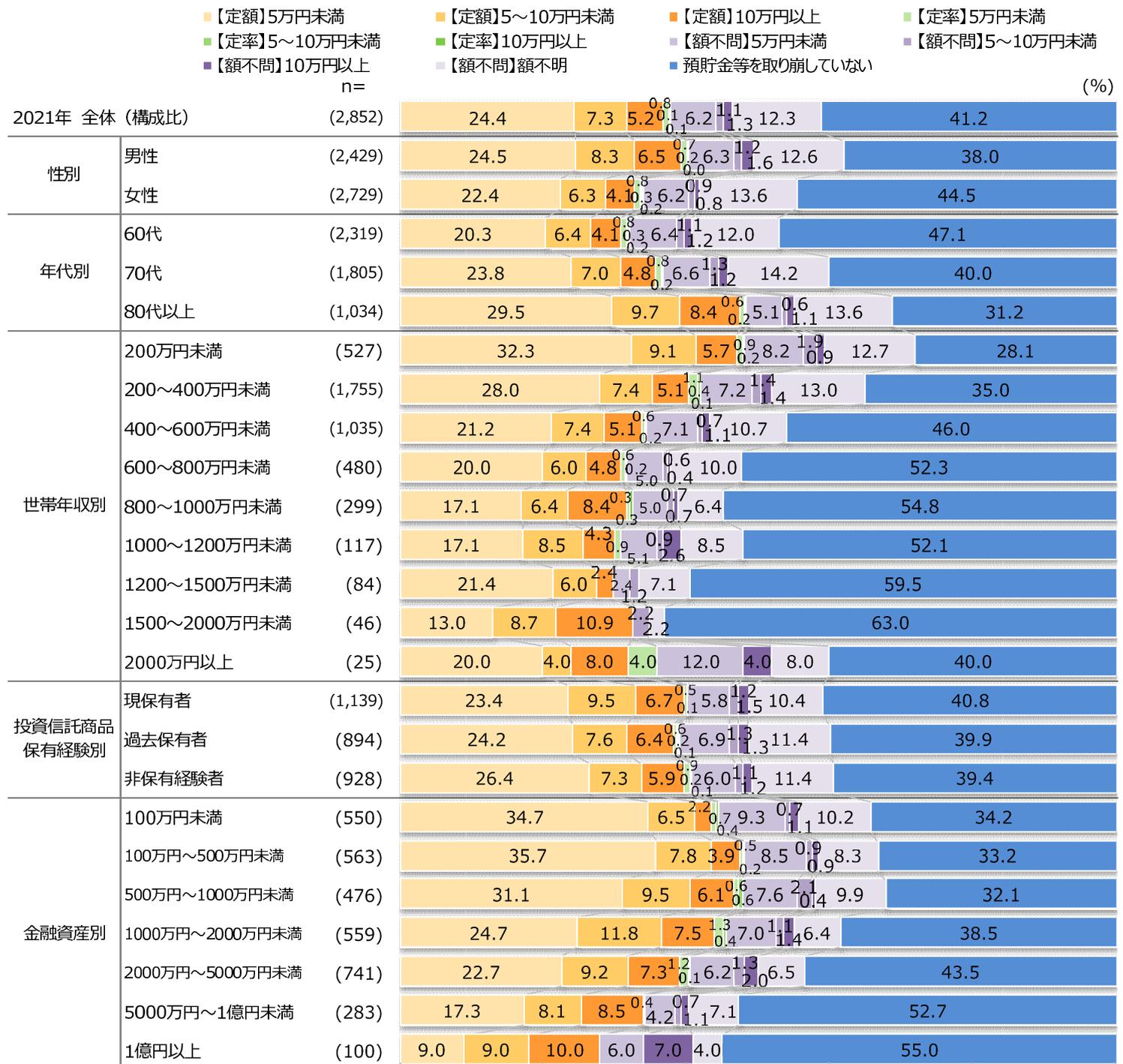
		n=	株式	投資信託	国内債券	保険商品	外貨建て商品	その他	わからない
2021年 全体（構成比）		(351)	59.5	52.1	21.4	19.1	12.8	3.1	2.8
2020年 全体（構成比）		(331)	58.0	55.0	25.1	18.4	19.0	2.4	1.8
性別	男性	(479)	61.6	57.8	19.6	14.6	13.2	2.1	1.9
	女性	(180)	48.9	52.8	28.3	23.9	16.7	3.3	5.0
年代別	60代	(259)	49.4	60.6	18.9	22.0	14.7	4.2	2.3
	70代	(235)	60.4	54.0	25.1	17.0	13.2	0.9	3.4
	80代以上	(165)	68.5	53.3	22.4	9.7	14.5	1.8	2.4
世帯年収別	200万円未満	(26)	65.4	53.8	38.5	15.4	23.1	-	3.8
	200~400万円未満	(215)	53.0	54.9	18.1	18.1	14.4	2.8	5.6
	400~600万円未満	(178)	59.0	57.9	24.2	16.9	15.7	3.4	1.1
	600~800万円未満	(76)	69.7	56.6	18.4	13.2	3.9	1.3	-
	800~1000万円未満	(53)	58.5	54.7	22.6	17.0	15.1	3.8	-
	1000~1200万円未満	(31)	64.5	45.2	6.5	19.4	9.7	3.2	3.2
	1200~1500万円未満	(19)	42.1	78.9	63.2	26.3	26.3	-	-
	1500~2000万円未満	(10)	90.0	60.0	50.0	10.0	40.0	-	-
2000万円以上	(5)	60.0	60.0	20.0	20.0	-	-	20.0	
投資信託商品保有経験別	現保有者	(383)	53.3	79.4	22.7	17.2	16.2	2.3	1.8
	過去保有者	(158)	64.6	38.0	23.4	13.9	13.9	0.6	3.2
	非保有経験者	(106)	71.7	5.7	18.9	20.8	7.5	4.7	1.9
金融資産別	100万円未満	(14)	64.3	35.7	21.4	14.3	21.4	-	14.3
	100万円~500万円未満	(38)	57.9	42.1	18.4	5.3	10.5	-	5.3
	500万円~1000万円未満	(59)	50.8	61.0	6.8	20.3	11.9	3.4	3.4
	1000万円~2000万円未満	(99)	46.5	53.5	19.2	14.1	13.1	4.0	4.0
	2000万円~5000万円未満	(196)	60.7	57.1	23.0	20.4	15.8	1.5	1.5
	5000万円~1億円未満	(89)	60.7	65.2	36.0	22.5	15.7	5.6	-
	1億円以上	(38)	65.8	65.8	31.6	13.2	15.8	2.6	2.6

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (3-1) 毎月の預貯金の取り崩し額〔Q22S1:単一回答〕

- 毎月の預貯金の取り崩しについて、「預貯金等を取り崩していない」（41.2%）が最も高い割合を占める。取り崩している場合、【定額】の取り崩しが最も多く、【額不問】が続く。
- 取り崩しの内、「【定額】5万円未満」（24.4%）が最も高い割合を占め、「【額不問】額不明」（12.3%）が続く。
- 世帯年収別で見ると、年収が低い層ほど取り崩している割合が高い。※n=30未満は参考値

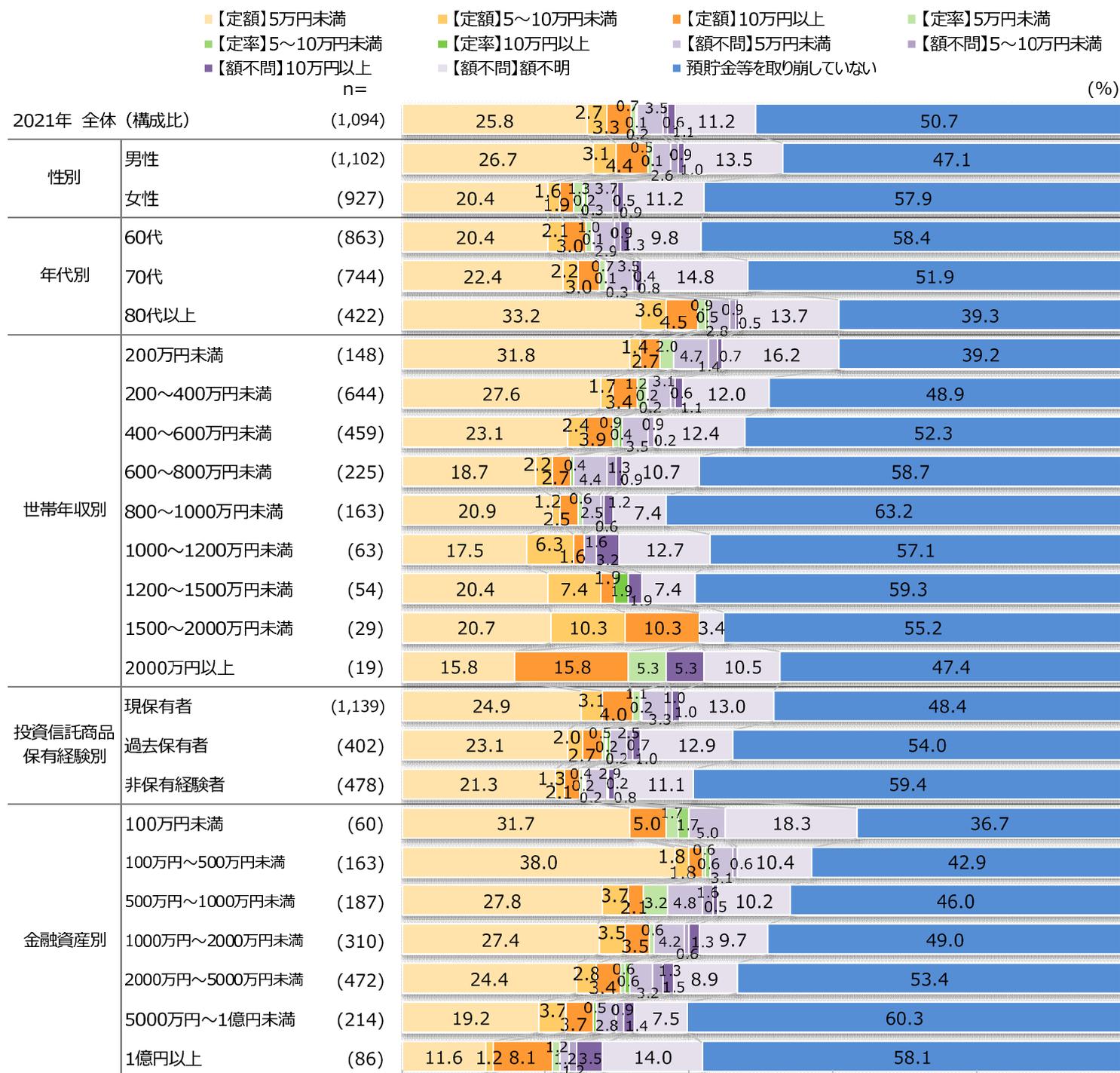


# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (3-2) 毎月の投資運用資金の取り崩し額(Q22S2:単一回答)

- 毎月の投資運用資金の取り崩しについて、「預貯金等を取り崩していない」（50.7%）が最も高い。取り崩している場合、【定額】での取り崩しが最も多く、【額不問】が続く。
- 取り崩しの内、「【定額】5万円未満」（25.8%）が最も高い割合を占め、「【額不問】額不明」（11.2%）が続く。
- 世帯年収別でみると、年収が低い層ほど取り崩している割合が高い。※n=30未満は参考値

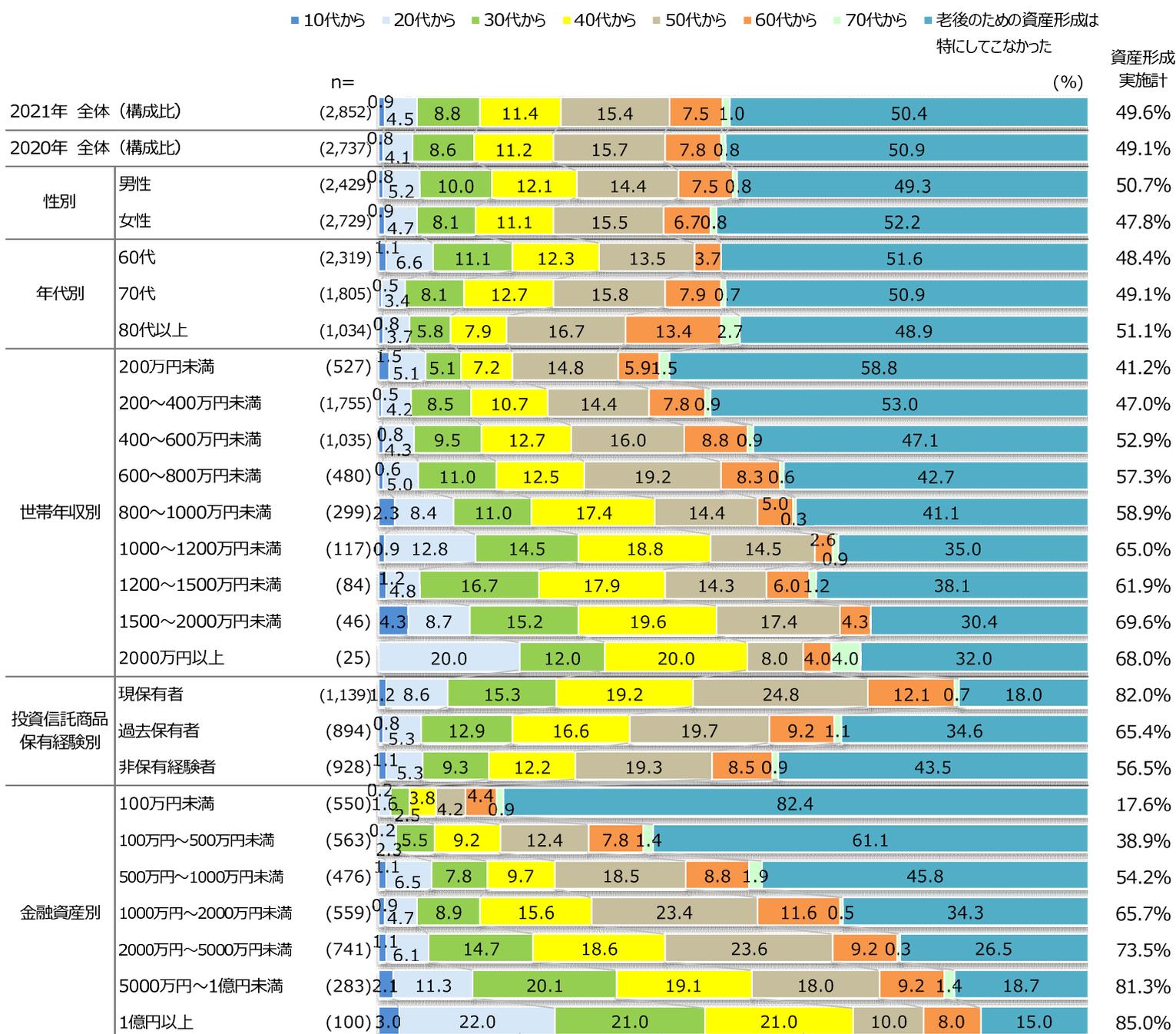
【投資運用者ベース】



# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (4-1) 老後のための資産形成を始めた年齢〔Q17:単一回答〕

- 老後のための資産形成をしてきた割合は約半数にとどまる。  
「老後のための資産形成は特にしてこなかった」は50.4%。
- 資産形成をしてきた人では、「50代から」（15.4%）が最も高い。  
以下、「40代から」（11.4%）、「30代から」（8.8%）が続く。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者の資産形成実施率は82.0%となっており、過去保有者や非保有者に比べて高い。

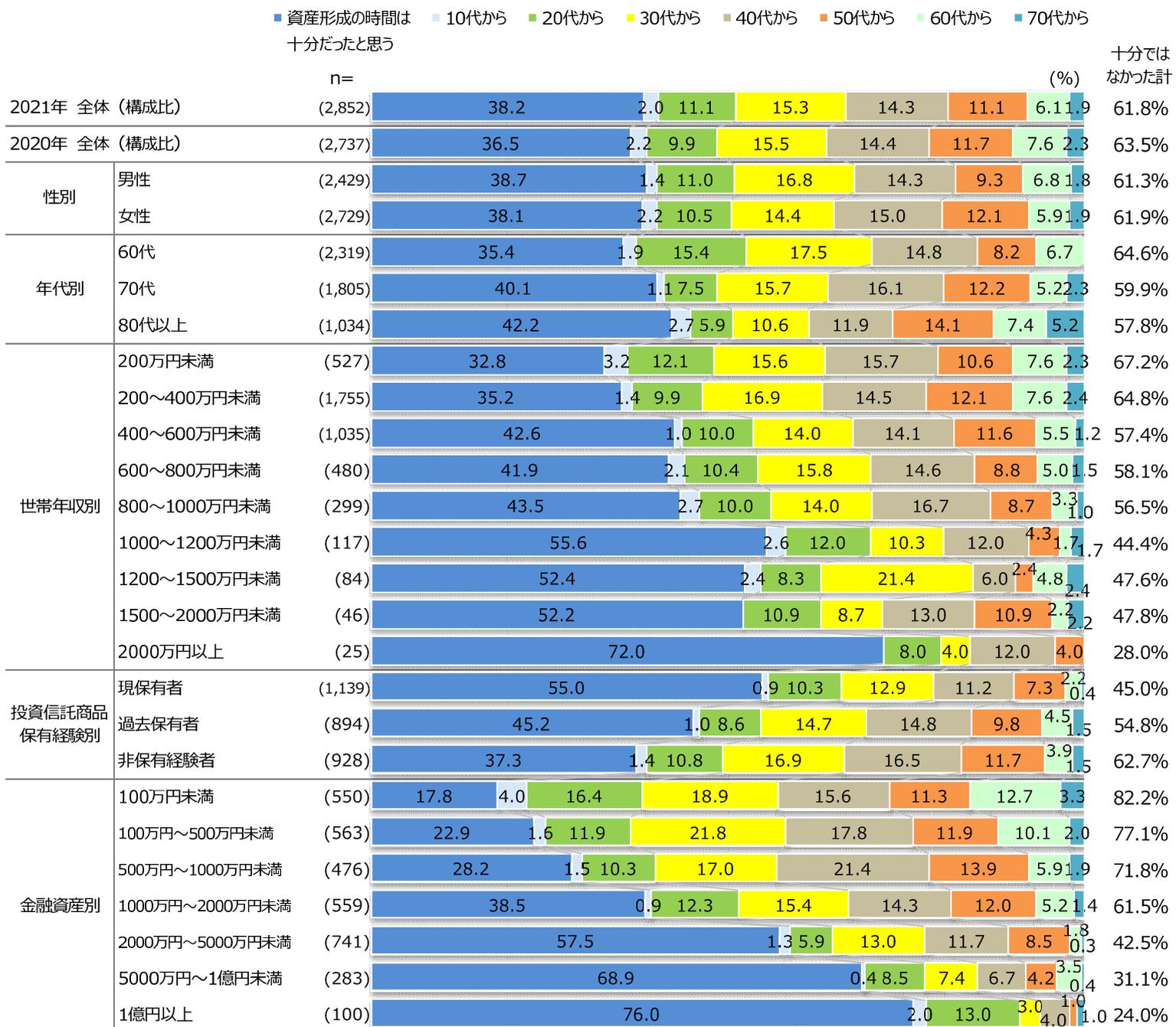


※資産形成実施率: (「10代から」~「70代から」) のスコア

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (4-2) 老後のための資産形成の十分さ〔Q18:単一回答〕

- 老後のための「資産形成の時間は十分だったと思う」人は38.2%にとどまり、資産形成が十分ではなかったと感じている人が61.8%を占める。資産形成を始めれば良かったと思う時期は、「30代から」（15.3%）が最も高く、「40代から」（14.3%）が続く。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者の「資産形成の時間は十分だったと思う」は55.0%と半数以上を占める。非保有経験者を17.7ポイント上回り、保有経験による差が大きい。



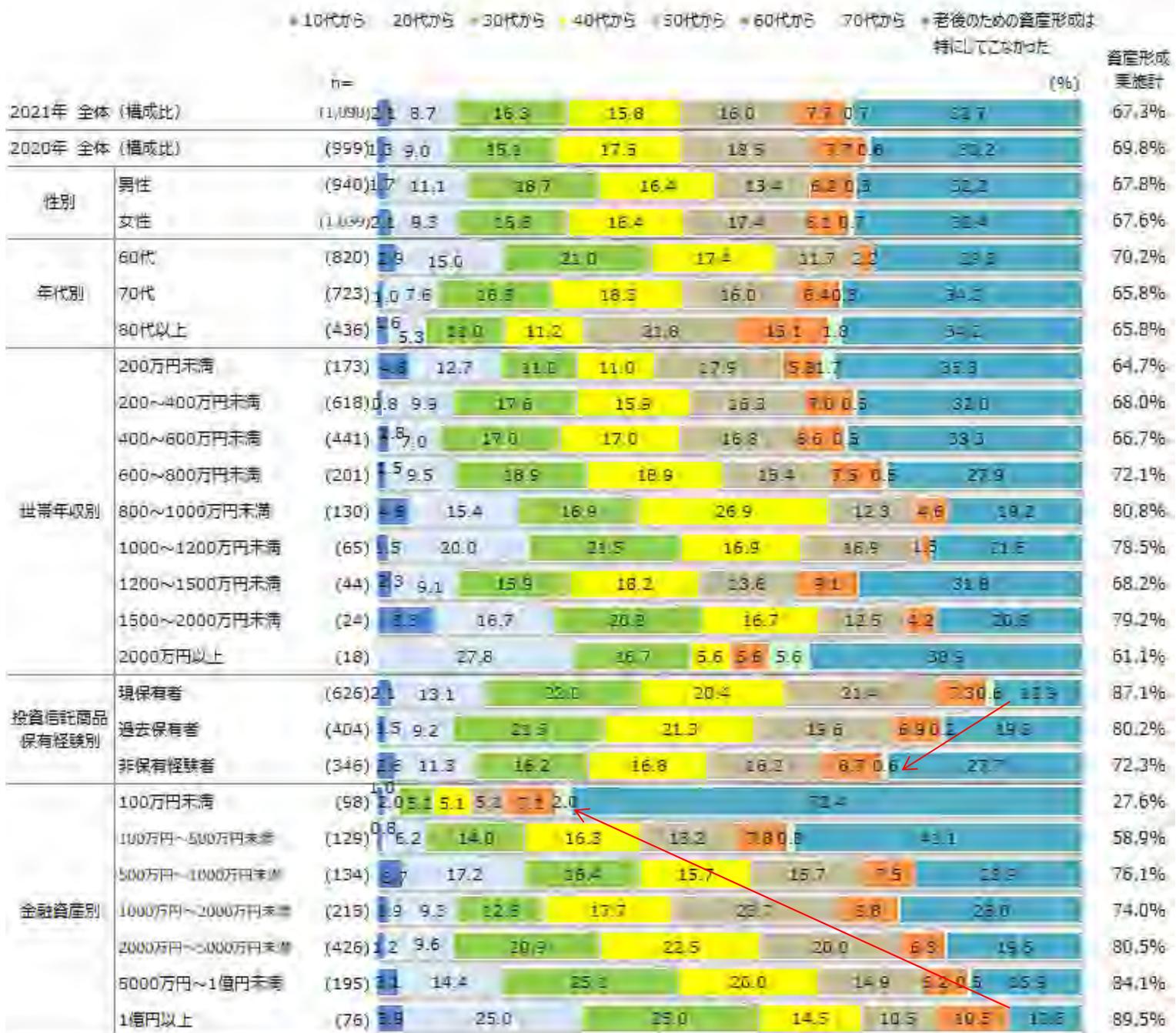
※十分ではなかった計: (「10代から」~「70代から」) のスコア

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

(4-3) 老後のための資産形成を始めた年齢（資産形成の時間は十分だったと思う人）〔Q17:単一回答〕

- Q18で「資産形成の時間は十分だったと思う」と回答した人のうち、「老後のための資産形成は特にしてこなかった」が32.7%を占める。
- 資産形成を始めた年齢としては、30代～50代が多く、いずれも16%前後を占める。
- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者では「老後のための資産形成はしてこなかった」が12.9%に対し、過去保有者では19.8%、非保有経験者では27.7%。
- 金融資産別で見ると、資産が少なくなるほど「老後のための資産形成はしてこなかった」が高まる。

【Q18で「資産形成の時間は十分だったと思う」と回答した人ベース】

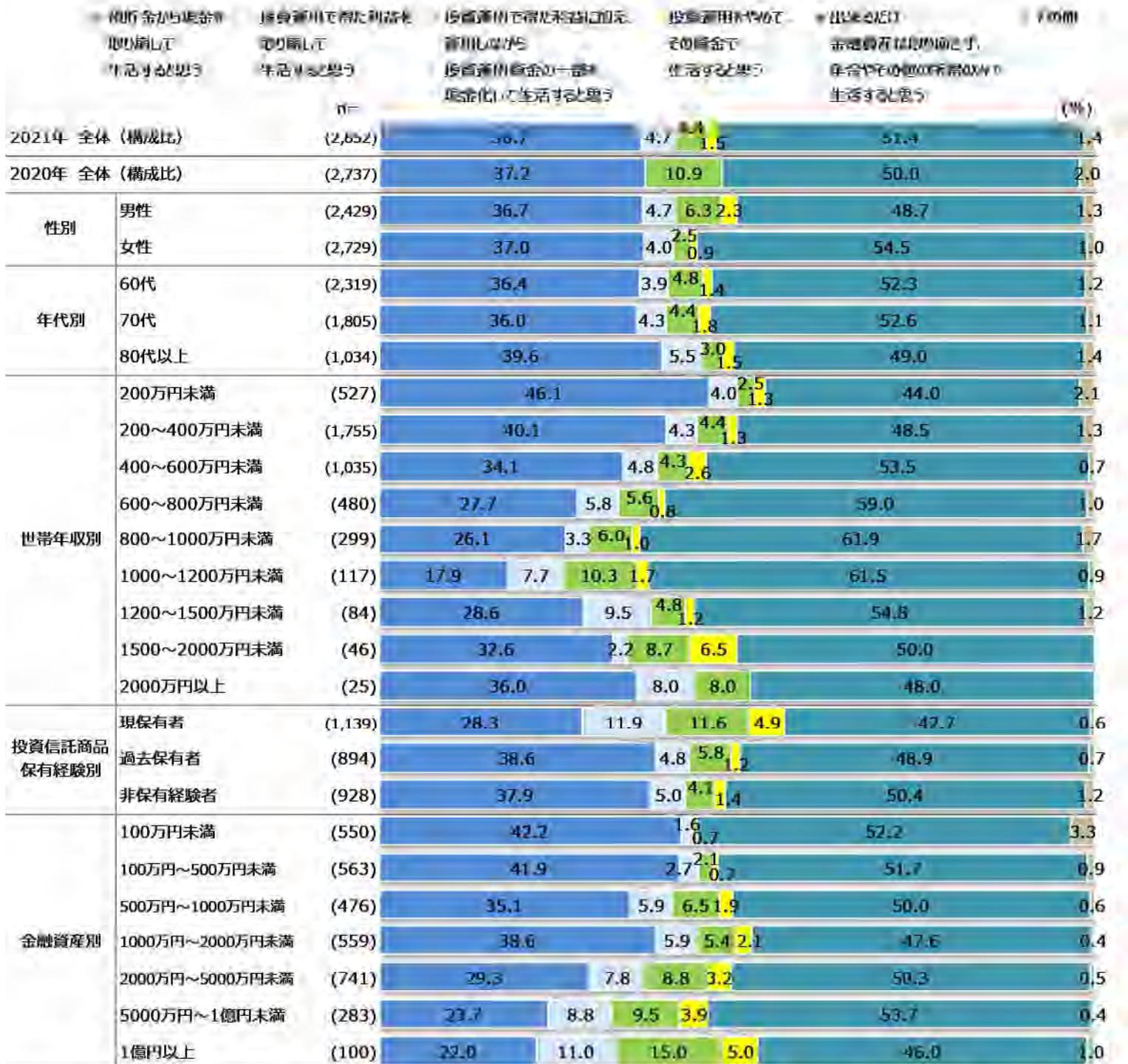


※資産形成実施計（「10代から」～「70代から」）のスコア

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (5-1) 今後の金融資産管理の意識〔Q23:単一回答〕

- 今後の金融資産の管理意識は、「出来るだけ金融資産は取り崩さず、年金やその他の所得のみで生活すると思う」（51.4%）が最も高く、「預貯金等から現金を取り崩して生活すると思う」（36.7%）が続く。
- 投資信託保有経験別で見ると、現保有者は「投資運用で得た利益を取り崩して生活すると思う」「投資運用で得た利益に加え、運用しながら金融資産の一部を現金化し生活すると思う」が過去保有者・非保有経験者よりも高く、過去保有者・非保有経験者は「預貯金等から現金を取り崩して生活すると思う」が現保有者よりも高い。



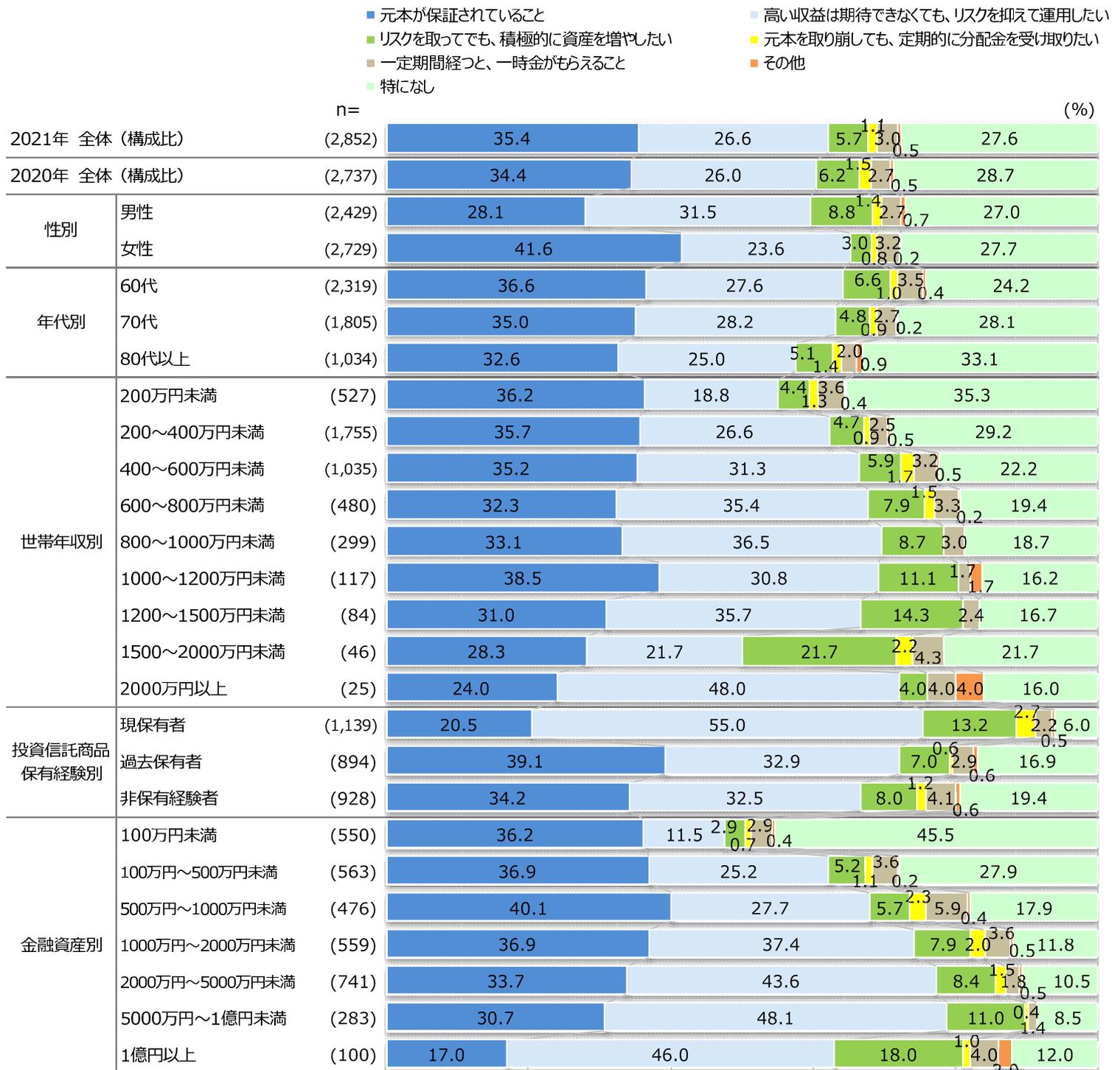
※「投資運用で得た利益に加え、運用しながら投資運用資金の一部を現金化して生活すると思う」について、2020年調査では「投資をし、運用しながら金融資産の一部を現金化し生活すると思う」で採取

※2020年調査では「投資運用で得た利益を取り崩して生活すると思う」「投資運用をやめて、その資金で生活すると思う」は非採取

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (5-2) 今後の金融商品購入時の意識〔Q16:単一回答〕

- 今後、金融商品購入時の意識として、「元本が保証されていること」（35.4%）、「高い収益は期待できなくても、リスクを抑えて運用したい」（26.6%）の2つの割合が高い。
- 性別で見ると、女性では「元本が保証されていること」が、男性では「高い収益は期待できなくても、リスクを抑えて運用したい」が高い。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「リスクを取ってでも、積極的に資産を増やしたい」が高い。  
※n=30未満の軸は参考値



## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (6) 今後の生活の金銭面での不安〔Q24:複数回答〕

- 今後の金銭面での不安は、「家族または自身の医療・介護費用が心配」（49.2%）が最も高い。以下、「想定外の出費が不安」（34.8%）、「退職金や年金だけで生活費が足りるかどうかが不安」（30.6%）が続く。
- 年代別で見ると、60代は70代以上の年代と比較して「退職金や年金だけで生活費が足りるかどうかが不安」（40.9%）が高い。

		n=	家族または自身の医療・介護費用が心配	想定外の出費が不安 (子供の結婚や出産、家屋の修繕、病気の治療など)	退職金や年金だけで生活費が足りるかどうかが不安	相続資金が残せるかが心配	その他	特に不安に思っていることはない
2021年 全体 (構成比)		(2,852)	49.2	34.8	30.6	6.8	0.8	25.7
2020年 全体 (構成比)		(2,737)	49.9	37.4	32.7	6.2	0.8	22.8
性別	男性	(2,429)	49.8	37.0	32.9	7.1	0.9	24.4
	女性	(2,729)	49.3	35.4	28.8	6.4	0.7	25.8
年代別	60代	(2,319)	49.0	39.8	40.9	7.0	0.6	21.6
	70代	(1,805)	51.2	36.5	24.7	5.9	0.8	26.4
	80代以上	(1,034)	47.8	27.2	18.5	7.7	1.4	31.0
世帯年収別	200万円未満	(527)	45.5	34.0	33.4	6.1	1.9	23.5
	200~400万円未満	(1,755)	52.3	36.4	30.0	6.5	0.8	22.6
	400~600万円未満	(1,035)	50.2	37.5	29.5	5.3	0.6	26.5
	600~800万円未満	(480)	46.7	37.9	30.0	8.5	0.8	26.0
	800~1000万円未満	(299)	47.5	37.5	31.8	8.0	0.3	29.1
	1000~1200万円未満	(117)	41.0	29.1	28.2	10.3	0.9	36.8
	1200~1500万円未満	(84)	41.7	32.1	27.4	8.3	-	28.6
	1500~2000万円未満	(46)	34.8	19.6	23.9	15.2	-	47.8
2000万円以上	(25)	28.0	24.0	16.0	-	4.0	56.0	
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,139)	46.6	36.8	24.9	7.9	1.1	29.5
	過去保有者	(894)	49.3	34.9	25.7	7.7	0.9	27.3
	非保有経験者	(928)	51.0	38.7	31.4	8.2	1.0	24.1
金融資産別	100万円未満	(550)	51.8	37.3	42.2	6.4	0.9	16.7
	100万円~500万円未満	(563)	52.8	37.8	41.7	7.6	0.7	13.7
	500万円~1000万円未満	(476)	58.0	43.5	35.1	7.1	0.8	15.3
	1000万円~2000万円未満	(559)	56.4	44.2	32.7	8.1	0.7	17.9
	2000万円~5000万円未満	(741)	47.4	35.8	21.1	7.3	0.9	32.0
	5000万円~1億円未満	(283)	37.5	27.2	16.3	6.7	1.1	49.5
	1億円以上	(100)	24.0	20.0	8.0	8.0	3.0	59.0

※「2021年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## **7. 60 歳代以上の現在の生活や 今後への意識**

---

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (1) 普段の生活の楽しみ・大切にしていること〔Q2:複数回答〕

- 普段の生活の楽しみ・大切にしていることは、「趣味」(62.7%) が最も高く、「家族との時間」(54.9%)、「健康管理」(50.5%)、「旅行」(47.2%)が続く。
- 性別で見ると、男性よりも女性で「友人・知人との時間」、「家事」が高く、男女差が目立つ項目となっている。一方で、男性では「趣味」が女性よりも高い。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「旅行」が高い。※n=30未満は参考値

		n=	趣味	家族との時間	健康管理	旅行	友人・知人との時間	外食	家事	仕事	子育て(含孫)	ボランティア	その他	特にない	(%)
2021年 全体 (構成比)		(2,852)	62.7	54.9	50.5	47.2	39.8	26.4	23.9	13.3	8.9	8.3	1.5	6.3	
2020年 全体 (構成比)		(2,737)	62.4	53.7	50.2	53.3	41.6	28.6	22.5	14.0	9.4	9.0	1.4	6.7	
2019年 全体 (構成比)		(1,565)	64.7	54.2	53.8	51.2	42.7	26.1	23.6	12.5	9.5	10.0	2.0	6.3	
性別	男性	(2,429)	67.2	56.2	52.6	49.0	30.7	24.2	14.1	17.7	8.1	9.0	1.2	6.0	
	女性	(2,729)	59.7	53.9	48.0	47.8	47.3	30.3	31.6	10.0	9.2	8.6	1.9	6.6	
年代別	60代	(2,319)	60.1	52.5	42.3	49.9	35.0	30.5	20.1	19.8	9.8	5.8	1.6	7.4	
	70代	(1,805)	66.8	58.6	53.8	50.7	43.5	26.4	25.3	10.0	9.0	10.6	1.3	4.4	
	80代以上	(1,034)	64.1	54.3	61.3	40.9	42.4	22.2	27.3	6.2	5.6	12.4	2.0	7.4	
世帯年収別	200万円未満	(527)	59.2	33.0	44.0	34.2	36.4	21.1	25.4	7.6	5.7	7.4	2.3	10.8	
	200~400万円未満	(1,755)	63.2	52.5	51.5	44.4	39.1	21.9	23.4	9.1	7.9	9.0	1.4	6.8	
	400~600万円未満	(1,035)	68.1	58.4	52.9	52.9	41.1	30.7	23.2	13.7	8.5	10.3	1.5	4.3	
	600~800万円未満	(480)	67.1	65.8	50.4	56.9	38.5	33.3	24.0	19.2	10.0	9.6	1.5	3.5	
	800~1000万円未満	(299)	66.2	62.2	50.8	57.9	40.1	33.8	18.1	31.1	9.7	7.7	1.0	2.7	
	1000~1200万円未満	(117)	66.7	68.4	49.6	70.9	46.2	42.7	25.6	22.2	13.7	13.7	0.9	3.4	
	1200~1500万円未満	(84)	54.8	58.3	48.8	58.3	48.8	44.0	25.0	23.8	14.3	8.3	2.4	1.2	
	1500~2000万円未満	(46)	80.4	67.4	41.3	69.6	52.2	37.0	21.7	37.0	17.4	19.6	2.2	-	
	2000万円以上	(25)	48.0	56.0	48.0	48.0	48.0	32.0	32.0	32.0	8.0	8.0	4.0	-	
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,139)	69.2	57.9	58.4	59.6	45.3	32.9	23.7	15.4	9.8	13.3	1.6	3.1	
	過去保有者	(894)	69.2	58.4	58.1	54.9	44.7	30.1	24.9	12.0	9.2	12.2	1.8	3.1	
	非保有経験者	(928)	68.0	58.9	53.4	50.2	40.0	30.3	22.4	16.4	9.4	8.2	1.4	3.8	
金融資産別	100万円未満	(550)	55.5	40.4	40.4	31.3	31.5	19.5	21.1	14.5	6.0	6.4	2.0	11.5	
	100万円~500万円未満	(563)	57.7	48.7	48.0	43.0	40.1	24.9	19.9	15.8	6.7	8.9	2.5	5.9	
	500万円~1000万円未満	(476)	68.5	56.3	51.3	49.4	40.1	27.1	25.2	12.0	11.1	11.6	0.6	3.2	
	1000万円~2000万円未満	(559)	67.6	61.5	51.9	55.6	41.0	29.9	24.9	14.8	8.9	8.8	1.1	3.6	
	2000万円~5000万円未満	(741)	72.7	59.4	56.7	58.7	47.5	35.1	25.0	17.1	10.1	12.3	1.8	2.8	
	5000万円~1億円未満	(283)	71.7	62.9	59.7	62.2	46.6	32.9	26.1	15.5	12.7	14.5	1.8	3.2	
	1億円以上	(100)	69.0	45.0	55.0	62.0	51.0	43.0	29.0	22.0	6.0	12.0	3.0	2.0	

※「2021年 全体 (構成比)」スコアで降順ソート

## 7. 60歳以上の現在の生活や今後への意識

### (2)自身の想定寿命〔Q30:単一回答〕

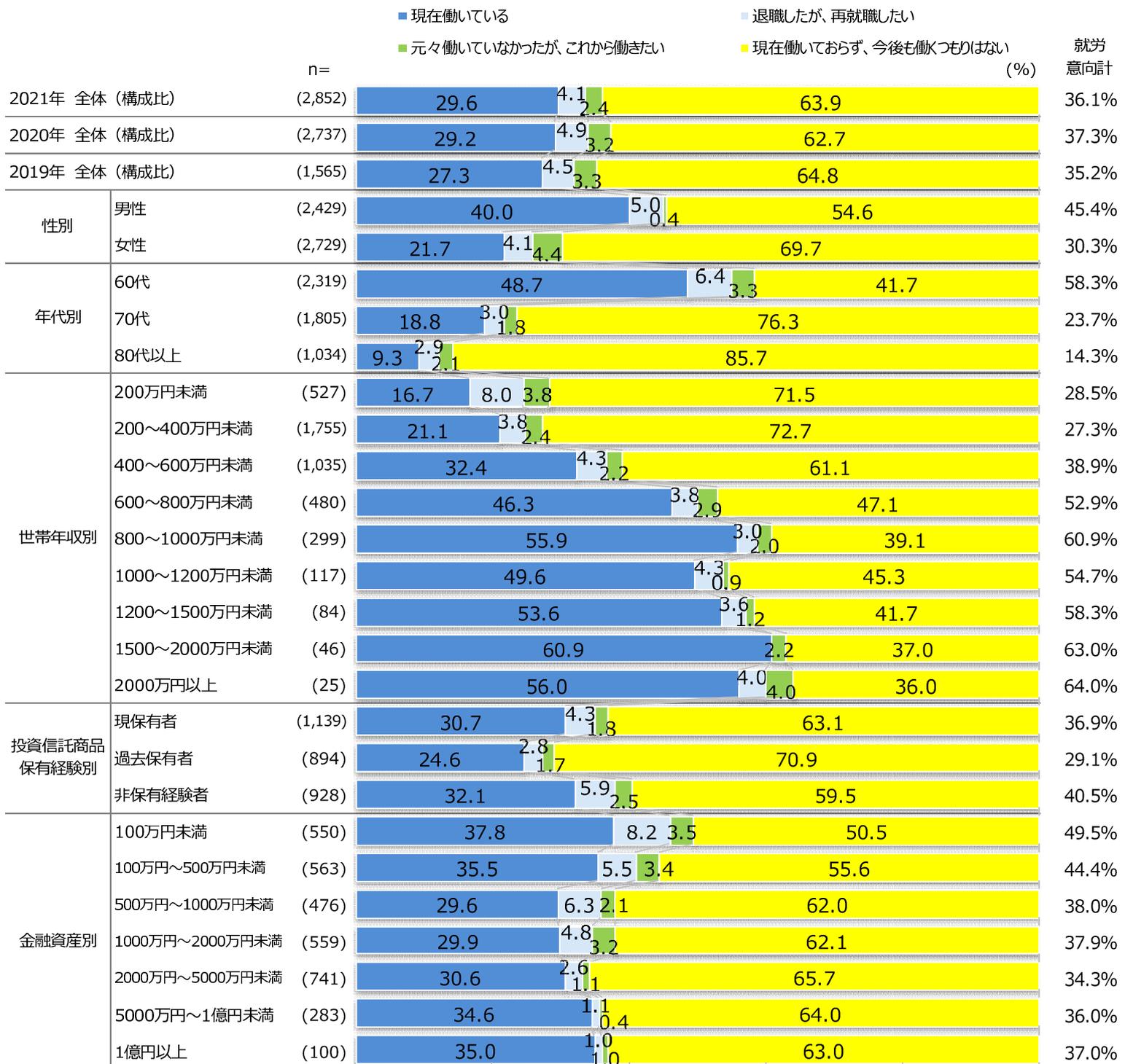
- 自身の想定寿命は、「80～89歳」（42.5%）が最も高い。
- 年代別で見ると、80代以上で「全く考えたことがない」の割合が他年代に比べて高い。
- 金融資産別で見ると、資産が低い層ほど「全く考えたことがない」の割合が高い。

		100未満	100～199	200～299	300～399	400～499	500以上
2021年 全体 (構成比)		(2,852) 2.6	14.8	42.5	12.3	1.6	26.2
2020年 全体 (構成比)		(2,737) 2.5	15.0	42.7	13.2	1.7	24.9
2019年 全体 (構成比)		(1,565) 1.7	14.2	45.6	14.6	1.6	22.4
性別	男性	(2,429) 2.4	13.4	44.1	15.3	1.9	23.0
	女性	(2,729) 2.4	14.1	43.4	11.7	1.3	27.0
世帯年収別	200万円未満	(527) 3.4	10.8	37.6	14.4	2.5	31.3
	200～400万円未満	(1,755) 2.1	14.7	44.7	12.5	1.2	24.8
	400～600万円未満	(1,035) 2.6	15.7	46.9	13.2	1.7	19.9
	600～800万円未満	(480) 2.1	14.4	48.5	15.0	1.0	19.0
	800～1000万円未満	(299) 1.0	11.4	51.5	14.0	2.0	20.1
	1000～1200万円未満	(117) 5.1	17.1	44.4	17.9	2.6	12.8
	1200～1500万円未満	(84) 1.2	14.3	46.4	14.3	2.4	21.4
	1500～2000万円未満	(46) 4.3	8.7	34.8	21.7		30.4
	2000万円以上	(25) 4.0	16.0	44.0	16.0		20.0
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,139) 2.6	20.3	49.9	10.9	1.3	15.0
	過去保有者	(894) 2.9	18.3	50.7	9.8	0.6	17.7
	非保有経験者	(928) 2.9	14.5	44.4	16.3	1.2	20.7
金融資産別	100万円未満	(550) 4.0	8.7	32.0	16.4	3.1	35.8
	100万円～500万円未満	(563) 2.7	13.3	43.2	18.3	1.4	21.1
	500万円～1000万円未満	(476) 1.1	18.1	55.0	12.8	0.8	12.2
	1000万円～2000万円未満	(559) 1.6	13.6	52.2	15.6	1.6	15.4
	2000万円～5000万円未満	(741) 2.0	18.5	52.9	13.0	1.1	12.6
	5000万円～1億円未満	(283) 3.5	23.3	49.5	9.2	0.4	14.1
	1億円以上	(100) 7.0	26.0	42.0	13.0	3.0	9.0

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (3) 就労状況・意識〔Q25:単一回答〕

- 就労状況・意識は、「現在働いている」が29.6%、「退職したが、再就職したい」が4.1%、「元々働いていなかったが、これから働きたい」が2.4%、「現在働いておらず、今後も働くつもりはない」が63.9%。
- 就労意向は女性よりも男性で高い。また、年代が低い層ほど、世帯年収が上がるほど、就労意向は高まる傾向。※n=30未満の軸は参考値



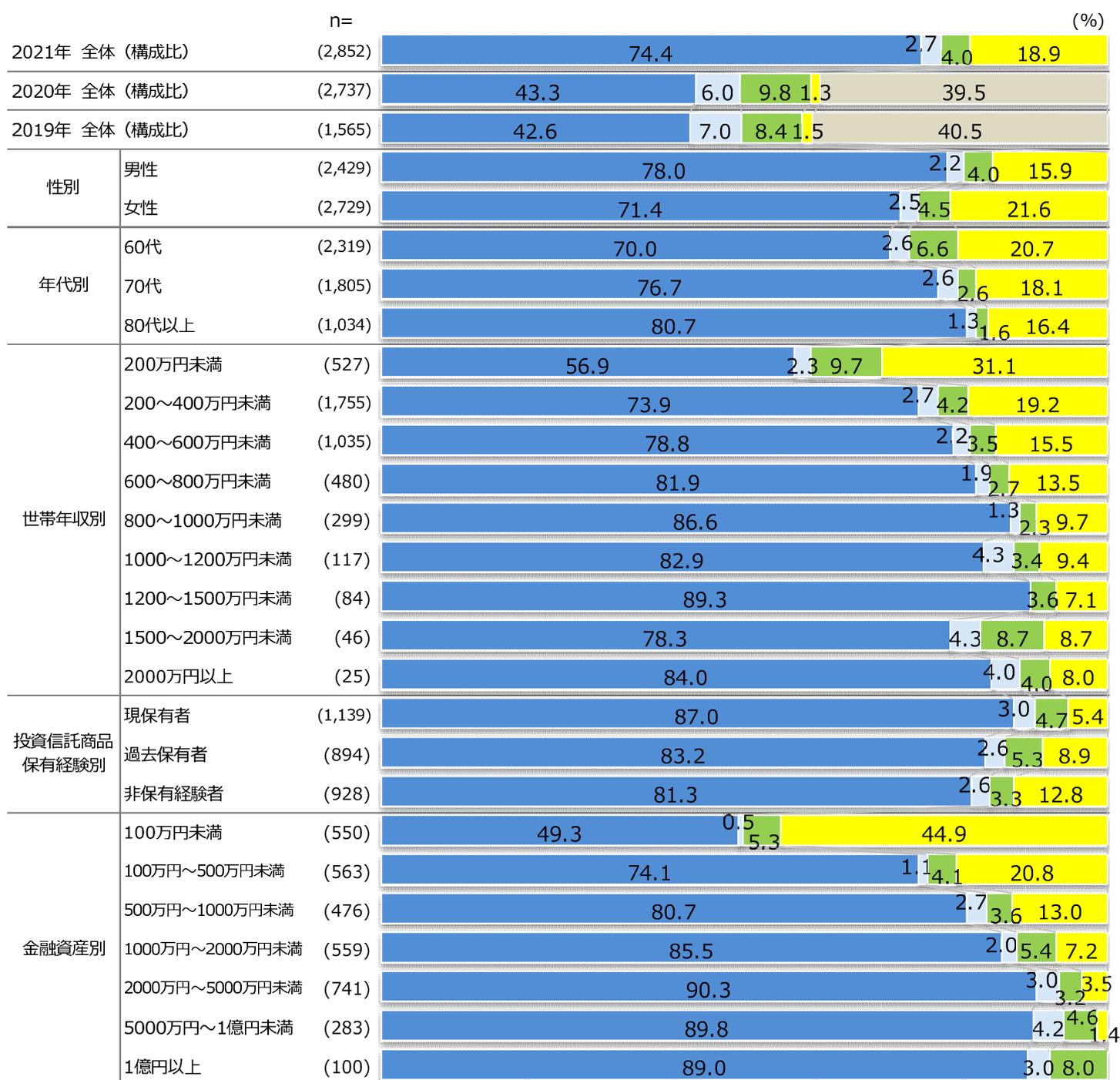
※就労意向計: (「現在働いている」~「元々働いていなかったが、これから働きたい」) のスコア

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (4)財産の相続意向〔Q26:単一回答〕

- 自分の財産の相続意向は、「相続させたい」が74.4%。「相続させたくない」が2.7%、「相続させる相手がいない」が4.0%、「相続させる資産がない」が18.9%となっている。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど、「相続させたい」が高まる傾向。n=30未満の軸は参考値
- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者では過去保有者・非保有経験者に比べて「相続させたい」割合が高くなっている。

■ 相続させたい ■ 相続させたくない ■ 相続させる相手がいない ■ 相続させる資産がない ■ どちらともいえない



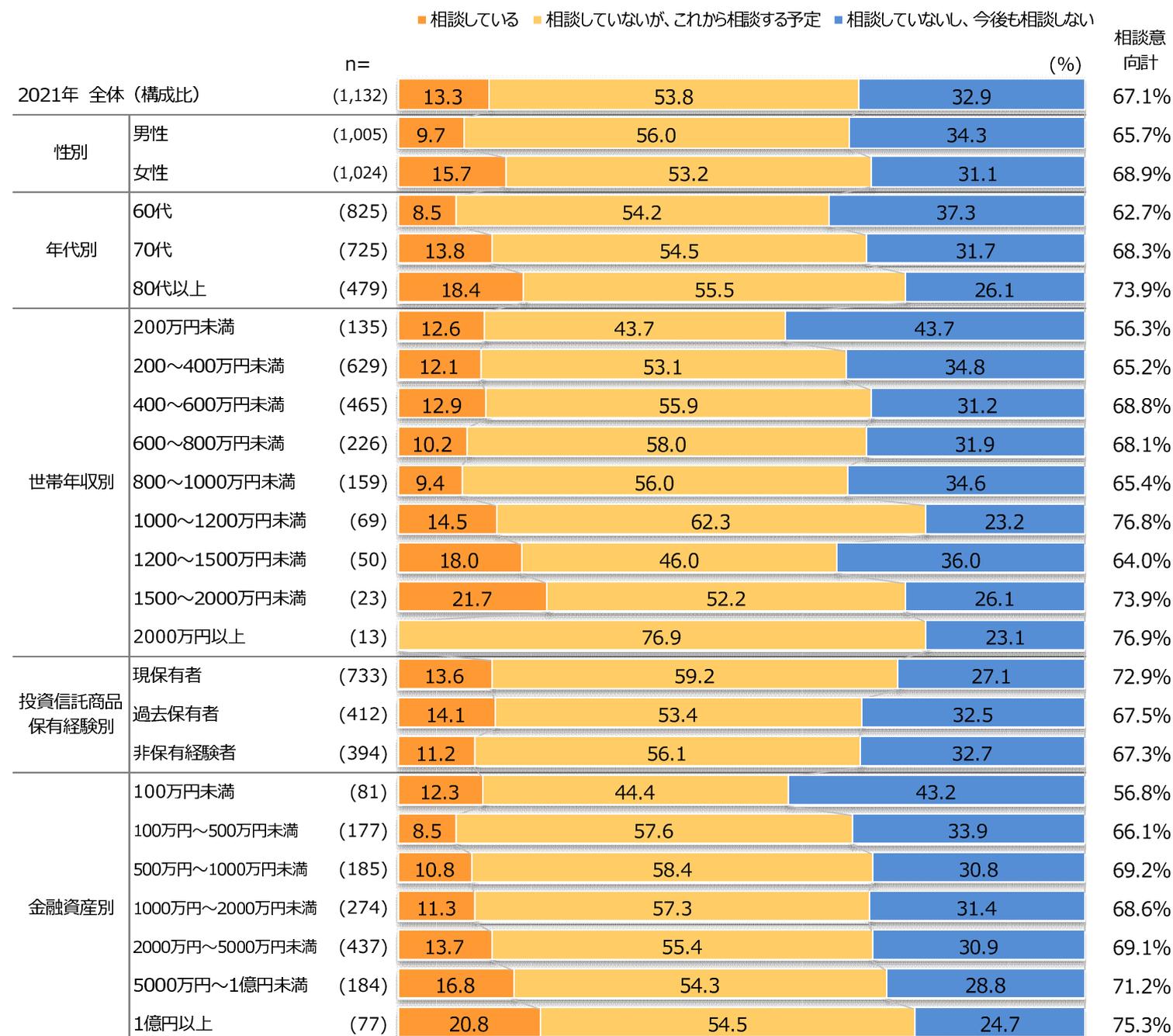
※2021年調査では「どちらともいえない」非聴取 ※2020年調査以前では「相続させる資産がない」非聴取  
 ※2021年調査と2020年調査以前では設問形式が異なるため、時系列データについては参考値

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (5)財産相続の相談状況〔Q29:単一回答〕

- 相続意向者のうち、相続について相続相手と「相談している」割合は13.3%。「相談していないが、これから相談する予定」が53.8%、「相談していないし、今後も相談しない」が32.9%。
- 年代別でみると、年代が上がるほど相談意向計も高い。
- 金融資産別でみると、資産額が上がるほど、相談意向計も高い。

【預貯金以外の金融資産相続意向者ベース】



※相談意向計: (「相談している」+「相談していないが、これから相談する予定」) のスコア



# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (6)引き継いでもらいたい資産〔Q26:複数回答〕

- 相続意向者において、引き継いでもらいたい資産は「現金・預貯金」（78.9%）、「家屋」（69.6%）、「土地」（68.6%）が上位に挙がる。
- 「投資信託」について、投資信託現保有者の49.7%が相続意向を持っている。

【財産相続意向者ベース】

		実物資産					金融資産							特 に な い	
n=		家 屋	土 地	宝 石 等 の 貴 金 属 や	美 術 品 ・ 骨 董 品	そ の 他 の 実 物 資 産	現 金 ・ 預 貯 金	生 命 保 険 の 保 険 金	株 式	投 資 信 託	債 券	保 険 金	生 命 保 険 以 外 の		そ の 他 の 金 融 資 産
2021年 全体 (構成比)		(2,122)	69.6	68.6	11.5	4.5	1.3	78.9	39.2	22.8	11.9	4.7	0.8	1.0	-
2020年 全体 (構成比)		(1,186)	75.2	73.5	15.4	6.1	0.8	84.9	37.4	29.2	18.2	8.3	0.8	0.2	-
2019年 全体 (構成比)		(666)	74.0	70.6	16.5	5.4	1.4	86.6	43.4	34.1	20.1	10.5	0.6	0.6	-
性別	男性	(1,894)	78.2	76.7	6.4	4.0	1.2	80.4	36.9	26.5	13.7	4.6	1.0	0.8	-
	女性	(1,949)	61.0	60.4	15.4	3.7	0.9	78.0	39.8	18.5	12.0	4.3	0.6	0.6	-
年代別	60代	(1,624)	65.8	64.7	11.2	3.6	0.6	78.8	38.2	19.2	12.1	4.1	0.3	0.4	-
	70代	(1,385)	71.2	71.0	10.5	3.7	1.1	80.6	38.1	22.7	12.5	4.0	0.9	0.3	-
	80代以上	(834)	73.6	71.3	11.3	4.6	1.8	77.7	39.1	28.2	14.7	5.9	1.4	1.9	-
世帯年収別	200万円未満	(300)	61.3	62.7	11.0	4.3	0.3	76.3	36.3	14.0	10.3	4.0	-	-	-
	200～400万円未満	(1,297)	69.6	67.3	7.6	2.1	1.5	76.9	34.5	18.8	12.2	3.2	0.7	0.8	-
	400～600万円未満	(816)	70.3	68.6	11.5	3.4	0.7	82.5	40.3	25.7	13.6	5.0	1.2	0.5	-
	600～800万円未満	(393)	73.3	71.8	13.5	5.9	1.5	82.7	38.9	29.0	13.5	3.8	-	0.5	-
	800～1000万円未満	(259)	69.5	73.4	15.1	4.6	0.4	82.6	45.2	28.6	16.2	6.2	0.4	0.4	-
	1000～1200万円未満	(97)	77.3	73.2	14.4	11.3	-	84.5	51.5	37.1	20.6	6.2	2.1	2.1	-
	1200～1500万円未満	(75)	69.3	70.7	17.3	10.7	-	84.0	54.7	37.3	29.3	14.7	1.3	1.3	-
	1500～2000万円未満	(36)	66.7	75.0	25.0	11.1	-	80.6	41.7	50.0	16.7	16.7	2.8	2.8	-
2000万円以上	(21)	71.4	71.4	14.3	4.8	-	81.0	38.1	38.1	14.3	19.0	4.8	-	-	
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(991)	70.3	68.2	16.4	6.8	1.0	85.6	44.0	47.3	49.7	12.3	0.8	0.6	-
	過去保有者	(744)	72.7	70.4	11.3	4.8	1.2	82.0	41.1	23.8	-	4.3	0.4	1.1	-
	非保有経験者	(754)	72.3	72.0	9.3	2.5	0.8	78.4	32.9	28.6	-	2.4	0.9	0.9	-
金融資産 別	100万円未満	(271)	58.7	63.8	4.8	2.6	0.7	62.4	24.0	6.3	4.4	1.5	1.1	0.4	-
	100万円～500万円未満	(417)	65.9	68.6	7.7	3.1	0.2	71.7	33.1	11.5	5.8	0.5	0.2	0.5	-
	500万円～1000万円未満	(384)	70.3	69.0	7.6	2.1	1.6	78.6	34.4	19.8	8.1	1.0	0.8	0.5	-
	1000万円～2000万円未満	(478)	70.9	67.8	9.4	4.2	1.3	84.7	39.5	23.8	14.2	2.5	0.8	1.0	-
	2000万円～5000万円未満	(669)	71.6	72.0	13.3	4.0	1.3	88.5	45.4	33.9	20.2	8.1	0.7	0.3	-
	5000万円～1億円未満	(254)	73.6	68.5	20.1	5.5	0.8	92.1	48.8	45.3	29.1	15.0	-	1.2	-
	1億円以上	(89)	78.7	82.0	23.6	14.6	-	92.1	67.4	58.4	36.0	29.2	4.5	1.1	-

※カテゴリごとに「2021年 全体 (構成比)」スコアで降順ソート

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (7)相続する資産の現金化意向〔Q27:単一回答〕

- 金融資産相続意向者のうち、現金化意向者は23.7%。その内訳は、「金融商品は全て売却（現金化）して相続してもらう予定だ」（14.3%）、「金融商品は一部を売却（現金化）して相続してもらう予定だ」（9.4%）。なお、現金化をしない割合は19.4%、現金化について未定の割合は56.9%となっている。2020年調査と比べて、現金化未定の割合が増加。
- 性別でみると、女性よりも男性で現金化の意向が高い。

### 【預貯金以外の金融資産相続意向者ベース】

- 金融商品は全て売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- 金融商品は一部を売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- 金融商品は全てをそのまま（現金化せずに）相続してもらう予定だ
- どう相続してもらうかはまだ決まっていない

		n=	現金化意向計 (%)				現金化意向計 (%)
2021年 全体（構成比）		(1,132)	14.3	9.4	19.4	56.9	23.7%
2020年 全体（構成比）		(654)	16.4	11.6	24.8	47.2	28.0%
性別	男性	(1,005)	16.0	11.0	21.1	51.8	27.1%
	女性	(1,024)	13.0	6.7	17.9	62.4	19.7%
年代別	60代	(825)	14.4	8.5	17.6	59.5	22.9%
	70代	(725)	14.2	8.6	19.6	57.7	22.8%
	80代以上	(479)	15.0	10.0	22.5	52.4	25.1%
世帯年収別	200万円未満	(135)	17.0	4.4	17.8	60.7	21.5%
	200～400万円未満	(629)	15.1	8.4	18.0	58.5	23.5%
	400～600万円未満	(465)	17.2	9.9	17.8	55.1	27.1%
	600～800万円未満	(226)	12.8	11.9	23.5	51.8	24.8%
	800～1000万円未満	(159)	12.6	9.4	25.2	52.8	22.0%
	1000～1200万円未満	(69)	15.9	8.7	27.5	47.8	24.6%
	1200～1500万円未満	(50)	14.0	10.0	26.0	50.0	24.0%
	1500～2000万円未満	(23)	26.1	17.4	13.0	43.5	43.5%
	2000万円以上	(13)	15.4	7.7	23.1	53.8	23.1%
投資信託商品保有経験別	現保有者	(733)	18.0	11.9	22.8	47.3	29.9%
	過去保有者	(412)	16.3	9.7	21.6	52.4	26.0%
	非保有経験者	(394)	15.0	8.9	20.3	55.8	23.9%
金融資産別	100万円未満	(81)	14.8	6.2	16.0	63.0	21.0%
	100万円～500万円未満	(177)	14.7	5.6	20.3	59.3	20.3%
	500万円～1000万円未満	(185)	13.5	11.4	24.9	50.3	24.9%
	1000万円～2000万円未満	(274)	20.4	7.7	20.4	51.5	28.1%
	2000万円～5000万円未満	(437)	17.6	12.8	21.7	47.8	30.4%
	5000万円～1億円未満	(184)	14.1	12.0	22.3	51.6	26.1%
	1億円以上	(77)	13.0	13.0	23.4	50.6	26.0%

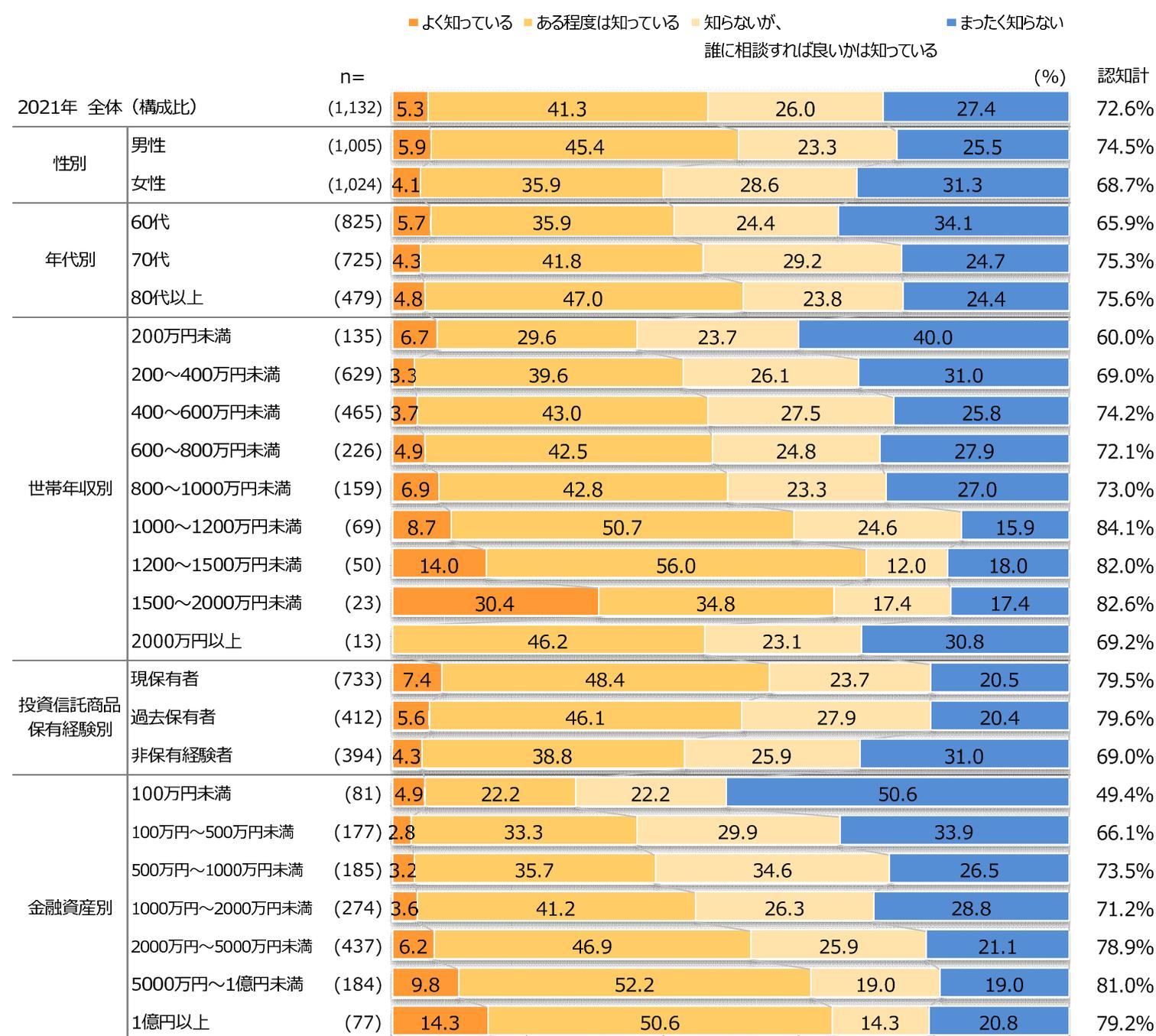
※現金化意向計：（「金融商品は全て売却（現金化）して相続してもらう予定だ」+「金融商品は一部を売却（現金化）して相続してもらう予定だ」）のスコア

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (8) 金融資産における相続手続きの認知〔Q28:単一回答〕

- 現金以外の金融資産相続意向者のうち、相続手続きなどを「よく知っている」のは5.3%、「ある程度は知っている」が41.3%、「知らないが、誰に相談すれば良いかは知っている」は26.0%となっており、認知計は72.6%。なお、「まったく知らない」は27.4%と3割弱を占める。
- 70代以上の年代や、世帯年収が高い層で認知計が高い。※n=30未満の軸は参考値
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者・過去保有者の認知計は約8割と高いが、非保有経験者では69.0%にとどまり、保有経験による認知の差が見られる。

【預貯金以外の金融資産相続意向者ベース】



※認知計: (「よく知っている」+「ある程度は知っている」+「知らないが、誰に相談すれば良いかは知っている」) のスコア

**末尾添付資料：調査票**

---

調査票記入ガイド

下記の手順に従って記入してください。

- 1. 氏名、性別、年齢、職業、学歴、居住地を記入してください。
- 2. 調査票の裏面に記載の質問に答えてください。

※ 調査票の裏面に記載の質問に答えてください。

※ 調査票の裏面に記載の質問に答えてください。

お問い合わせ

〒100-0001 東京都千代田区千代田

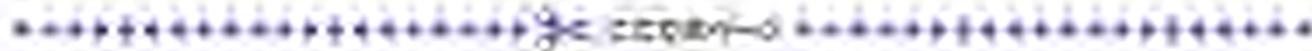
TEL

FAX

E-MAIL

HP

※





## 末尾添付資料：調査票

① 氏名

② 本調査は、貴社で発行されている「主要資産」の保有の調査として実施させていただきます。

主要資産とは、モノではなく金貨に近い形で保有している資産を指します。

対象資産：株券、銀行金、債、金貨、金銀製品など  
対象資産でない：株、工券、現金紙、金貨、金銀製品など

③ 所属部署

- ④ 所属部署
- ⑤ 所属部署
- ⑥ 所属部署
- ⑦ 所属部署
- ⑧ 所属部署
- ⑨ 所属部署
- ⑩ 所属部署
- ⑪ 所属部署
- ⑫ 所属部署
- ⑬ 所属部署
- ⑭ 所属部署
- ⑮ 所属部署
- ⑯ 所属部署
- ⑰ 所属部署
- ⑱ 所属部署
- ⑲ 所属部署
- ⑳ 所属部署
- ㉑ 所属部署
- ㉒ 所属部署
- ㉓ 所属部署
- ㉔ 所属部署
- ㉕ 所属部署
- ㉖ 所属部署
- ㉗ 所属部署
- ㉘ 所属部署
- ㉙ 所属部署
- ㉚ 所属部署
- ㉛ 所属部署
- ㉜ 所属部署
- ㉝ 所属部署
- ㉞ 所属部署
- ㉟ 所属部署
- ㊱ 所属部署
- ㊲ 所属部署
- ㊳ 所属部署
- ㊴ 所属部署
- ㊵ 所属部署
- ㊶ 所属部署
- ㊷ 所属部署
- ㊸ 所属部署
- ㊹ 所属部署
- ㊺ 所属部署
- ㊻ 所属部署
- ㊼ 所属部署
- ㊽ 所属部署
- ㊾ 所属部署
- ㊿ 所属部署

.....

## 末尾添付資料：調査票

The image shows a survey form with a blue header containing the text "Q4". Below the header, there is a large blue rectangular area with white text. The text in this area is partially legible and appears to be a question or instruction. Below this blue area, there are several lines of text, which are mostly illegible due to blurring. At the bottom of the form, there is a horizontal dotted line with a small icon in the center.

# 末尾添付資料：調査票

○ 調査票の記入方法  
○ 調査票の記入例  
○ 調査票の記入方法  
○ 調査票の記入例  
○ 調査票の記入方法  
○ 調査票の記入例

**Q5**  
○ 調査票の記入方法  
○ 調査票の記入例  
○ 調査票の記入方法  
○ 調査票の記入例

○ 調査票の記入方法

○ 調査票の記入例

○ 調査票の記入方法

○ 調査票の記入例

○ 調査票の記入方法

○ 調査票の記入例

○ 調査票の記入方法

○ 調査票の記入方法

# 末尾添付資料：調査票

調査票 (08) 1/1

調査票

調査票

05

調査票



- セレクト条件：【Q4】で1,2と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：11. 特に理由はない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-9

## Q7

あなたが投資している（投資した）理由としてあてはまるものを全てお選びください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 1 預貯金の金利が低いから
- 2 資産を分けて保有しておくため
- 3 相続や贈与の資金のため
- 4 自分の生活費のため
- 5 将来の医療・介護費用の負担に備えるため
- 6 趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため
- 7 社会とのつながりを持つため
- 8 経済について学ぶため
- 9 投資そのものを楽しむため
- 10 その他
- 11 特に理由はない



ここで改ページ

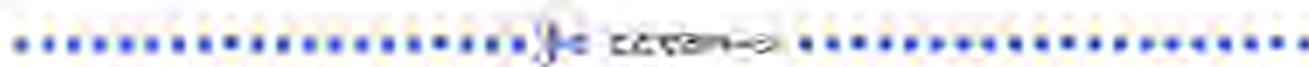
# 末尾添付資料：調査票

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1  
株式会社 日本郵政  
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1  
株式会社 日本郵政

Q8  
このアンケートは、郵便物の配達にまつわる課題を明らかにし、改善に役立てさせていただきます。

▶ 送信履歴 ▶ 送信履歴

郵便物の配達状況



# 末尾添付資料：調査票

● 調査員番号 (09) 7344 5200  
● 調査票記入期間 (10/10～10/15)  
● 調査票記入時間 10分以内

**Q9**  
以下の施設が実際に利用可能なサービスは500円以内ではありますが、それぞれ利用したいですか？

- 飲食を兼ねたこたいで、自然の光景を自然に楽しむ
- 飲食を兼ねた、自然の光景を楽しむ専用コート
- 飲食を兼ねたこたいで、ローテーブル・ローソファの配置を希望する
- 飲食を兼ねた、1人1台の椅子・ソファの配置を希望する
- こたえの裏面が暖かい、寒い季節に必要
- 飲食を兼ねたコート、飲食を兼ねた専用コート
- こたえ (暖かい椅子) による移動、飲食を兼ねたコート
- 飲食を兼ねたこたえ、椅子の配置を希望
- こたえの裏面が暖かい、寒い季節に必要

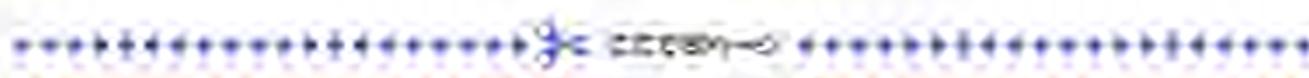
とても利用したい

利用できる

どちらともいえない

利用しない

利用しない理由

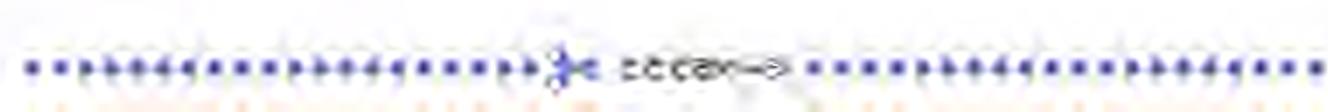


# 末尾添付資料：調査票

- 調査対象 - Q10 7145票あり  
- 調査期間 - 2019年10月1日 - 10月31日  
- 調査方法 - 郵送調査

**Q10**  
お父さん・お母さん・叔父・叔母は、投資家ですか。はい/いいえ/どちらともいえない/わからない/その他  
世界に「株」は、あなた自身が所有しているか。はい/いいえ/どちらともいえない/わからない/その他

お父さん・お母さん・叔父・叔母は、投資家ですか。はい/いいえ/どちらともいえない/わからない/その他  
世界に「株」は、あなた自身が所有しているか。はい/いいえ/どちらともいえない/わからない/その他



# 末尾添付資料：調査票

- ① 題名
- 発行機関：日本経済団体連合会(JEA)
- 発行年：2017年（平成29年）

**Q11**  
「労働市場の改善」に関するアンケート調査結果の概要について、  
労働市場の改善に関するアンケート調査結果の概要について、  
労働市場の改善に関するアンケート調査結果の概要について、

調査概要

目的

概要

調査実施期間：11月17日～19日（本調査は対象する労働者に日本の証券取引所に登録して  
いるもの）

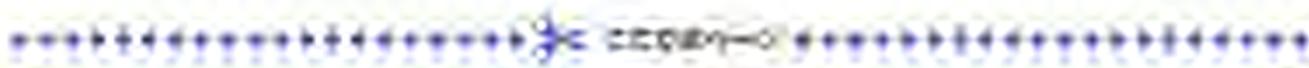
対象者：労働者（労働者総数に占める割合）

調査方法

調査結果

調査結果の概要

お問い合わせ先



# 末尾添付資料：調査票

- 選択肢セレクト条件 項目【1】  
選択肢【1】：Q10項目【1】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件 項目【2】  
選択肢【1】：Q10項目【1】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件 項目【3】  
選択肢【1】：Q10項目【1】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件 項目【4】  
選択肢【1】：Q10項目【1】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件 項目【5】  
選択肢【1】：Q10項目【4】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)

Q12

以下の商品で必ず「お気に入り」に登録されている主要商品以外に、お気に入り

商品

としてお気に入り登録している商品(複数可)

01-04

01-04

01-04

毎月・隔月お支払プランで、毎月お支払額ごとにお支払いを受けることのできる  
お支払方法

お支払額を、お支払回数と、お支払回数に掛けたお支払額に等しいお支払額

お支払額を、お支払回数と、お支払回数に掛けたお支払額に等しいお支払額

お支払額を、お支払回数と、お支払回数に掛けたお支払額に等しいお支払額

お支払額を、お支払回数と、お支払回数に掛けたお支払額に等しいお支払額

お支払額を、お支払回数と、お支払回数に掛けたお支払額に等しいお支払額

お支払額

お支払回数

お支払回数

お支払額



## 末尾添付資料：調査票

8 経済について学ぶため

9 投資そのものを楽しむため

10 その他

11 特に理由はない

✖ 閉じる

..... ✂ ここです改ページ .....

C1

ここからは、年金や退職金などを含めた、あなたの資産形成への意識について伺います。

..... ✂ ここです改ページ .....

# 末尾添付資料：調査票

※ 選択項目の上の条件

選択票 [2]	(AGE >= 20 && AGE <= 30)
選択票 [3]	(AGE >= 30 && AGE <= 40)
選択票 [4]	(AGE >= 40 && AGE <= 50)
選択票 [5]	(AGE >= 50 && AGE <= 60)
選択票 [6]	(AGE >= 60 && AGE <= 70)
選択票 [7]	(AGE >= 70 && AGE <= 80)
選択票 [8]	(AGE >= 80 && AGE <= 90)
選択票 [9]	(AGE >= 90 && AGE <= 100)
選択票 [10]	(AGE >= 20 && AGE <= 30)
選択票 [11]	(AGE >= 70 && AGE <= 80)

※ ①は必須

**Q14**  
あなたの研究、社会に役立つこと（実用性）  
が期待できるかどうか、可能な限り具体的に評価してください。

① 非常に役立つ  
② 役立つ  
③ どちらでもない  
④ 役立つ  
⑤ 非常に役立つ

↑ ↓

① 非常に役立つ

② 役立つ

③ どちらでもない

④ 役立つ

⑤ 非常に役立つ

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

# 末尾添付資料：調査票

-----

**Q15**  
貴社が、自主発覚した不正行為(不正行為)のうち、不正行為の金額が最も大きい不正行為の金額を教えてください。  
不正行為の金額が最も大きい不正行為の金額を教えてください。  
不正行為の金額が最も大きい不正行為の金額を教えてください。

(100万円未満)

(100万円～500万円未満)

(100万円～1,000万円未満)

(1,000万円～2,000万円未満)

(2,000万円～5,000万円未満)

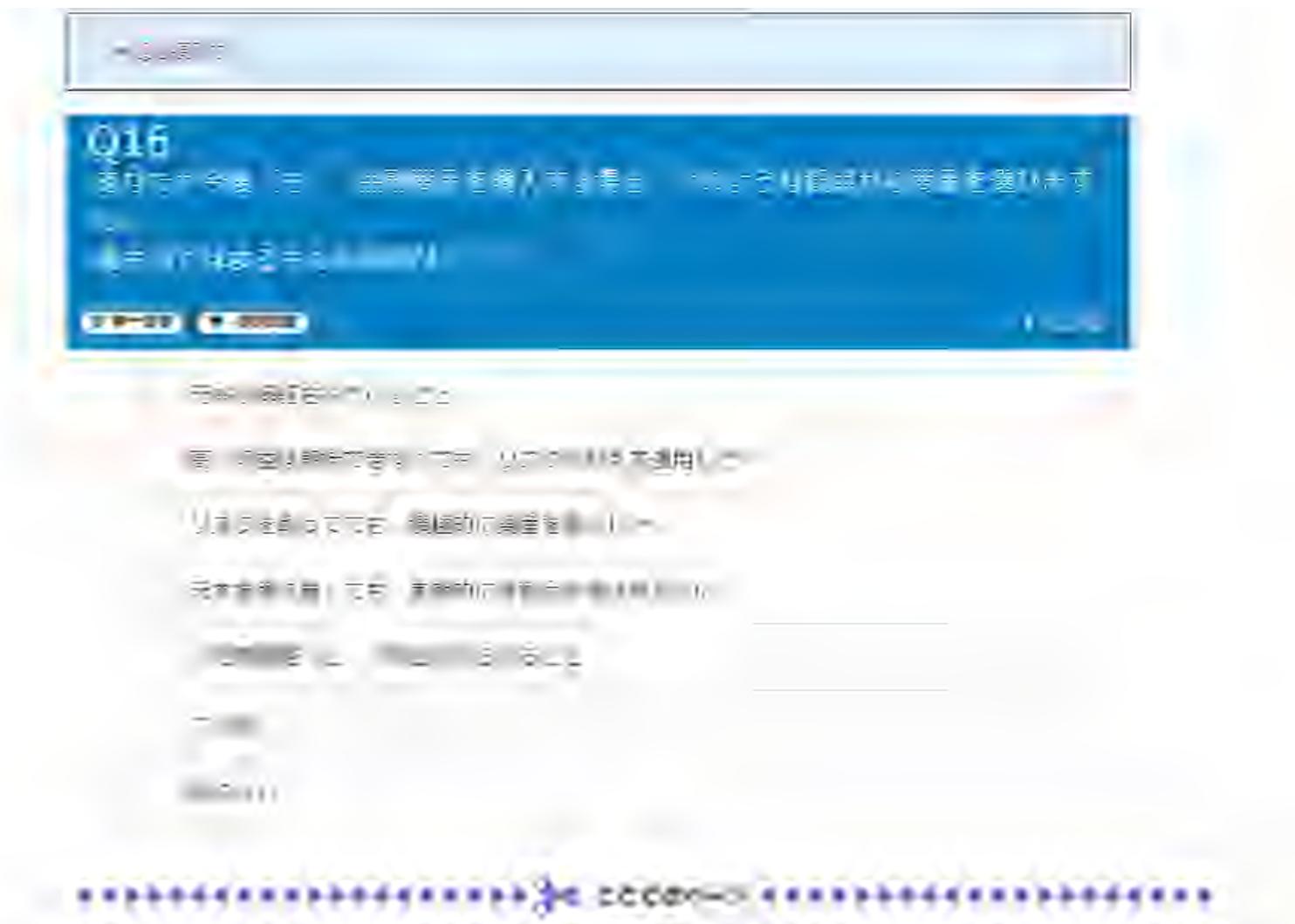
(5,000万円～1億円未満)

(1億円以上)

(不明)

\*\*\*\*\* 〇 \*\*\*\*\*

# 末尾添付資料：調査票





# 末尾添付資料：調査票

※ 選択項目以外は必ず

選択数 [3]	[01X]	○-8: 満足した
選択数 [4]	[01X]	○-8: 満足した
選択数 [5]	[01X]	○-8: 満足した
選択数 [6]	[01X]	○-8: 満足した
選択数 [7]	[01X]	○-8: 満足した
選択数 [8]	○-8: 満足した	○-8: 満足した

※ 回答数 [0/7]

**Q18**  
本社では、お客様の個人情報を保護するために「個人情報保護方針」を制定し、公表しております。この方針のweb版掲載の期間は十分と判断しておりますが、お客様のご意見をお聞かせください。このQ18はweb版の掲載期間が満了いたしました。

回答数 [0/7]

調査期間の満了は十分と判断しております

0分00秒

0分05秒

0分10秒

0分15秒

0分20秒

0分25秒

0分30秒













# 末尾添付資料：調査票

- 遠征費以外条件  
遠征費 (A) 10M 以下(1) 遠征費なし  
遠征費 (B) 10M 以下(2)  
遠征費 (C) 10M 以下(3)
- (0) 遠征費なし(遠征費)  
• 遠征費なし(遠征費) (1) 遠征費なし  
遠征費なし(遠征費) (2)  
• 遠征費なし(遠征費) (3)

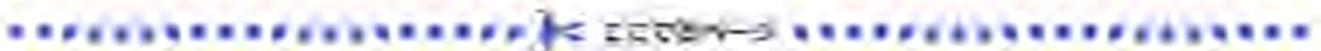
## Q23

この10年間、どのくらい企業経営を管理したと感じていますか。

100% (100%) 100% (100%) 100% (100%) 100% (100%) 100% (100%)

100% (100%) 100% (100%) 100% (100%) 100% (100%) 100% (100%)

経営管理の程度 (100%)



# 末尾添付資料：調査票

● 調査票  
● 調査票の記入方法  
● 調査票の記入例

**Q24**  
本調査票は、 はい  いいえ  どちらともいえない

調査票の記入方法  
調査票の記入例  
調査票の記入例  
調査票の記入例  
調査票の記入例  
調査票の記入例  
調査票の記入例

.....< 調査票の記入方法 >.....

調査票の記入方法

調査票の記入例

調査票の記入方法

.....< 調査票の記入方法 >.....

# 末尾添付資料：調査票

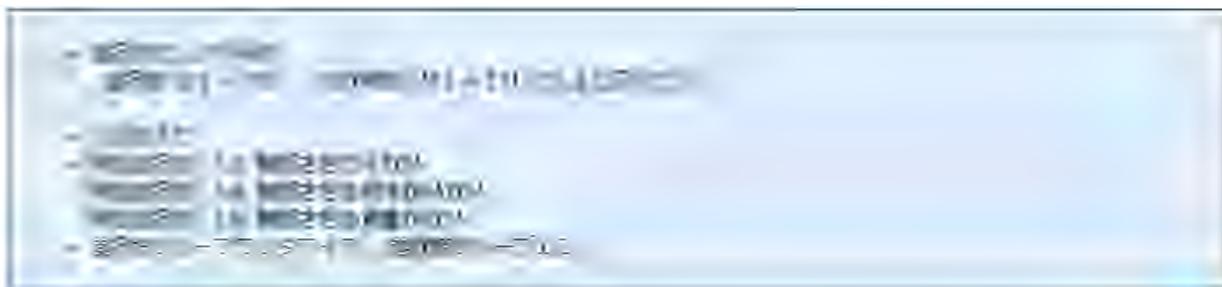
調査票

Q.5  
この調査票は、令和2年度の調査票とほぼ同じです。ご確認ください。

※調査票は、令和2年度の調査票とほぼ同じです。ご確認ください。

.....

# 末尾添付資料：調査票



- 土地
- 建物
- 自動車・乗用車等
- 船舶・航空機
- その他の重要財産

## 金融資産

6 現金・預貯金

7 投資信託

8 株式

9 債券（国債・社債など）

10 生命保険の保険金

11 その他の保険金

12 その他の金融資産

# 末尾添付資料：調査票

お名前を教えてください  
お電話番号を教えてください  
お住んでいるお住まいを教えてください

ここでお名前

お名前を教えてください  
お電話番号を教えてください  
お住んでいるお住まいを教えてください

現金、銀行振込以外の金融資産（投資信託、株券などの証券商品）を  
お持ちですか？  
はい、お持ちです  
いいえ、お持ちではありません  
お持ちでない場合は、お持ちでない理由をお知らせください

お名前を教えてください  
お電話番号を教えてください  
お住んでいるお住まいを教えてください  
お持ちでない理由をお知らせください

ここでお名前

# 末尾添付資料：調査票

調査票番号 (026) 74426000  
11月17日

**Q28**  
以下の調査票を参考に、11月17日現在、貴社が「**取組**」を  
実施しているかどうかを「はい」「いいえ」で回答してください。  
なお、「取組」の定義は調査票の別添付資料  
「取組」の定義は調査票の別添付資料を参照してください。  
はい いいえ

11月17日現在  
調査票番号  
調査票の別添付資料  
調査票の別添付資料

調査票番号 (026) 74426000  
11月17日

**Q29**  
以下の調査票を参考に、11月17日現在、貴社が「**取組**」を  
実施しているかどうかを「はい」「いいえ」で回答してください。  
「取組」の定義は調査票の別添付資料  
「取組」の定義は調査票の別添付資料を参照してください。  
はい いいえ

11月17日現在  
調査票番号 (11月17日現在)  
調査票の別添付資料

# 末尾添付資料：調査票

※ 質問紙の7/1 sheet

質問紙 (2)	(MODE = 11.88) (ACE = 38)
質問紙 (3)	(MODE = 11.88) (ACE = 38)
質問紙 (4)	(MODE = 11.88) (ACE = 38)
質問紙 (5)	(MODE = 11.88) (ACE = 38)

※ 印刷用紙

**Q30**  
この資料は、資料の作成に、本学職員が関与している可能性があります。  
© 2010-2011 本学職員

7/1 sheet

※ 印刷用紙

この資料は、資料の作成に、  
本学職員が関与している  
可能性があります。

